



綾川町スポーツ推進計画

(令和4年3月 綾川町)



「健康・スポーツ活動推進のまち」宣言

わたくしたち綾川町民は、「いいひと いいまち いい笑顔 住まいる綾川」のまちづくりを目指し、スポーツ活動を通して、健康でたくましい心と体をつくり、笑顔で生き生きと社会生活を営み、明るく豊かな郷土を築くため、綾川町スポーツ推進計画を策定し、町民みんなで「健康・スポーツ活動推進のまち」を宣言します。

(基本方針)

1 町民みんなでスポーツを楽しもう！～生涯スポーツ・健康増進・地域づくり～

わたしたちは、町民みんなで、年代を超えスポーツ活動を楽しみ、生きがいを持って、健康でにぎわいのある地域づくりを推進します。

1 町民みんなでスポーツ施設を使おう！～体育施設整備と有効利用～

わたしたちは、町民みんなで、町の施設を有効に活用し、スポーツ活動を推進します。

1 町民みんなでスポーツで高め合おう！～青少年健全育成・競技の育成支援～

わたしたちは、町民みんなで、スポーツ活動により、青少年健全育成および自己成長を目指し、お互いに高めあう仲間づくりを推進します。

宣言 令和4年3月

はじめに

～「健康・スポーツ活動推進のまち」宣言～

現在、新型コロナウイルス感染症の猛威により様々な社会生活が制限される中、本町においても対策を講じつつ、最大限の成果を求め施策を実行しており、日頃より町政に対する町民の皆様のご理解、ご協力に改めて感謝申し上げます。

令和3年夏には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、世界中に感動を与え、スポーツの素晴らしさを再確認することができました。大会に先立ち、本町にて行われた聖火リレーも、嚴重な感染対策の中で行われ、リニューアルされた道の駅滝宮へ到着した瞬間、町民の方々の歓声は大いにセレモニーを盛り上げて頂きました。また、令和4年度には、本町が全国インターハイ自転車ロード競技の会場と決定するなど、今後とも町一体となり、スポーツ活動を盛り上げていく施策に取り組んでまいります。

さてこのような中、本町ではさらなるスポーツ振興を目的として「綾川町スポーツ推進計画」を策定いたしました。国は平成29年度に策定した「第2期スポーツ基本計画」において「一億総スポーツ社会」の実現に向けて取り組むこととされており、本町の推進計画は、今後のスポーツ推進に向けてより具体的な施策を生み出すためのものです。策定にあたり「健康・スポーツ活動推進のまち」を宣言し、推進計画により施策に取り組んでまいります。まず基本方針として

- ① 町民みんなでスポーツを楽しもう！～生涯スポーツ・健康増進・地域づくり～
- ② 町民みんなでスポーツ施設を使おう！～体育施設整備と有効利用～
- ③ 町民みんなでスポーツで高め合おう！～青少年健全育成・競技の育成支援～

3つの方針を軸に、町民の方々にご協力いただいた意識調査の結果を踏まえ、具体的な施策へと繋げてゆきます。

最後になりましたが、本計画策定にあたりご尽力いただきました、綾川町スポーツ推進審議会委員の皆様にご感謝申し上げますとともに、町民の皆様がコロナに打ち勝ち、ウィズコロナの新生活様式を生み出し、健康で様々な社会活動にご活躍いただきますことをご祈念申し上げます。

令和4年3月

綾川町長 前田 武俊



目 次

第 1 章 計画の基本的な考え方

1	計画の趣旨	1
2	計画期間	1
3	計画の位置づけ	2
4	スポーツ活動の定義	2

第 2 章 スポーツ推進の基本方針

1	基本方針と施策体系	3
2	基本目標	5

第 3 章 基本施策の展開

基本方針 1 町民みんなでスポーツを楽しもう！

～生涯スポーツ・健康増進・地域づくり～

基本施策 1-①	幼少期の取り組み	6
基本施策 1-②	義務教育期の取り組み	7
基本施策 1-③	青年期の取り組み	9
基本施策 1-④	壮・中年期の取り組み	11
基本施策 1-⑤	高齢期の取り組み	12
基本施策 1-⑥	障害者スポーツ活動の取り組み	14
基本施策 1-⑦	健康増進・体力づくり推進施策の取り組み	15
基本施策 1-⑧	生きがいつくり推進施策の取り組み	16
基本施策 1-⑨	集い、にぎわう地域づくり推進施策の取り組み	17

基本方針 2 町民みんなでスポーツ施設を使おう！

～体育施設整備と有効利用～

基本施策 2-① 体育施設整備計画の取り組み	18
基本施策 2-② 体育施設の効率的な利用計画の取り組み	19

基本方針 3 町民みんなでスポーツで高め合おう！

～青少年健全育成・競技の育成支援～

基本施策 3-① 競技力向上の取り組み	20
基本施策 3-② スポーツ団体の育成の取り組み	21
基本施策 3-③ 青少年健全育成の取り組み	23

第 4 章 計画の推進	24
-------------	----

綾川町民のスポーツに関する意識調査結果一覧

調査の概要・対象者・回答率等・結果一覧の見方	25
町民意識調査のねらい	26
町民意識調査の考察（16歳以上）	26
町民意識調査の考察（こども園4歳児）	29
町民意識調査の考察（小学4年生）	30
町民意識調査の考察（中学2年生）	31
町民意識調査の考察まとめ	33
町民意識調査の集計（16歳以上）	34
町民意識調査の集計（こども園4歳児）	61
町民意識調査の集計（小学4年生）	65
町民意識調査の集計（中学2年生）	69

スポーツ振興に向けたアンケート調査結果 73

参考資料

綾川町スポーツ推進計画策定経過 76

綾川町体育施設一覧 77

綾川町スポーツ大会の開催実績 79

綾川町スポーツ教室の開催実績 80

綾川町競技スポーツ団体一覧 81

綾川町スポーツ推進審議会委員名簿 82



第1章 計画の基本的な考え方

1 計画の趣旨

国が平成29年度に策定した「第2期スポーツ基本計画」では、「スポーツで『人生』が変わる」、「スポーツで『社会』を変える」、「スポーツで『世界』とつながる」、「スポーツで『未来』を創る」が掲げられ、「一億総スポーツ社会」の実現に向けて取り組むこととされ、地方公共団体においても、スポーツを通じた健康長寿社会、共生社会の実現や経済・地域の活性化など、スポーツの価値を具現化し、様々な施策を実現することが期待されています。

現在、高齢者人口が増加していく中で、医療費と福祉費の増大は本町においても懸念事項です。また、高齢者に限らずとも、社会構造の変化や技術の進化により、娯楽の選択肢としてのスポーツの価値が相対的に低下したことにより、子どもを含む、あらゆる世代で生活習慣病が心配されています。

このような中、スポーツを通じて得られる満足感、達成感、コミュニケーションは、心身の健全な発達を促し、健康及び体力を培い、生涯に渡って健やかな生活を送るうえで必要不可欠なものです。スポーツの重要性を周知するためには、この「綾川町スポーツ推進計画」において、本町のスポーツ推進における理念・目標を再認識し、町民やスポーツ団体の皆様のご理解ご協力をいただくことが必須であると考えています。

本町では、第3次5か年計画において、計画的な社会体育施設の整備が進められており、今後における利用計画の策定が求められています。そこで、国が示す「地方スポーツ推進計画」の策定に向けて取り組み、施設利用の推進だけでなく、スポーツが持つ「健康増進」「生きがいづくり」の向上、また「青少年健全育成などの人づくり」の視点により、生き生きと生活する町民を後押しし、地域活性化につながる施策を推進するため、本計画を策定するものです。

2 計画期間

本計画の計画期間は、綾川町第2次総合振興計画の期間と合わせ、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

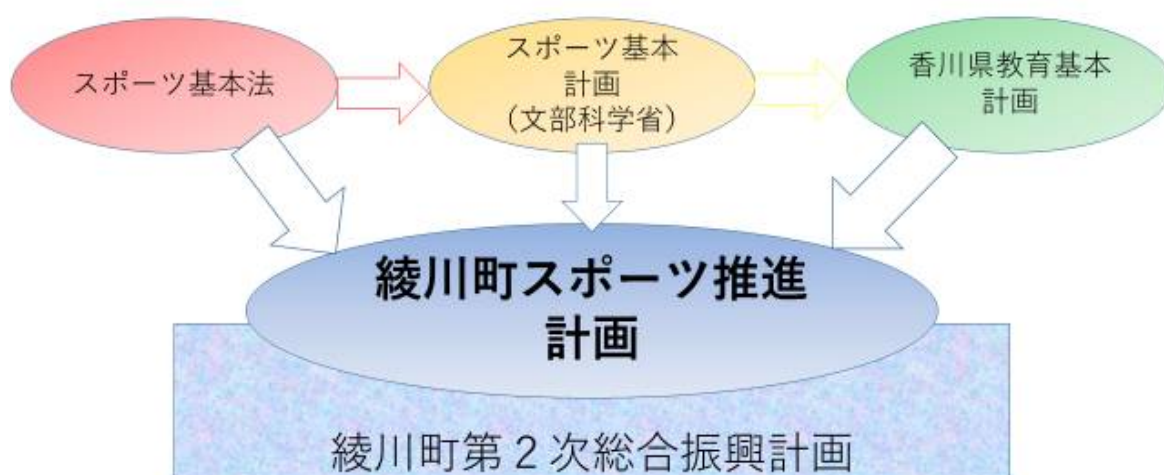
ただし、計画期間内にスポーツを取り巻く情勢の変化等により、新事業の展開や計画の見直しが必要になった場合は、追加・変更を行うなど、柔軟に対応することとします。

3 計画の位置づけ

本計画は、スポーツに関する基本理念や、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めるとした「スポーツ基本法」に則りつつ、本町におけるスポーツ推進の現状に鑑み策定するものです。

また、策定にあたっては国の「スポーツ基本計画」、および「香川県教育基本計画」を準拠するものとします。

本計画は、綾川町第2次総合振興計画の施策「文化・スポーツ活動」、「スポーツ施設の有効活用」を実現するための計画として位置づけるものです。



4 スポーツ活動の定義

本計画においてスポーツ活動には、いわゆる「勝負」が目的となる競技スポーツに限らず、健康の保持増進やレクリエーションを目的として、いつでも、誰でも、どこでも気軽に参加できる、ウォーキングや健康体操等の生涯スポーツも含めることとします。

スポーツ活動を行う目的は、十人十色であり、それぞれの年齢、体力、能力、興味、ライフスタイルに応じて取り組むことができる、広い意味でのスポーツ活動とします。

第2章 スポーツ推進の基本方針

1 基本方針と施策体系

「綾川町第2次総合振興計画」に掲げる基本目標である、豊かな心と健やかな心身を育むまちを目指し、スポーツの振興を図るため、3つの基本方針を定めるとともに、これに基づく基本施策を展開します。

施策体系については、基本方針に応じた個別の項目を設定し、関係課との連携により具体的な施策を取りまとめます。

また、スポーツ活動に取り組む人の増加を図るため、IT・メディア等の活用により、広く周知することで、スポーツ活動の楽しさ、意義を広めます。

1 町民みんなでスポーツを楽しもう！ ～生涯スポーツ・健康増進・地域づくり～

（各世代における生涯スポーツ推進施策）

各世代に応じた、様々な条件の中で一人でも多くの方々が、スポーツ活動に取り組める環境づくりに取り組みます。各世代の段階設定については、①②は意識調査を実施した、こども園・小中学校にあわせ、③については高校・大学生および就職初期の10代後半から30代の若者世代、④は30代半ばからの子育て世代から64歳まで、⑤は65歳以上と町独自の設定とします。

- ① 幼少期（0歳～5歳）
- ② 義務教育期（6歳～15歳）
- ③ 青年期（16歳から34歳）
- ④ 壮・中年期（35歳～64歳）
- ⑤ 高齢期（65歳以上）
- ⑥ 障害者

（健康増進・体力づくり推進施策）

- ⑦ スポーツ活動の大切な要素である健康増進・体力づくりに視点を置き、健康で長生きを目指し、また、スポーツ活動による怪我・スポーツ障害が発生しないよう、スポーツ推進に取り組みます。

（生きがいづくり推進施策）

- ⑧ スポーツ活動は、目標への達成感や仲間づくりによる支えあう心の

創造など、生きがいづくりに寄与しています。生き生きと地域で支えあ
う生きがいづくりにつながるスポーツ活動推進に取り組みます。

(集い、にぎわう地域づくり推進施策)

- ⑨ スポーツ活動は、多くの方が集い活動することで、にぎわいを創出し、
地域活性化につながります。官民一体となり、メディアを活用しながら、
地域づくりにつながるスポーツ活動推進に取り組みます。

2 町民みんなでスポーツ施設を使おう！ ～体育施設整備と有効利用～

(施設整備計画)

- ① スポーツ活動の推進には、スポーツ施設の充実が欠かせない要素であ
ります。計画的な整備と利用しやすい施設整備に取り組みます。

(施設利用計画)

- ② 整備された施設の効率的な利用を目指し、官民連携し、利用しやすい
施設運営に取り組みます。

3 町民みんなでスポーツで高め合おう ～青少年健全育成・競技の育成支援～

(競技力向上)

- ① スポーツ活動をおこなう上で、少しでも高い目標を設定し、それに向
かい挑戦することは欠かせない要素であり、夢やあこがれ、やる気を生
み出すために競技力向上に取り組みます。

(スポーツ団体の育成)

- ② スポーツ活動を推進する上で、スポーツ団体の協力、支援は不可欠で
ありますが、時代に合った技術、育てる心を持った指導者養成はどの団
体でも課題です。また、新規競技者の獲得がスポーツ活動の推進の根幹
であり、誰もが取り組むことができるスポーツ活動の推進や、様々なス
ポーツ活動を知ってもらうことも大切です。この両面からスポーツ団
体の育成に取り組みます。

(青少年健全育成)

- ③ スポーツ活動が生み出す青少年健全育成の効果が、最大限発揮できるように、スポーツ少年団理念の普及・啓発に取り組みます。また、教員の働き方改革により地域で求められる、中学校部活動と地域の連携の推進に取り組みます。

2 基本目標

国は、成人の週1回以上のスポーツ実施率が65%程度(障害者は40%程度)、週3回以上のスポーツ実施率が30%程度(障害者は20%程度)になることを政策目標としています。

本町における意識調査①の結果では、20歳以上の週1回以上のスポーツ活動実施率が25.1%(スポーツ活動を行った35.5%のうち、20歳以上の週1回以上スポーツ活動を行った方は70.8%)であり、国の目標をかなり下回っています。低い数値となった要因には、意識調査におけるスポーツ活動の定義が伝わっていないことはあると思われそうですが、まずこの数値を少しでも国の目標値に近づけること、また、頻度に関わらず全体のスポーツ活動の実施率にあわせて、運動不足を感じない割合を向上させることを目指します。

次に、障害者のスポーツ活動については、本町ではかかわった経験がないと答えた方が9割を超えています。取り組みに関しても不十分と感じている方が8割を超え、わからないと回答する方も見られ、障害者のスポーツ活動の推進については、ゼロスタートの位置づけで取り組みを進めます。

次に、町のスポーツ行事・教室への参加については、参加した方の割合が低く、広報活動、魅力ある、求められる事業の実施を目指し、あわせてスポーツ活動の実施率の向上に取り組みます。また、県内のスポーツチームの認知率、観戦率の向上を目指し、特に本町が支援しているUDN香川FC(女子サッカー)チームの広報活動に努め、本町とチームが一丸となり、スポーツ活動の良さを広め、地域活性化を含めスポーツ活動を推進します。

最後に、スポーツ活動を推進するために必要なこととされる項目について、一つでも多く達成するよう取り組みます。

(具体的な数値目標)

- ① 20歳以上の週1回以上のスポーツ活動実施率 25.1%→40%
- ② 障害者スポーツ活動に関わった経験がある 6.7%→15%
- ③ 町のスポーツ行事・教室への参加 各事業 15%以上の参加率
- ④ UDN香川FCの認知度 50%以上 観戦率 5%以上

第3章 基本施策の展開

基本方針1

町民みんなでスポーツを楽しもう！～生涯スポーツ・健康増進・地域づくり～

基本施策1-① 幼少期の取り組み

<課題>

意識調査②では、(質問2)「スポーツ活動は好きか」、(質問3)「スポーツ活動する時間を持ちたいか」については、97%以上が肯定的な回答をしています。しかしながら、(質問4)「こども園の活動以外でスポーツ活動を行ったか」については、「行わなかった」割合が38.8%となっています。そのうち(質問4-⑦)「こども園以外でスポーツ活動を行わなかった理由」については、割合が高かったのは、「きっかけがない」が42.3%、「時間がない」が29.5%、「施設まで行けない」が10.3%となっており、スポーツ活動を行いたいが、出来ていない状況が把握できます。(質問4-⑤)「こども園以外でスポーツ活動を行った理由は」、(質問4-⑥)「スポーツ活動を行って得られたもの」については、「健康・体力づくり(増進)」が、それぞれ高い意識であることがわかります。また、(質問5)「スポーツ活動の振興に必要なと思うこと」については、「広報活動」が49.2%と高く、次に、「指導者の態度」が12.0%、「指導者の技術」が8.5%と、スポーツ活動に対する情報提供や指導者の質が求められています。

<考察>

子どもがスポーツ活動に取り組むことについて、健康・体力づくりのため、保護者は、高い意識をもっています。その要望をスポーツ活動の実施に結び付けるための環境づくりが必要です。指導者に対する要望も高く、スポーツ障害をおこさない取り組みの在り方や、心ある指導が求められています。また、転入等若い世代の保護者に対し、スポーツ活動の情報提供が必要です。

<目標施策>

(1) スポーツ活動の楽しさにふれるきっかけづくりの推進

各種団体と連携し、いろいろなスポーツ活動を経験するなかで、スポーツ活動の楽しさを体感できるイベントを実施します。また、気軽に取り組める基礎体力作りや体力測定などの機会を設けます。

また、昨年から専門の講師と保育教諭とで創作した「綾川っ子体操」は、町内全てのこども園で活用されており、スポーツ活動のきっかけづくりの推進のためPRを行っています。

(2) 保護者への啓発・情報提供

様々な行事などの機会を通じて、幼少期のスポーツ活動習慣の重要性、スポーツ障害をおこさない活動の取り組みなど、保護者に理解していただけるよう啓発に努めます。また、スポーツ活動の情報提供のために、様々な機会や広報誌、ホームページを活用します。

基本施策 1-② 義務教育期の取り組み

<課題>

意識調査③(④)では、(質問2)「スポーツ活動は好きか」については、「好き」、「やや好き」が合わせて89.5%(86.3%)、(質問3)「スポーツ活動する時間を持ちたいか」については、「持ちたい」、「やや持ちたい」が合わせて84.0%(85.6%)、(質問4)「学校の授業以外でスポーツ活動を行ったか」については、95.1%(83.6%)が「行った」と回答し、(質問4-①)から(質問4-②)「スポーツ活動を行った頻度」については、「週3回以上」が51.9%(79.1%)、「週1~2回」が35.7%(7.4%)、1回の時間については、「1時間~2時間未満」が30.5%(20.4%)、「2時間以上」が26.6%(66.2%)となっており、小・中学生においては、スポーツ活動への前向きな意識とともに、概ね十分な時間スポーツ活動がされていることが分かります。また、(質問4-⑦)「学校以外でスポーツ活動をしていない理由」については、「スポーツが嫌い」が18.2%(14.3%)、「時間がない」が9.1%(34.5%)となっています。その中で、学校以外でスポーツ活動を行った割合は、小学生から中学生にかけて少なくなっており、年齢が高くなるにつれて、スポーツ以外の活動や塾や習い事、また休日などに時間をあてていることが分かります。スポーツ活動の頻度(時間)については、スポーツ団体の活動や部活動の追加的な練習により、中学生の方が小学生より割合が高くなっています。

意識調査③(④)では、(質問5)「スポーツ活動の振興に必要なと思うこと」については、「指導者の技術」が15.4%(19.2%)、「指導者の態度」が13.8%(22.5%)となっており、指導者に対する期待があることが分かります。また、「施設の充実」が17.5%(9.8%)、「用具の充実」が8.4%(13.8%)となっており、施設整備に対する期待がうかがえます。さらに、スポーツ少年団の活動が増えたことにより、「保護者の協力

（送迎・運営）の必要性」も 13.8%（12.2%）となっています。（質問 6）「今スポーツ活動のことで悩んでいること」については、10.8%（5.5%）が「ある」と回答しており、部活動やスポーツ少年団等において、ケアがある程度できていると思われませんが、「活動に悩んでいる」という回答もあり、相談を聞く窓口体制の整備とケアが必要です。

（質問 7）「町に期待するスポーツ活動の振興施策は」（記述式）については、「気軽に参加できる」、「様々な体験ができる」、「仲良く遊んだり、スポーツができる」などの回答が多くみられ、楽しく友達と参加できる環境が求められています。また、施設の回答において、「空調設備がある施設」、「大きな体育館」及び「用具が充実した施設」などの意見が多くみられ、特に取り組む頻度・時間が多くなる中学生にとっては、「熱中症対策」や「競技に必要な備品などの充実」などの回答がありました。また、「やさしい指導者」や「スポーツ団体の PR が必要である」、「著名な選手や指導者を招く」などの回答もあります。

<考察>

義務教育期においては、学校の教育課程の中でスポーツ活動は位置づけられ、行われています。学校教育以外の時間におけるスポーツ活動は、スポーツ少年団などの活動のほか、家族や友達との交流の中で行われています。一方、スポーツ活動が苦手、時間が取れないなどの理由でスポーツ活動を行っていない小・中学生に対し、スポーツ活動の意義や楽しさを伝え、スポーツ活動を行うきっかけづくりが必要です。また、子どものスポーツ活動の振興には、送迎、備品整備、組織運営など、保護者の理解・協力も不可欠です。スポーツ活動の PR とともに、気軽にスポーツ活動に取り組めるような、事業づくり、環境整備が求められています。

次に、子どもたちがスポーツ活動を大人になっても続けるためには、優秀な指導者に継続して指導が受けられる環境づくりが必要です。各成長過程に沿ったスポーツ障害をおこさない指導方法、ハラスメントのない指導、子どもが各競技を継続しようと思える、心に寄り添った指導など、指導者として大切な要素を学ぶ機会の創出、支援が必要です。また、子どもの声を聞く窓口体制の整備・ケアなどの環境づくりが求められています。

<目標施策>

(1) 子どもが積極的にスポーツ活動に取り組むために

スポーツが苦手、きっかけがないなど、スポーツ活動を行っていない子どもに対し、スポーツ活動の楽しさを伝え、気軽に参加できる事業を企画します。また、スポーツ少年団などと連携し、様々なメディアや機会を利用し、スポーツ活動の楽しさのPRに取り組みます。

(2) 保護者の理解と協力の必要性

義務教育期の子どものスポーツ活動の振興については、保護者の理解・協力が欠かせません。スポーツ活動の意義や楽しさ、スポーツ活動の情報を、様々なメディアや事業を利用し、周知するとともに、スポーツ活動に参加できる支援を行います。また、子どもと保護者が一緒に参加できる事業を企画し、子どもとともに様々な世代の方々が気軽にスポーツ活動を行う環境を推進します。

(3) 子どもの成長過程に合わせたスポーツとの関わり方・指導の在り方を学ぶ環境づくりの構築

義務教育期は、子どもにとって心身ともに成長していく最も重要な時期です。スポーツ活動を通じて怪我や故障（スポーツ障害）をおこさない、ハラスメントのない指導の中でのスポーツ活動の取り組みが必要です。それを未然に防ぐために、部活動やスポーツ少年団の指導者が、子どもの成長過程に応じた適切な指導を行っていくための研修会を企画し、その参加を推進します。また、子どもの声を聞く窓口体制の整備を行います。

基本施策 1-③ 青年期の取り組み

<課題>

意識調査④では、(質問4)「学校の授業以外でスポーツ活動を行ったか」については、「行った」が83.6%、意識調査①では、(質問8)「この1年間にスポーツ活動を行ったか」については、「行った」が10代男女計で76.0%と高い数値となっています。中学校から高校・大学へと進む10代においては、部活動・サークル活動などのスポーツ活動を継続していることが分かります。

しかし、意識調査①では、(質問8)「この1年間にスポーツ活動を行ったか」については、「行った」と回答した割合は男女計で20代が32.1%、30代が44.2%と10代男女計に比べ大幅に減少しています。(質問8-①)「どのくらいスポーツ活動を行った」についても、「週に3回以上」

の割合が、男女計で20代が16.7%、30代が20.5%と大幅に減少しています。また、質問(8-⑧)「スポーツ活動を行わなかった理由」については、「忙しかった」と答えた10代男女計は27.3%に対して、20代男女計は33.3%、30代は34.7%、「機会・情報がない」が10代男女計18.2%に対して、20代男女計は34.9%、30代は26.7%と増加しています。これは社会人となる青年期中期では、就職・結婚・子育て等のライフステージの変化を機に、青年期初期までに築いたスポーツ習慣が、忙しさやスポーツ機会の喪失により失われている結果だと思われます。部活動や体育授業、スポーツサークル活動と異なり、自発的なスポーツ活動意識がなければ継続的なスポーツ活動を行うことが難しいという課題が見えてきます。

<考察>

社会人を迎える一段階前の高校生・大学生のスポーツ活動は、生涯を通してのスポーツ活動の基礎となる重要なものになります。この時期にスポーツ活動を少しでも習慣化し、青年期以降もスポーツ活動を習慣化・継続していかなくてはなりません。就職を控えた高校生・大学生を対象に町内スポーツ関係団体と連携し、活動体験会や周知活動等を行い、青年期以降のスポーツ機会への早期マッチングを実施し、社会人以降もスポーツ活動継続がスムーズに行えるよう推進する必要があります。また、高校3年生では部活動の引退、受験期により一時的にスポーツ活動を行う時間と機会は減少します。受験生を対象とした短時間のスポーツ教室、スポーツイベントの企画を行い、受験期における運動不足の解消と大学入学以降もスポーツ活動を継続・習慣化できるよう推進する必要があります。

青年期中期では、就職・結婚・子育て等のライフステージの変化によって忙しくなり、日常生活の中でスポーツ活動を行う機会が少なくなります。そんな忙しい合間でもできる運動の啓発、また地域でのスポーツ活動へ積極的参加の促進、他の世代とも交流することで、豊かなスポーツライフを实践できるよう、様々なスポーツ活動の機会の充実を図っていくことが重要になります。

<目標施策>

- (1) 高校生・大学生・新社会人をターゲットとしたスポーツ活動の推進
スポーツ活動の意義や楽しさを、様々なメディアを利用し、若者世代に広く周知し、スポーツ活動の推進を行います。また、企業と連携

し、地域で生き生きと働くとともに、スポーツ活動に取り組む、働く若者を応援します。

(2) 若者世代のスポーツ活動の機会の提供

町内スポーツ関係団体の活動体験会や周知活動を実施し、部活動等で継続していたスポーツ活動とともに、新たに始めるスポーツ活動の機会の創出を推進します。

また、若者の運動不足の解消、ストレス解消を目的として、スポーツ体験教室の実施、運動不足解消・肥満解消のトレーニング教室などの企画や、エクササイズ・スキマストレッチなどの「日常生活の運動化」を目的とした講習会の開催・広報周知、リーフレットの作成を行い、スポーツ活動の習慣化の普及啓発に取り組みます。

(3) 親子・家族が触れ合うスポーツ機会の充実

育児で忙しい人であっても育児と両立してスポーツに親しみやすいきっかけづくりとして、町内スポーツ関係団体と連携し親子が一緒に参加できるスポーツイベントやスポーツ教室を開催します。

基本施策 1-④ 壮・中年期の取り組み

<課題>

意識調査①では、(質問 8)「この1年間にスポーツ活動を行ったかどうか」については、年代別でみると「行った」と回答した40代男女計39.4%から50代男女計は、29.6%と約10ポイント減少しており、50代は、全世代で最低となっています。また、(質問 8-⑧)「スポーツ活動を行わなかった理由」については、40代では「忙しかった」が全世代で一番高い41.5%となっています。そして、40代・50代では、「体調が悪い」が30代4%から40代5.4%、50代5.5%、「年をとったから」は40代から50代にかけて0.8%から5.5%と増加しており、これらは高齢期の年代になるとさらに増加しています。加齢による体力低下により、「壮・中年期以前に比べ疲れやすくなった」、「スポーツ活動をすることに苦痛を感じる」等の具体的な声も壮・中年期を迎えると聞こえてきます。また、壮・中年期は仕事や育児等で余暇に充てる自由な時間が少ないことからスポーツと疎遠になる場合も多いと考えられます。

<考察>

スポーツ活動参加への意識について、意識調査①では、(質問 20)「今後、参加したいと思う事業」については、「初心者が参加できる事業」が、

40代 47.3%、50代 42.9%、質問 24「町に期待するスポーツ活動の振興施策」についても、気軽に参加できるイベントを希望する声が多数あります。（質問 8-⑨）スポーツを行わなかった方の「今後行いたいスポーツ活動」についても、50代以上は「競技的スポーツ」を希望する割合は減少し、「比較的軽いスポーツ」を希望する割合は、50代 91.4%と増加しています。これは初心者でも誰でもできる、そして、気軽なスポーツの需要があると分かります。壮・中年期の多忙感を乗り越え、スポーツに関心のない人も含めて、生活の中で「気軽に」、「他の事のついでに」、「他の事をしながら」できるスポーツを取り入れる環境づくりを進め、スポーツ活動の生活習慣化を支援していく必要があります。加えて、加齢による身体機能・体力低下は個人差が大きく個々の身体機能・体力に応じたスポーツ活動の促進も必要となります。

そして、多忙な世代であることを考慮し、地域活動や民間企業等を通じて、日常生活の中でスポーツの機会を生み出すこと、機会を周知する取り組みが必要です。

<目標施策>

(1) 健康づくりのための運動の推進

家族で行える運動や家族と一緒にスポーツを行える機会づくりを推進するため、町内スポーツ関係団体や商業施設と連携し家族参加型のスポーツ教室・スポーツイベントを企画・開催します。

(2) 健康づくりのための体力測定の実施

運動不足や加齢により衰えた身体的機能や体力の変化を本人が理解し、今後のスポーツ活動のきっかけづくりとなるよう、体力測定などのイベントを実施します。また、会場に専門のスポーツインストラクターを招き、そのデータを基に個々に応じた運動習慣を考えることができるよう助言と指導を行います。定期的の実施し前回と今回を比べることができるようにし、スポーツ活動のやる気上昇を促進します。

基本施策 1-⑤ 高齢期の取り組み

<課題>

意識調査①の年代別70代以上では、（質問 8-⑧）「スポーツ活動を行わなかった理由」については、「年をとったから」が 35.4%、「機会・情報がない」が 16.3%、「体調が悪い」が 14.1%、「忙しかった」が 11.8%

と多くなっています。また、「体調が悪い」、「交通手段がない」が、他の年代より高い割合となっています。一方、(質問 8-⑥)「スポーツ活動を行った理由」や(質問 8-⑦)「スポーツ活動を行って得られたもの」については、「健康・体力づくり(増進)」、「仲間との交流」「運動不足の解消」が高い割合を示しています。

また、(質問 9-④) 70代以上のスポーツ活動を行っていない方で、スポーツ団体や教室に「加入したい」、「どちらかという加入したい」方は、あわせて 36.3%となっており、推進する取り組みが期待されます。

<考察>

週 1 回以上のスポーツ実施率については、町で推進している「ほっとか連とこ 100 歳体操」(以下 100 歳体操)の普及においては、多くの方が行っている手ごたえがありますが、スポーツ活動として認識を持っていないのではないかと考えられます。100 歳体操の普及とともに、100 歳体操等の体を動かすことが、健康づくりのスポーツ活動であることなど、スポーツ活動の意識と意義の浸透が必要であると考えられます。また、スポーツ活動を行っていない方へのスポーツ活動の意義の浸透、手軽に参加できるスポーツ活動の環境づくりが期待されます。

また、行わなかった理由として、機会・情報がない、仲間がいない、交通手段がないなどについての取り組みとして、スポーツ活動が行いやすい環境づくりが、地域のコミュニケーションを活性化させ、高齢者を「一人にさせない」施策の中で生み出されることが期待されます。

<目標施策>

(1) スポーツ活動の意義の浸透

各地区で行われる高齢者学級や自治公民館活動を通じ、スポーツ活動の意義の浸透に取り組みます。具体的には、スポーツ活動の効果を資料配布により行い、スポーツ活動参加の意欲向上を図ります。また、70 歳以上の週 1 回以上のスポーツ実施率の向上を目指します。

(2) 高齢者がスポーツ活動に取り組む環境づくり

ア 広報活動の強化

スポーツ活動の機会の情報提供を様々なツールにて行い、広報誌、ホームページ、公民館施設などを利用し、頻繁に情報が目に触れるよう提供します。

イ 手軽に参加できるスポーツ活動の環境づくり

高齢者や初心者が取り組めるスポーツ活動の教室を企画したり、既存の団体や教室（公民館でのヨガや健康体操など）の広報活動を強化し、一人でも多くの方がスポーツ活動に参加できるよう働きかけます。また、教室やイベントについては、町民バス等の利用により参加できる場所や時間帯を考慮し企画します。

基本施策 1-⑥ 障害者スポーツ活動の取り組み

<課題>

意識調査①では、(質問 25)「障害者スポーツ活動に関わったこと」については、「経験がない」が、93.3%、(質問 26)「障害者スポーツ活動に関する取り組みは十分か」については、「不十分」、「どちらかといえば不十分」が、あわせて 80.7%であり、障害者スポーツ活動に対する取り組みが大変低いことがうかがえます。また、記述式回答(質問 27)、では、「取り組みを知らない」、「取り組みが分からない」などの回答や、「周りの人の理解・協力の必要性」、「偏見をなくすこと」などの回答があり、障害者スポーツ活動の取り組みの広報活動、正しい理解の浸透が求められています。

<考察>

まず、町としての障害者スポーツ活動の取り組みが、ほとんど浸透していない状況を鑑み、取り組む体制づくりから始める必要があると考えます。主催者、参加者の意識を高め、意識改革からの取り組みが必要です。町内の身体障害者団体との連携を深めることなど、初期段階からはじめ、事業づくり、体制づくりを推進します。

<目標施策>

(1) 障害者スポーツ活動を支える体制づくり

町関係者や、スポーツ推進委員等、障害者スポーツ活動の取り組みを学び、研修を重ねます。また、町の身体障害者団体と意見交換、交流を図り、体制づくりの施策を推進します。

また、全ての町民が円滑に施設を利用できるよう、施設のバリアフリー化を計画的に進めます。

(2) 障害者スポーツ活動の推進と広報

障害者スポーツ大会の周知を行い、参加者の増加を目指します。ま

た、身近に取り組み、交流が図れる、町の身体障害者団体が普及を進める「ボッチャ」競技の普及に努め、一人でも多くの障害者の方がスポーツ活動に参加できるよう、障害者スポーツ活動の正しい理解、認知度を高めるため、様々な機会、ツールを用いて推進活動を行います。



基本施策 1-⑦ 健康増進・体力づくり推進施策の取り組み

<課題>

意識調査①では、(質問 7-①)「スポーツ活動が必要である理由」については、「体力・健康増進」が 38.7%、(質問 8-⑥)「スポーツ活動を行った理由」については、「健康・体力づくり」が 33.1%、(質問 8-7)「スポーツ活動を行って得られたもの」については、「体力・健康増進」が 25.1%となっており、健康増進・体力づくりに非常に高い意識があることが分かります。また、(質問 5)「運動不足を感じるか」については、「大いに感じる」、「ある程度感じる」があわせて 79.8%、(質問 6)「肥満を感じるか」については、「大いに感じる」、「ある程度感じる」があわせて 46.0%となっています。しかし、(質問 8)「この 1 年間にスポーツ活動を行ったか」については、「行わなかった」が 63.4%となっており、また、(質問 4)「現在の健康状態」については、「健康ではない」、「あまり健康ではない」があわせて 22.6%となっており、スポーツ活動を通した健康増進・体力づくりの推進は期待されていることがわかります。

<考察>

健康増進・体力づくりのために、スポーツ活動の必要性は感じているものの、(質問 8-⑧)「スポーツ活動を行わなかった理由」については、「機会・情報がない」が 24.6%、(質問 23)「スポーツ活動の振興に必要なだと思うこと」については、「広報の充実」が 15.6%であり、機会・情報の提供は課題であるといえます。また、記述式回答では、「気軽にできること」、「楽しめるイベント」が求められていることや、防災無線で流れるラジオ体操が評価されていることが分かります。

<目標施策>

- (1) 健康増進・体力づくりの広報活動

スポーツ活動を行う方を1人でも増やすために、様々なメディアを利用し、スポーツ活動の情報提供（活動の様子や活動機会など）を行います。また、スポーツ活動の意義（健康増進・体力づくりにつながることなど）を周知し、スポーツ活動への意欲を高めます。

（2）気軽に参加できる・楽しめるスポーツイベントの実施

スポーツ活動を推進するために、梅の里生涯スポーツ実行委員会において気軽に参加できる・楽しめるスポーツ活動の機会創出を推進します。様々な機会で、体力測定などのイベントを行い、スポーツ活動のきっかけづくりを生みだします。また、100歳体操の推進や、防災無線のラジオ体操の活用促進を公民館や町内企業に向けておこない、スポーツ活動の推進につなげます。

基本施策 1-⑧ 生きがいづくり推進施策の取り組み

<課題>

意識調査①では、（質問 7-①）「スポーツ活動が必要である理由」については、「生きがい・楽しみ」が 5.2%、「仲間との交流」が 9.0%、「ストレス発散」が 9.5%で、（質問 8-⑥）「スポーツ活動を行った理由」については、「生きがい・楽しみ」が 6.3%、「仲間との交流」が 14.0%、「気分転換」が 8.9%で、（質問 8-⑦）「スポーツ活動を行って得られたもの」については、「生きがい・楽しみ」が 6.1%、「仲間との交流」が 18.3%、「ストレス発散」が 13.8%となっており、スポーツ活動の意義として、生きる力になっていることが分かり、スポーツ活動を通じた心の豊かさの取り組みが期待されています。

<考察>

どの年代においても、生き生きと健康に生活を送るために、スポーツ活動は有効であることが分かります。スポーツ活動により、仲間との交流が生きがいとなり、ストレス発散や気分転換につながり、体とこころの健康を導きます。スポーツ活動がもたらす意義を広め、推進する必要があります。スポーツ活動を行う方の増加を目指し、気軽に参加でき、交流できる事業が必要であると思われます。また、近年推進されている総合型スポーツクラブの取り組みなど、幅広い層が気軽にスポーツ活動に取り組む体制づくりが期待されます。

<目標施策>

(1) 各世代合同の交流事業を推進

幼少期から高齢者まで、家族や世代を超え、交流ができ、誰でも参加できる軽スポーツや、楽しめるニュースポーツも取り入れた交流事業を企画します。

(2) メディアの利用によりスポーツ活動及び活動の効果を広める

スポーツ活動がいつ、どこで、どんなことが行われているか知らない方も多くいることがわかります。様々なメディアを活用し、複数回の広報を推進します。また、スポーツ活動による達成される効果を、実際の活動している方の声を集め、様々な機会を通じて周知し、スポーツ活動を推進します。

(3) 地区公民館等での交流

地区公民館で行われているスポーツ活動の普及促進を行い、地域住民の交流拠点として、スポーツ活動による生きがいづくりを推進します。

基本施策 1-⑨ 集い、にぎわう地域づくり推進施策の取り組み

<課題>

意識調査①では、(質問 17)「町のスポーツ行事・教室についての認知度」について、一番高い割合で知られているのが「町民綱引き大会」の58.9%となっていますが、他の事業については半数以上の方に知られていないことがわかります。また、(質問 18)「参加したことがあるか」については、わりあい知られている「町民綱引き大会」で16.4%、その他の大会は10%にも達していません。多くの町民が参加できるスポーツ活動の取り組みが期待されています。

次に、(質問 20)「今後、参加したい(参加してもいい)と思う事業」については、「初心者に参加できる事業」が39.4%と高く、次いで「競技力向上のための専門的な事業」が16.9%となっています。(質問 24)

「町に期待するスポーツ活動の振興施策は」(記述式)の中では、「気軽に参加できる」、「様々スポーツが体験できる」、「幅広い年代が楽しめる」、「家族が楽しめる」、「広報周知の充実」などの取り組みが期待されています。

<考察>

気軽に参加できる、家族や友人と楽しめる、多種目が経験できる事業が

求められている一方で、競技力向上のための事業も期待されています。それぞれの目的を達成するための企画が求められています。町民全体でスポーツ活動を推進する意識を高めるための、町民綱引き大会の存在は大きく、今後認知度とともに、より多くの町民が参加する大会となる工夫がのぞまれています。また、公民館や自治会等の単位で活動している100歳体操の普及、指導者がいなくてもウェブの指導の利用により、自宅や身近な施設での活動、ネットで交流するスポーツ活動の取り組みの企画も期待され、地域活性化、ウィズコロナの生活様式の確立に向けての新しい取り組みもスポーツ活動の推進には必要です。

また、町民全体を巻き込んだ取り組みには、地元企業等の協力も必要です。町内で働く方々が町のスポーツ活動に参加し、にぎわいを創出するため、PR活動や、企業内での推進、連携が必要です。

<目標施策>

(1) スポーツイベントの実施

梅の里実行委員会が実施している、町民綱引き大会等の認知度、参加率を上げるため、PR活動、魅力ある大会づくりに実行委員会とともに努めます。また、気軽に参加できるイベント、家族や友人と楽しめるイベントを企画します。特に町が支援しているUDN香川FC(女子サッカーチーム)と町民がふれあう事業を企画し、認知度を高めるとともに、にぎわいを創出します。

(2) 広報強化による参加者の拡充

事業を知って参加していただくために、様々なメディアを利用し広報します。また、自宅で活動するなど、集まらないでもスポーツ活動を共有し(例えば町民みんなで100歳体操やラジオ体操などの意識付け)、町民全体で活動している意識を広報を通じて高めます。

基本方針2

町民みんなでスポーツ施設を使おう！～体育施設整備と有効利用～

基本施策2-① 体育施設整備計画の取り組み

<課題>

町民体育施設に対する要望は、意識調査①では、(質問24)、意識調査②③④(質問7-①)では、「町に期待するスポーツ活動の振興施策は」(記述式)について、また、町内スポーツ団体へのアンケート調査について

は、様々な要望が見られます。施設整備には多額な費用がかかることから、費用対効果を考え、より多くの方に利用してもらえらるための整備と、スポーツによる地域活性化の視点とのバランスを考え、計画をしていく必要があります。

<考察>

まずは、各施設の利用状況と今後のニーズを把握し、持続可能な施設使用運用計画を考える必要があります。また、施設を利用する上で求められる整備について、費用対効果を考慮し、今後とも、各施設利用状況や利用ニーズの把握に努めながら、計画定期的な整備が必要です。

<目標施策>

(1) 第3次綾川町5か年計画の随時見直し

(2) 求められている整備項目のとりまとめ

意識調査および団体へのアンケート結果を考慮し、今後整備検討を行います。

ア 温暖化対策として体育館の冷房設備の整備

イ 社会人の利用における夜間施設開放や照明灯の整備

ウ コロナウィルス感染防止対策の整備

エ 健康増進のための施設（トレーニングジム等）の整備

基本施策2-② 体育施設の効率的な利用計画の取り組み

<課題>

意識調査①では、(質問21)「町内のスポーツ施設を利用したこと」については、「利用したことがない」が57.8%、(質問22)「学校開放事業について知っていますか」については、「知らない」が63.3%となっており、まだまだ町内施設の利用促進をする必要があります。また、(質問21-①)「利用した理由」については、「住まいに近い」が44.1%、「料金が安い」が15.4%、「施設が整っている」が8.6%となっています。(質問24)「町に期待するスポーツ活動の振興施策」(記述式)については、「安価で利用できる」、「利用予約が簡単にできる」、「施設の充実」、「広報の充実」などの回答がありました。

町内スポーツ団体へのアンケート調査においては、「現在使用している施設以外での使用が可能か」の質問では「可能」、「場合によっては可能」が78%であり、利用調整の可能性がうかがえます。また、その他、「施

設予約情報をインターネット等で把握したい」という回答がありました。

<考察>

既存の施設を有効に利用していただくため、まず施設の認知度を上げる必要があります。どの施設で、こういったスポーツ活動が行うことができるかの周知が必要です。また、利用しやすい施設を目指し、インターネット等で施設利用状況の確認や、利用申請ができるよう、予約システムの導入が求められています。現在、町内団体の定期利用、利用料金の減免措置は継続し、空いている施設を有効活用するための各種調整が求められています。

(令和元年度の町立体育施設の利用状況…別添資料)

(町内スポーツ活動団体聞き取り調査…別添資料)

<目標施策>

(1) 予約システムの導入

施設利用者の利便性を図るため、利用状況が、いつでも、どこでも可視化され、施設に出向かなくてもすぐに予約できるシステムづくりに努めます。

(2) 優先予約の理解と空き施設の有効利用の促進

町内団体のスポーツ活動を促進するため、優先予約制度の理解を求めながら、空き施設の利用調整を図ります。

(3) 利用できる体育施設の広報

利用できる施設を広く知っていただくとともに、施設利用の状況(各種団体の活動状況など)を映像等で広報することで、利用促進を行います。

基本方針3

町民みんなでスポーツで高め合おう～青少年健全育成・競技の育成支援

基本施策3-① 競技力向上の取り組み

<課題>

意識調査①では、「スポーツ活動の必要性」、「スポーツ活動を行った理由」、「スポーツ活動で得たもの」、「スポーツ活動の振興に必要なと思うこと」については、競技力向上の割合はそれほど高くありません。しかし、意識調査③④の小学生・中学生の結果では、「スポーツ活動で得たもの」

については、「競技力向上」が高い割合となっており、意識調査①についても、若い年代が高い割合となっています。また、意識調査①③④の結果において、「指導者の存在（能力ややさしさ）」は、高い割合で求められている要素です。

また、意識調査①（質問 24）、意識調査②③④（質問 7）では、「町に期待するスポーツ振興施策は」（記述式）については、有名なスポーツ選手・著名な指導者を呼ぶ、プロスポーツ選手による指導などの要望が多く、子どもや競技者が、夢を持ち取り組む意欲を高める取り組みが求められています。

<考察>

競技力向上に欠かせない要素は、指導力であり、より高い技術のある指導者の指導が求められています。指導者の経験を積むこと、優秀な指導者の招聘などの取り組みが求められています。また、競技力向上への意識も大切であり、著名な選手などに直に触れ、刺激をもらい、意欲を向上させる取り組みがのぞまれます。さらには、実力をはかるための対外試合も欠かせない要素です。

<目標施策>

（1）技術の高い指導者招聘の推進とイベント開催の支援

指導者招聘のため、各競技の上部団体との連絡調整や招聘に係る経費を補助する体制を目指します。また、大学や県内プロスポーツチームと連携し、指導協力要請の橋渡しを行います。指導者の指導力向上を目指し、様々な事業を通し、経験を積む事業を推進します。

（2）町内外の交流促進

交流試合などの交流事業を推進し、実施にかかる経費を補助する体制を目指します。

（3）全国大会への出場者の増加

競技力向上を図るため、様々な全国大会へ出場することが有効とされているため、より多く参加できるよう、参加費用の支援に努め、全国大会への出場者の増加を目指します。

基本施策 3-② スポーツ団体の育成の取り組み

<課題>

意識調査①では、（質問 9）「スポーツ団体や教室に加入しているか」に

については、「加入していない」が88.4%となっており、高い割合です。一方、(質問9-③)「加入した主な動機」については、「健康・体力づくり」が35.8%、「仲間との交流」が21.2%、「生きがい・楽しみ」が9.5%となっており、健康と生活を楽しむために加入し、スポーツ活動を行っている方が多いことが分かります。また、加入していない方で、(質問9-④)「スポーツ団体・教室に加入したいか」については、「加入したい」、「どちらかという加入したい」をあわせて41.4%となっており、今後の加入促進の取り組みが期待されます。

また、(質問23)「今後、スポーツ活動の振興に必要なと思うこと」については、「指導者の育成」が15.1%、「スポーツ団体組織の基盤強化」が3.3%、(質問24)「町に期待するスポーツ活動の振興施策は」(記述式)については、「団体の加入者増の取り組みをして欲しい」、「スポーツ指導者の誘致・育成」、「活動や大会参加の補助」、「備品や施設利用の無料化」などが求められています。

<考察>

スポーツ団体の育成に大切な要素は、活動者の確保です。スポーツ活動をおこなう人を一人でも多く生み出すため、ニーズを把握し、団体への加入につなげることが大切です。次に、大切な要素は、指導者の確保と育成です。育成においては、指導者が技術と時代に合った指導法を身につけること、スポーツ障害をおこさない指導法を身につけること、また、確保については、指導者としてのやりがいを持つことが、指導者の確保のために大切です。そして、団体を運営していくための体制づくり(資金や備品)についても大切な要素です。団体・教室に加入したい方への広報活動とともに、加入したいと思ってもらえるよう、活動のPR、スポーツ活動の意義や魅力を伝える取り組みが必要です。

<目標施策>

(1) スポーツ団体の広報

スポーツ団体のことを知ってもらうための広報活動を強化し、団体の加入者増を目指します。スポーツ活動の魅力、特にニーズの高い健康づくり、生きがいづくり、仲間づくりの成果をピックアップし、PR方法を企画します。

(2) 指導者養成

様々なスポーツ団体等が行う、指導者育成の講習等へ積極的な参

加を推進し、技術を学ぶとともに、心の分野、スポーツ障害をおこさない分野等を学ぶために、指導者が参加に際して必要な費用を支援する体制を目指します。また、指導者に対しては表彰制度等を整備し、評価し、称える体制を目指します。

(3) 団体運営の支援

健全な団体運営に対し、各団体に努力を求め、必要の応じた支援を行います。



基本施策 3-③ 青少年健全育成の取り組み

<課題>

意識調査②③④では、(質問5)「スポーツ活動をしてもらうために必要だと思うこと」については、「指導者の技術」、「指導者の態度」が高い割合を示しており、近年、過度な指導や体罰、ハラスメントなどの問題も多くみられます。

また、学校の働き方改革の視点から、中学校における部活動を地域全体で支えることが求められ、国では、令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図る改革を進めており、学校と地域との連携についてのスポーツ環境の整備が求められています。

<考察>

勝ち負けだけではない青少年健全育成が理念であるスポーツ少年団活動は、幼少期からスポーツ活動を取り組み、継続していく上で重要な組織であり、組織の継続・活性化が求められます。中学校の部活動については、地域スポーツ団体との連携が必要ですが、指導者の確保とともに、学校教育の一環として行われる部活動の意義や体罰やハラスメントなどの問題をおこさない体制づくり、指導者の質の向上が急務です。

<目標施策>

(1) スポーツ少年団理念の普及・啓発

スポーツ少年団の理念である「スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる」ことの普及・啓発に努め、スポーツ少年団活動への参加を推進します。また、スポーツ少年団の組織強化に必要な指導者育成について、競技力だけではなく、心のケアやスポーツ障害の未然防止等の研修に、積極的な参加を促すとともに、必要な研修を企画します。

(2) 中学校部活動外部指導者の養成と確保

部活動を地域でも行うためには、まず指導者の養成・確保が必要です。どのような人材が必要であるか、確保のためにどのような研修が必要かを検討していきます。その上で、まずは外部指導者などの立場で部活動に係る人材を増やしていくことが必要です。

(3) 中学校部活動と地域スポーツ団体との連携強化

中学校部活動を地域移行するためには、地域のスポーツ団体において学校の指導方針の理解が必要です。また、地域のスポーツ団体にある技術や指導方法を教員が学ぶことも大切です。教員の負担とならないことを前提とし、学校と地域のスポーツ団体が連携し、ともに活動する方法を検討します。



第4章 計画の推進

1 計画の推進

○関係団体、関係各課との連携

計画に基づき、具体的な施策を計画し、実行するため、綾川町体育協会やスポーツ少年団、梅の里スポーツ実行委員会、関係各課および関係団体等との連携を強化に努めます。また、町内企業や近隣の市町、スポーツ施設との情報交換を密にし、協調しながらスポーツ活動の推進を図ります。

○計画の進行管理

この計画に基づいた具体的な施策を関係課ごとに作成します。施策は、計画期間を5年間のスケジュールと定め、より具体的な数値目標を設定し作成します。施策の計画、実行内容について成果の集約に努め、関係各課の連携による定期的な評価を行います。

また、綾川町スポーツ推進審議会設置要綱により設置される次期綾川町スポーツ推進審議会において、各年度の成果を取りまとめ評価し、次の施策に生かしていきます。



2021（令和3）年度
綾川町民のスポーツに関する意識調査 結果

＜調査の概要＞

1. 目的

平成24年に「スポーツ基本法」が施行され、国の「スポーツ基本計画」をもとに個別の「地方スポーツ推進計画」の策定が求められている。それをうけ、綾川町では、町民のスポーツに関する意識と活動の状況を把握し、本町のスポーツ推進のため、「綾川町スポーツ推進計画」の策定を進め、本調査を策定の基礎資料とする。

2. 調査期間

令和3年6月15日（火）から令和3年7月15日（木）

3. 調査方法

住民基本台帳をもとに、令和3年5月1日現在の16歳以上の町民から、人口、性別に比例するように、無作為に抽出をした男女2,000名を対象に郵送方法により実施する。

＜対象者・回答率等＞

1. 16歳以上

送付数：2000 回答(返信)数：918 回答率：45.9%

2. こども園（4歳児）

送付数：167 回答(返信)数：137 回答率：82.0%

3. 小学生（5年生）

送付数：163 回答(返信)数：162 回答率：99.4%

4. 中学生（2年生）

送付数：181 回答(返信)数：167 回答率：92.3%

＜結果一覧の見方＞

1. 集計表の数値は、四捨五入の関係で合計が100等、合わない表があります。
2. グラフの数値表記がスペースの関係で省略している場合があります。
3. グラフの注釈がスペースの関係で切れている場合があります。（表を参照）
4. 小学生意識調査では質問・回答項目を子ども向けにわかりやすい表現にしていますが、結果一覧では16歳以上のものに表現を統一しています。

★本文にて意識調査の結果を引用する場合、表記は下記のとおりとします。

意識調査①…16歳以上

意識調査②…こども園（4歳児）

意識調査③…小学生（4年生）

意識調査④…中学生（2年生）

○町民意識調査のねらい

現在の町民のスポーツ活動の取り組み状況を把握するとともに、スポーツ活動に対する考え方を選択・記述形式で回答いただき、把握するものである。国が目標とするスポーツ活動の実施率をはじめ、教育委員会以外のスポーツ活動振興に関わる関係課の質問も設定し行った。今後振興施策が必要であると考えられる子ども・高齢者・障害者に対するスポーツ振興、まちづくりとしてのスポーツ振興を考える資料とし、5年後に同様の意識調査を行ったときに、それぞれの施策により調査結果がプラスの回答が得られることを目標とし、スポーツ振興計画を作成するための調査である。

○町民意識調査の考察（16歳以上）

町内住民2,000名を無作為に抽出（抽出にあたっては、年代ごとの割合に応じて抽出した。）、依頼し、スポーツ活動に関する取り組み状況の調査を行った。回答率は45.9%であった。

質問4「現在の健康状態」については、非常に健康、健康な方があわせて77.3%、あまり健康でない、健康ではないがあわせて22.6%となり、健康でないと感じる方が20%を超える心配な結果となった。質問5「運動不足を感じるか」については、大いに感じる、ある程度感じるがあわせて79.8%となり、運動不足を感じている方が約8割と多かった。また、質問6「肥満を感じるか」については、大いに感じる、ある程度感じるがあわせて46%の方が感じている結果であった。

質問7「スポーツ活動は必要か」については、必要、やや必要があわせて88.8%と高い数値であるが、やや必要でない、必要ない11.2%の方が感じており、スポーツ活動の意義のPRが必要である。質問7-①「必要である理由」としては、体力・健康増進が38.7%で高く、次いで運動不足の解消が27.8%で、質問5の結果を受けての回答であることが分かる。また、ストレス発散が9.5%、仲間との交流が9.0%、生きがい・楽しみが5.2%とつづき、生活の中での楽しみに視点をおいてスポーツ活動をしていることが分かる。

質問8「スポーツ活動を行ったか（成人：20才以上）」については、35.5%が行ったという結果となった。質問8-①「スポーツ活動を行った頻度（成人：20才以上）」については、週に3回以上が30.5%、週に1～2回程度が40.3%となった。国の目標数値は、成人のスポーツ実施率について、週3回以上が30%、週1回以上が65%程度であるが、上記の結果により、綾川町では週3回以上が10.8%、週1回以上が25.1%となり、大きく目標値を下回る結果となった。

質問8-③「スポーツ活動の内容」については、「比較的軽いスポーツ」が78.8%と多く、種目についてはウォーキング、ゴルフ、健康体操の順であった。質問8-④「スポーツを行った場所」については、「公的スポーツ施設」が22.9%と多く、「道路」が17.0%、「自宅」が13.9%、「商業スポーツ施設」が10.5%とつづいている。道路については、ジョギングやウォーキング、自宅については、体操やヨガなど様々な形態の活動に取り組んでいることが分かる。また、公民館も6.1%と利用されている。質問8-6「スポーツ活動を行った理由」(質問8-⑦「スポーツ活動で得られたもの」)については、「健康・体力づくり(増進)」が33.1%(25.1%)で高く、次いで「運動不足のため(運動不足の解消)」が23.1%(25.5%)、「仲間との交流」が14.0%(18.3%)、「気分転換(ストレス発散)」が8.9%(13.8%)、「生きがい・楽しみ」が6.3%(6.1%)となっており、質問7-①にも比例した結果である。

質問8-⑧「スポーツ活動を行わなかった理由」については、「忙しかった」、「機会・情報がない」がそれぞれ24.6%と高く、「年をとったから」が15.4%、「スポーツが嫌い(苦手)」が10.4%、「体調が悪い」が9.0%とつづいている。機会・情報については十分に広報する必要があり、また、60代以上で年齢、体調が理由である割合が高くなっており、健康増進のためにもスポーツ活動の普及は期待される。また、質問8-⑨「今後行いたいスポーツ活動は」については、比較的軽いスポーツが93.4%と大半で、スポーツ活動を始めるにあたっては軽いスポーツからという意識が把握できる。

質問9「スポーツ団体やスポーツ教室の加入」については、「加入していない」が88.4%で、団体や教室に加入していない方が多く、質問9-④「加入したいか」については、「加入したい」、「やや加入したい」をあわせて41.4%であり、今後加入に向けての取り組みが期待される。加入している方では、質問9-①「どのような団体や教室か」については、「町のスポーツ団体」が35.5%、「民間のクラブ・教室」が21.5%、質問9-③「加入した主な動機」については、質問7、質問8-⑦と同様に、「健康・体力づくり」が35.8%、「仲間との交流」が21.2%、「生きがい・楽しみ」が9.5%と高くなっている。

質問10からの「スポーツ観戦」については、「年数回程度」が31.6%、「全く見ない」が19.1%、質問10-②「観戦は充分か」については、「充分でない」が46.3%で、スポーツ観戦があまりできていない状況がわかる。また、質問10-①「観戦概要」については、「テレビ」が94.1%で高い。

質問11「県内のスポーツチームを知っているか」については、アイスホッケーチーム、女子サッカーチームについての認知度がまだまだ低い。質問12「観戦したことがあるか」については、どのチームの試合に関しても9割程度の方

が経験がなく、観戦経験は低い。

質問14「スポーツに関するボランティア活動を行ったか」については、「行った」が4.5%と低く、各年代でも低い結果であった。質問15「ボランティア活動を行いたいのか」については、「あまり行きたくない」、「行きたくない」が合わせて64.4%、「わからない」が17.7%であり、ボランティア活動について消極的な結果となった。「行きたい」、「できれば行いたい」と回答した年代は10代、20代が多かった。質問16「ボランティア推進に何が必要か」については、「情報の提供」が63.0%と最も多く、「機会の充実」が18.7%、「研修の実施」が16.3%であった。

質問17「町のスポーツ行事・教室を知っているか」については、町民綱引き大会は「知っている」が58.9%であるが、他の事業は半数以上が「知らない」と回答し、認知度が低かった。質問18「参加したことがあるか」については、質問17と比例した結果であったが、参加した割合は低く、参加者増に向けた取り組みがのぞまれる。

質問19「スポーツ行事の情報の入手はどこから」については、「新聞・広報誌」が43.6%、「テレビ・ラジオ」が29.4%、「友人・家族」が16.6%であり、今後の情報提供の方法についての参考となった。

質問20「今後、参加したい（参加してもいい）と思う事業は」については、「初心者が参加できる事業」が39.4%と最も多く、また、「勝敗を主としない事業」が9.3%となっており、スポーツ活動を始めるきっかけが求められている。また、「競技力向上のための専門的な事業」が16.9%であり、すでに活動に取り組んでいる方は競技力向上も求めていることが分かる。

質問21「町内のスポーツ施設を利用したことは」については、「利用したことがない」が57.8%と半数を超えていることは、施設の利用促進の取り組みがのぞまれる。質問21-①「利用した理由は」については、「住まいに近い」が44.1%、「料金が安い」が15.4%、「施設が整っている」が8.6%、「駐車場が広い」が5.7%で、近い・安い・整備されているはポイントである。質問22「学校開放事業について知っていますか」については、「知らない」が63.3%と半数を超え、利用者増に向けた広報活動の取り組みがのぞまれる。

質問23「スポーツ活動の振興に必要なだと思うことは」については、「施設の充実」が17.1%、「広報の充実」は15.6%、「指導者の育成」についてが15.1%、「イベントの充実」が10.1%となっており、それぞれの要望に応じた取り組みが期待される。

質問25「障害者スポーツ活動に関わったことは」については、「経験がない」が93.3%で、経験がない方が大半を占める。質問26「障害者スポーツ活動に

関する取り組みは十分か」については、「どちらかといえば不十分」、「不十分」があわせて80.7%であり、十分できていないという意識が高い。また、わからないと記述していた方も多く、障害者スポーツ活動に関する取り組みについて、今後、一から段階を経た取り組みが必要であると考えられる。

○町民意識調査の考察（こども園4歳児）

町内こども園6施設の保護者に依頼し、4歳児のスポーツ活動に関する取り組み状況の調査を行った。回答率は82.0%であった。

質問2「スポーツ活動は好きか」については、「好き・やや好き」があわせて97.0%、質問3「スポーツ活動をする時間を持ちたいか」については、「持ちたい・やや持ちたい」があわせて97.8%となり、スポーツ活動に対する前向きな意識が得られた。

質問4「こども園以外でスポーツ活動を行ったか」については、38.8%が「行っていない」と回答し、質問2.3ではスポーツ活動を行いたいが、家庭等では行えていない子どもがいることが把握できる。質問4-①から質問4-②「スポーツ活動を行った頻度・時間」については、「週1～2回」が54.1%、「週3回以上」が7.1%、1回の時間については「30分～1時間未満」が55.2%、「1時間から2時間未満」が32.2%となっており、質問4-1から質問4-2のスポーツ活動を行っている子どもはおおむね十分な量のスポーツ活動を行っていることが分かる。

質問4-③「スポーツ活動の内容」については、「競技的スポーツ」より、「比較的軽いスポーツ」が76.7%と多かった。質問4-④「スポーツを行った場所」については、「町内公共施設」があわせて36.9%、「町外施設」や「その他の施設」が63.1%であり、町外施設を除くと自宅や公園で行う子どもが多くいることが分かる。

質問4-⑤「こども園以外でスポーツ活動を行った理由」については、「健康・体力づくり」が38.8%、「家族とのふれあい」が27.2%と多く、質問4-6「スポーツ活動で得られたもの」についても、「健康・体力増進」が38.6%と多く、競技的な理由より、健康・体力増進、家族とのふれあいや仲間との交流に多くの保護者が視点を置いていることが分かる。

質問4-⑦「こども園以外でスポーツ活動を行わなかった理由」については、「きっかけがない」が42.3%、「時間がない」が29.5%と多く、スポーツ活動に取り組むきっかけづくりについて考えていく必要がある。また、質問4-⑧「今後行いたいスポーツ活動は」については、質問4でスポーツ活動を行わな

かった38.8%のうち、87.5%が「したくない」と回答し、行っていない子どもに対するスポーツ活動の意識付けも大切であることが分かる。

質問5「今後、スポーツ活動の振興に必要なと思うこと」については、「広報活動」が49.2%と多く、スポーツ活動についての情報提供が求められていること、「指導者の態度」が12.0%、「指導者の技術」が8.5%となっており、指導者に対する期待も大いにあることが分かった。また、「施設の充実」が11.5%となっており、施設整備に対する期待もうかがえる。

質問6「今スポーツ活動のことで悩んでいること」については、24.1%が「ある」と回答しており、悩みのある方が思った以上に多く、それぞれの項目について、聞く窓口体制の整備と、ケアが必要であると考ええる。

質問7「町に期待するスポーツ活動の振興施策は」の記述式回答については、様々なスポーツが体験できる、気軽に参加できるなどの意見が多く、子どもたちが幅広い体験ができることが求められている。また、施設的には公園やプール施設が求められていることが分かった。それぞれの個々の意見をスポーツ活動の推進施策に反映できるようアイデアが求められている。

○町民意識調査の考察（小学4年生）

町内小学校5施設に依頼し、小学4年生のスポーツ活動に関する取り組み状況の調査を行った。回答率は99.4%であった。

質問2「スポーツ活動は好きか」については、「好き・やや好き」があわせて89.5%、質問3「スポーツ活動する時間を持ちたいか」については、「持ちたい・やや持ちたい」があわせて84.0%となり、スポーツ活動に対する前向きな意識が得られた。こども園の結果よりは7～13ポイント程度低くなっており、年齢が上がりスポーツ活動への意識が分かれてくる結果となった。

質問4「学校以外でスポーツ活動を行ったか」については、95.1%が「行った」と回答し、質問4-①から質問4-②「スポーツ活動を行った頻度・時間」については、「週3回以上」が51.9%、「週1～2回程度」が35.7%、1回の時間については「1時間から2時間未満」が30.5%、「2時間以上」が26.6%、「30分～1時間未満」が26%、となっており、スポーツ活動を行っている小学生はおおむね十分な量のスポーツ活動を行っていることが分かる。こども園との比較では、頻度・時間ともに多くなっていることが分かる。

質問4-③「スポーツ活動の内容」については、「競技的スポーツ」が61.0%となり、こども園の結果と比べ、種目についても競技スポーツの取り組みが多くなったことが分かる。質問4-④「スポーツ活動を行った場所」については、町

内公共施設があわせて58.7%、その他の施設が41.3%であり、こども園の結果と比べ公共施設が多くなっている。また、自宅（屋内外）も多く、外遊びや散歩など、友達とのスポーツ活動も活発に行っていることが分かる。

質問4-⑤「学校以外でスポーツ活動を行った理由」については、「生きがい・楽しみ」が33.1%、「健康・体力づくり」が24.6%と多く、質問4-⑥「スポーツ活動で得られたもの」についても、「生きがい・楽しみ」が19.7%、「健康・体力増進」が17.8%と多かった。また、こども園の結果と比べ、「スポーツ少年団活動」の割合（15.3%）、「競技力向上」の割合（35.2%）が多くなり、競技的な意識の高まりが分かる。

質問4-⑦「学校以外でスポーツ活動を行わなかった理由」については、質問4でスポーツ活動を行わなかった人数としては少人数であったが、「スポーツが嫌い」、「仲間がない」、「自信がない」、「体育の授業で十分」、「きっかけがない」が18.2%となっている。また、質問4-⑧「今後行いたいスポーツ活動は」については、12.5%が「したくない」と回答し、こども園の結果同様、行っていない子どもに対するスポーツ活動の意識付けも大切であることが分かる。

質問5「今後、スポーツ活動の振興に必要なだと思うこと」については、「指導者の技術」が15.4%、「指導者の態度」が13.8%となっており、指導者に対する期待があることが分かる。また、「施設の充実」が17.5%となっており、施設整備に対する期待もうかがえる。さらに、こども園の結果と比べ、スポーツ少年団活動の割合が増えたことにより、「保護者の協力（送迎・運営等）」の必要性も高い比率（13.8%）となった。また、「広報活動の必要性」は10.7%であった。

質問6「今スポーツ活動のことで悩んでいること、困っていることは」については、10.8%が「ある」と回答しており、こども園の結果より低い。また、体罰で悩んでいるという回答もあり、それぞれの項目について、相談を聞く窓口体制の整備と、ケアが必要であると考えられる。

質問7「町に期待するスポーツ活動の振興施策は」の記述式回答については、体験ができる、スポーツに気軽に触れる、仲良く遊んでできるスポーツが必要であるという回答が多く見られ、楽しく友達と参加できる環境が求められている。また、やさしい指導者やスポーツ団体のPRが必要であるという意見も多く見られた。

○町民意識調査の考察（中学2年生）

町内中学校2施設に依頼し、中学2年生のスポーツ活動に関する取り組み状

況の調査を行った。回答率は92.3%であった。

質問2「スポーツ活動は好きか」については、「好き・やや好き」があわせて86.3%、質問3「スポーツ活動する時間を持ちたいか」については、「持ちたい・やや持ちたい」があわせて85.6%となり、スポーツ活動に対する前向きな意識が得られた。こども園の結果よりは低く、小学生の結果とはほぼ同様であった。

質問4「学校以外でスポーツ活動を行ったか」については、83.6%が「行った」と回答し、小学生の結果と比べ12ポイント程度低く、年代が上がることでスポーツ活動を行う割合が下がることが分かった。また、質問4-①から質問4-②「スポーツ活動を行った頻度・時間」については、「週3回以上」が79.1%、「週1～2回程度」が7.4%、1回の時間については、「2時間以上」が66.2%、「1時間から2時間未満」が20.4%となり、スポーツ活動を行っている中学生はおおむね十分な量のスポーツ活動を行っていることが分かる。頻度・時間ともに小学生より極端に多くなっていることが分かる。

質問4-③「スポーツ活動の内容」については、「競技的スポーツ」が82.6%となり、こども園・小学生の結果と比べ、種目についても競技スポーツの取り組みがだんだん多くなったことが分かる。質問4-④「スポーツ活動を行った場所」については、町内公共施設があわせて72.8%、その他の施設が27.3%であり、こども園・小学生の結果と比べ公共施設がだんだん多くなっている。

質問4-⑤「学校以外でスポーツ活動を行った理由」については、「クラブ（部活）活動の練習として」が22.5%と高く、「スポーツ少年団活動」が19.2%で、部活動の追加練習や団体としての活動が多いことが分かった。また、「健康・体力づくり」が13.8%、「家族とのふれあい」が12.2%、「仲間との交流」が9.8%と多く、質問4-⑥「スポーツ活動で得られたもの」についても、「健康・体力増進」が33.5%、「仲間との交流」が18.1%と多くなっており、健康、仲間、楽しみの意識が高いことが分かる。「競技力向上」についても21.5%と高く、競技的な意識の高まりが分かる。

質問4-⑦「学校以外でスポーツ活動を行わなかった理由」については、「時間がない」が34.5%と多く、学校以外での時間をスポーツ活動にあてない生徒や、「きっかけがない」16.7%、「スポーツが嫌い」14.3%となっている。質問4-⑧「今後行いたいスポーツ活動は」については、16.7%が「したくない」と回答し、こども園、小学生の結果同様、行っていない子どもに対するスポーツ活動の意識付け、PR活動が大切であることが分かる。

質問5「今後、スポーツ活動の振興に必要なだと思うこと」については、「指導者の技術」が19.2%、「指導者の態度」が22.5%となっており、小学生の結果より、指導者に対する期待が大きいことが分かった。また、「用具の充実」が

13.8%、「施設の充実」が9.8%となっており、用具および施設整備に対する期待がうかがえる。さらに、「他のチームとの交流」が15.5%と高く、他校との交流も高い要望であるとうかがえる。小学生と同様に、「保護者の協力（送迎・運営等）」の必要性も高く12.2%となっている。

質問6「今スポーツ活動のことで悩んでいること、困っていることは」については、5.5%が「ある」と回答しており、こども園、小学生の結果より低くなっており、部活動やスポーツ少年団でのケアができていていると思われるが、それぞれの項目について、相談を聞く窓口体制の整備と、ケアは必要であると考えられる。

質問7「町に期待するスポーツ活動の振興施策は」の記述式回答については、気軽に参加できる、様々な体験ができる、仲良く遊んだりスポーツができるなどの回答が多く見られ、楽しく友達と参加できる環境が求められている。また、施設的には、空調設備や大きな施設、管理および用具の充実などの意見が多く見られ、特に取り組む頻度・時間が多くなる中学生にとっては、熱中症対策や、競技に必要な備品などの充実が求められていることが分かる。その他、広報活動の必要性や、著名な選手や指導者を招くなどの回答もあった。

○町民意識調査の考察 まとめ

意識調査の年代区分は、推進計画の計画期間を5年とし、こども園4歳児、小学4年生、中学2年生、16歳以上と年代を区切り調査を行い、5年後に再度、同世代に意識調査を行い比較する段階設定であることが分かる。

調査結果については、スポーツ活動を行う町民の割合が低いこと、障害者スポーツ活動の意識が低いこと、また、気軽に参加できるスポーツ活動がのぞまれていることなどが特徴的であり、それぞれの項目における分析と、具体的な施策が必要である。意識調査により把握した結果から、今後、推進を期待する項目は、以下の通りである。

- ①スポーツ活動を行う町民の各世代での割合を増やす施策
- ②スポーツ活動の意義の普及施策
- ③スポーツ活動（事業）の広報強化施策
- ④気軽に参加できる事業の創出施策
- ⑤施設の充実と施設利用の拡充施策
- ⑥障害者スポーツ活動の推進施策

各項目において、推進するための計画は、各年代にあったものが必要であり、単年度だけではなく、計画的な年度計画を考え、その具体的な施策により、5年後の各数値の上昇がのぞまれる。

○町民意識調査の集計（16歳以上）

1. 基本情報

質問1.3 性別及び年齢別構成（回答率：918/2000＝45.9%）

性別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性（人）	13	25	35	66	53	94	137	423
女性（人）	12	32	52	72	55	100	172	495
合計（人）	25	57	87	138	108	194	309	918
割合（%）	2.7	6.2	9.5	15.0	11.8	21.1	33.7	

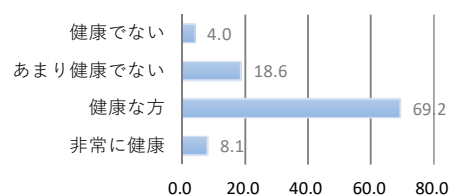
質問2 職業

項目	男性（%）	女性（%）	合計（%）
会社員	16.7	9.2	26.0
自営業	5.9	1.6	7.5
無職	14.2	7.6	21.8
学生	2.2	2.0	4.1
アルバイト・パートタイマー	2.6	9.5	12.1
医療従事者	1.0	3.0	4.0
主婦（主夫）	0.1	18.5	18.6
その他	3.4	2.5	5.9

質問4 現在の健康状態

項目	男性（%）	女性（%）	合計（%）
非常に健康だと思う	3.6	4.5	8.1
健康な方だと思う	31.0	38.3	69.2
あまり健康ではない	9.4	9.3	18.6
健康ではない	2.2	1.9	4.0

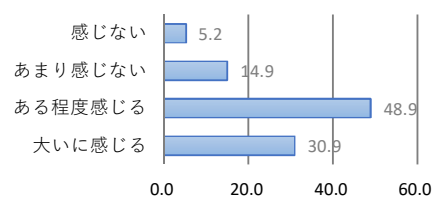
現在の健康状態



質問5 運動不足を感じるか

項目	男性（%）	女性（%）	合計（%）
大いに感じる	11.4	19.5	30.9
ある程度感じる	21.7	27.2	48.9
あまり感じない	9.4	5.6	14.9
感じない	3.6	1.6	5.2

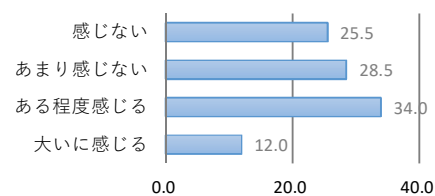
運動不足を感じるか



質問6 肥満を感じるか

項目	男性（%）	女性（%）	合計（%）
大いに感じる	5.6	6.4	12.0
ある程度感じる	15.7	18.2	34.0
あまり感じない	13.3	15.2	28.5
感じない	11.5	14.1	25.5

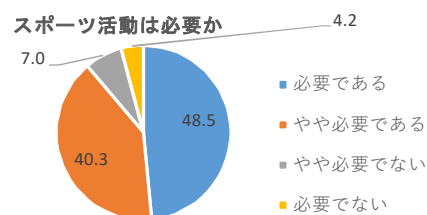
肥満を感じるか



2. スポーツ活動の状況

質問7 スポーツ活動は必要か

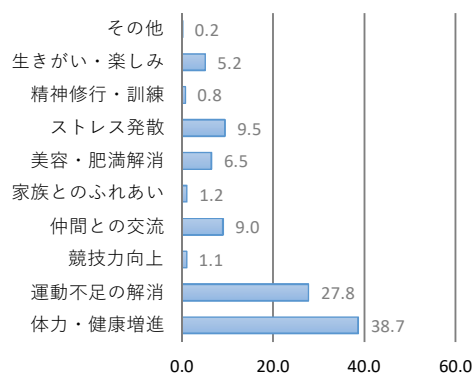
項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
必要である	24.7	23.8	48.5
やや必要である	16.3	24.0	40.3
やや必要でない	3.1	3.9	7.0
必要でない	1.9	2.3	4.2



質問7-① 必要であると答えた方…どういうところで必要か

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
体力・健康増進	17.8	20.9	38.7
運動不足の解消	12.0	15.8	27.8
競技力向上	0.7	0.3	1.1
仲間との交流	4.2	4.8	9.0
家族とのふれあい	0.5	0.6	1.2
美容・肥満解消	1.8	4.7	6.5
ストレス発散	4.8	4.7	9.5
精神修行・訓練	0.6	0.2	0.8
生きがい・楽しみ	2.7	2.5	5.2
その他	0.1	0.1	0.2

スポーツ活動が必要である理由



(その他)

気分転換	1	足の痛みへの予防・リハビリ	1	筋肉トレーニング	1
------	---	---------------	---	----------	---

質問8 この1年間にスポーツ活動を行ったか

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
行った	18.7	17.9	36.6
行わなかった	27.3	36.1	63.4

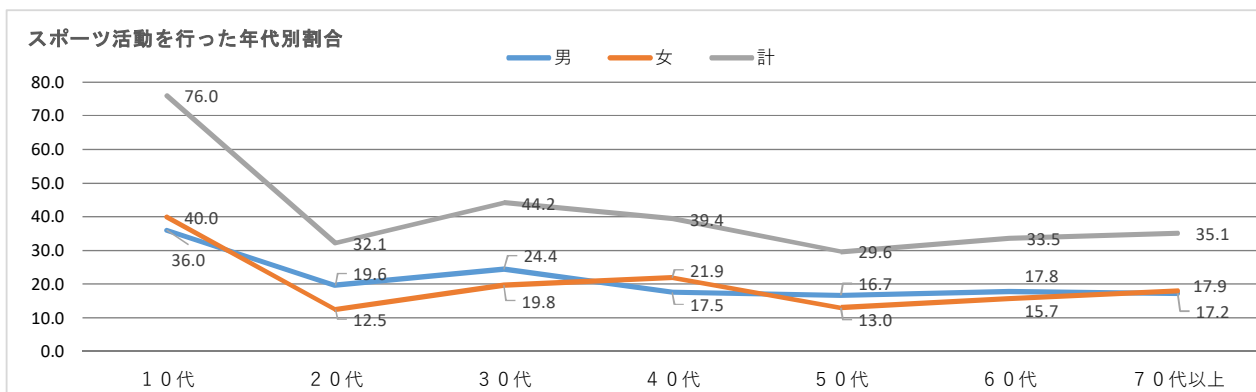
スポーツ活動を行ったか



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
行った(男性) %	36.0	19.6	24.4	17.5	16.7	17.8	17.2
行った(女性) %	40.0	12.5	19.8	21.9	13.0	15.7	17.9
合計 %	76.0	32.1	44.2	39.4	29.6	33.5	35.1

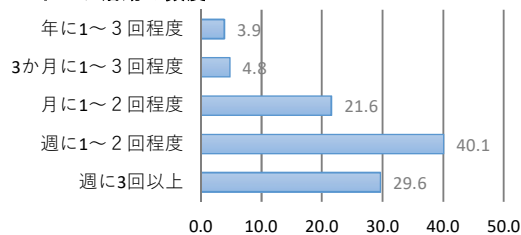
20代以上の集計	
行った	35.5
行わなかった	64.5



質問8-① 行ったと答えた方…どのくらいスポーツ活動を行った

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
週に3回以上	14.1	15.6	29.6
週に1～2回程度	18.6	21.6	40.1
月に1～2回程度	12.0	9.6	21.6
3か月に1～3回程度	4.2	0.6	4.8
年に1～3回程度	2.4	1.5	3.9

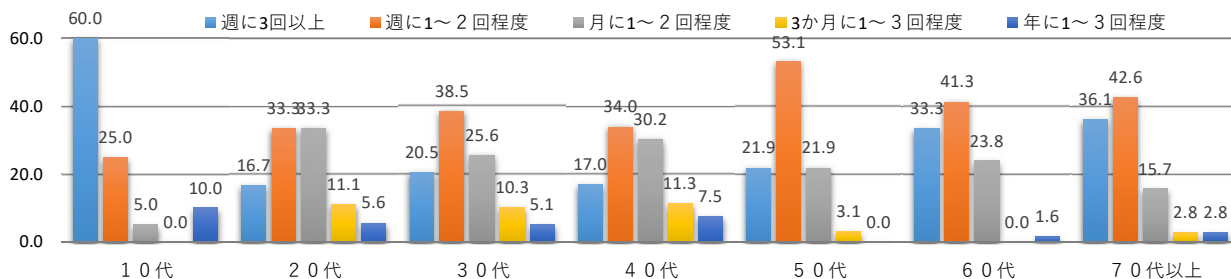
スポーツ活動の頻度



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	20代以上の集計
週に3回以上	60.0	16.7	20.5	17.0	21.9	33.3	36.1	30.5
週に1～2回程度	25.0	33.3	38.5	34.0	53.1	41.3	42.6	40.3
月に1～2回程度	5.0	33.3	25.6	30.2	21.9	23.8	15.7	21.0
3か月に1～3回程度	0.0	11.1	10.3	11.3	3.1	0.0	2.8	4.4
年に1～3回程度	10.0	5.6	5.1	7.5	0.0	1.6	2.8	3.8

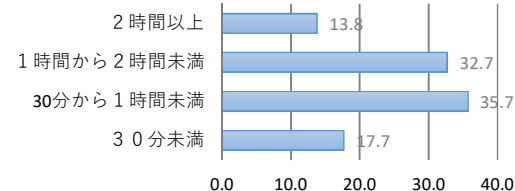
スポーツ活動を行った人の年代別割合 (頻度)



質問8-② 行ったと答えた方…1回のスポーツ活動の時間は

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
30分未満	5.4	12.3	17.7
30分から1時間未満	15.6	20.1	35.7
1時間から2時間未満	17.4	15.3	32.7
2時間以上	11.7	2.1	13.8

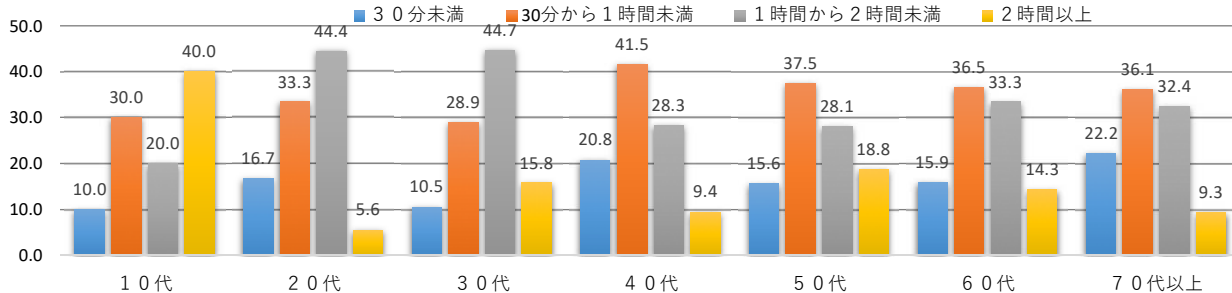
スポーツ活動の時間



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
30分未満	10.0	16.7	10.5	20.8	15.6	15.9	22.2
30分から1時間未満	30.0	33.3	28.9	41.5	37.5	36.5	36.1
1時間から2時間未満	20.0	44.4	44.7	28.3	28.1	33.3	32.4
2時間以上	40.0	5.6	15.8	9.4	18.8	14.3	9.3

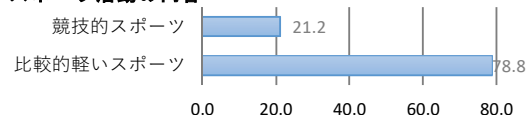
スポーツ活動を行った人の年代別割合 (時間)



質問8-③ 行ったと答えた方…行ったスポーツ活動の内容は

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
比較的軽いスポーツ	34.7	44.2	78.8
競技的スポーツ	16.0	5.2	21.2

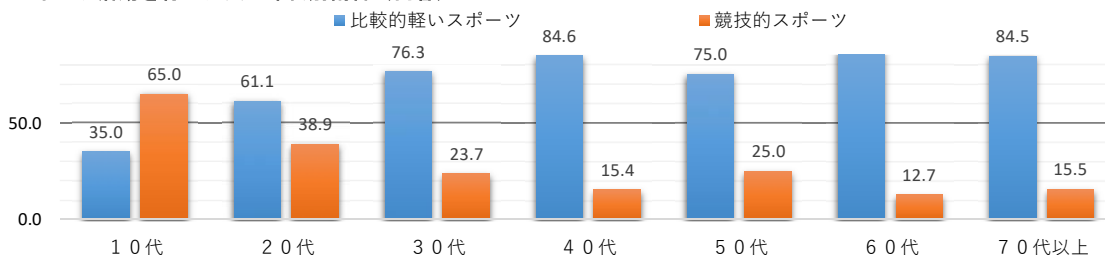
スポーツ活動の内容



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
比較的軽いスポーツ	35.0	61.1	76.3	84.6	75.0	87.3	84.5
競技的スポーツ	65.0	38.9	23.7	15.4	25.0	12.7	15.5

スポーツ活動を行った人の年代別割合 (内容)



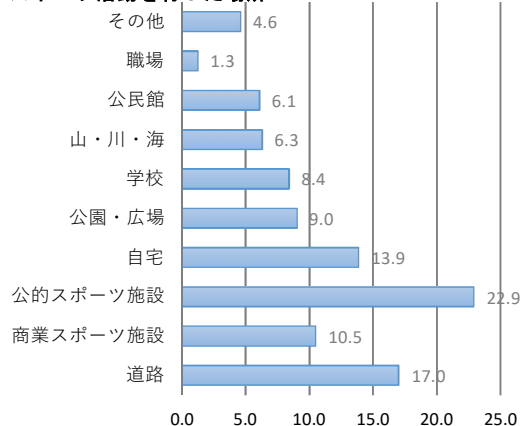
具体的なスポーツ活動の回答

ウォーキング	62	ゴルフ	31	健康体操	22	バレーボール	19
筋肉トレーニング	18	ジョギング	17	登山	16	テニスボール	14
バドミントン	12	水泳	11	野球	11	カローリング	8
ヨガ	8	自転車	7	ランニング	7	格闘技	6
グランドゴルフ	6	ストレッチ	5	卓球	5	ゲートボール	4
ダンス	4	体操	4	ソフトボール	3	アーチェリー	2
剣道	2	サッカー	2	ジャス体操	2	頭脳トレーニング	2
なわとび	2	バスケットボール	2	バランスボール	2	ハンドボール	2
ボーリング	2	柔道	2	その他	13		

質問8-④ 行ったと答えた方…どこでスポーツ活動を行った

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
道路	8.2	8.8	17.0
商業スポーツ施設	7.6	2.9	10.5
公的スポーツ施設	12.0	10.9	22.9
自宅	5.7	8.2	13.9
公園・広場	4.4	4.6	9.0
学校	4.6	3.8	8.4
山・川・海	2.7	3.6	6.3
公民館	1.3	4.8	6.1
職場	0.4	0.8	1.3
その他	2.1	2.5	4.6

スポーツ活動を行った場所



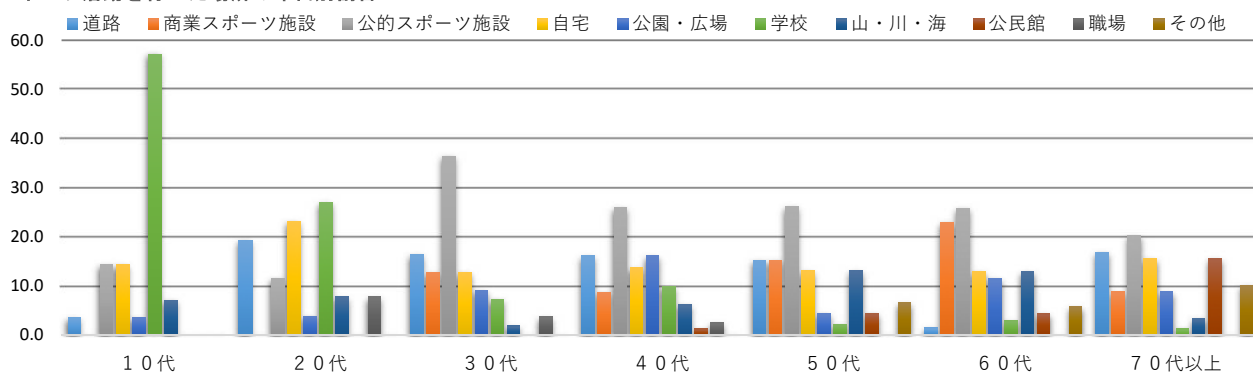
(その他)

スポーツ施設でない施設	5	国保総合保健施設綾南えがお	4	歩道	2
私設スタジオ	2	ゴルフ場	2	その他	7

(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
道路	3.6	19.2	16.4	16.0	15.2	1.4	16.8
商業スポーツ施設	0.0	0.0	12.7	8.6	15.2	22.9	8.7
公的スポーツ施設	14.3	11.5	36.4	25.9	26.1	25.7	20.1
自宅	14.3	23.1	12.7	13.6	13.0	12.9	15.4
公園・広場	3.6	3.8	9.1	16.0	4.3	11.4	8.7
学校	57.1	26.9	7.3	9.9	2.2	2.9	1.3
山・川・海	7.1	7.7	1.8	6.2	13.0	12.9	3.4
公民館	0.0	0.0	0.0	1.2	4.3	4.3	15.4
職場	0.0	7.7	3.6	2.5	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	5.7	10.1

スポーツ活動を行った場所の年代別割合



質問8-⑤ スポーツ活動を行った町内施設は

(使用した施設 %)

総合運動公園(陶)	27.8	ふれあい運動公園(B&G)	14.4	自治公民館・集会所	9.6
地区公民館	14.4	町内小中学校施設	8.6	綾南改善センター	4.3
綾上改善センター	6.4	その他	14.4		

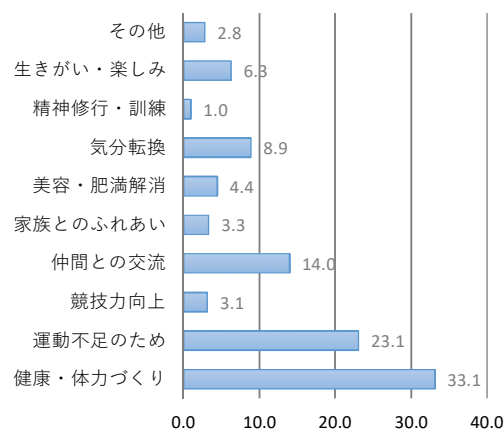
(その他)

デイサービス綾川	1	もみじ温泉	1	町外小中学校施設	1
----------	---	-------	---	----------	---

質問8-⑥ 行ったと答えた方…スポーツ活動を行った理由は

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
健康・体力づくり	16.6	16.5	33.1
運動不足のため	9.7	13.3	23.1
競技力向上	2.8	0.3	3.1
仲間との交流	8.1	5.9	14.0
家族とのふれあい	0.5	2.8	3.3
美容・肥満解消	1.8	2.6	4.4
気分転換	4.9	4.0	8.9
精神修行・訓練	0.8	0.2	1.0
生きがい・楽しみ	4.1	2.1	6.3
その他	0.7	2.1	2.8

スポーツ活動を行った理由



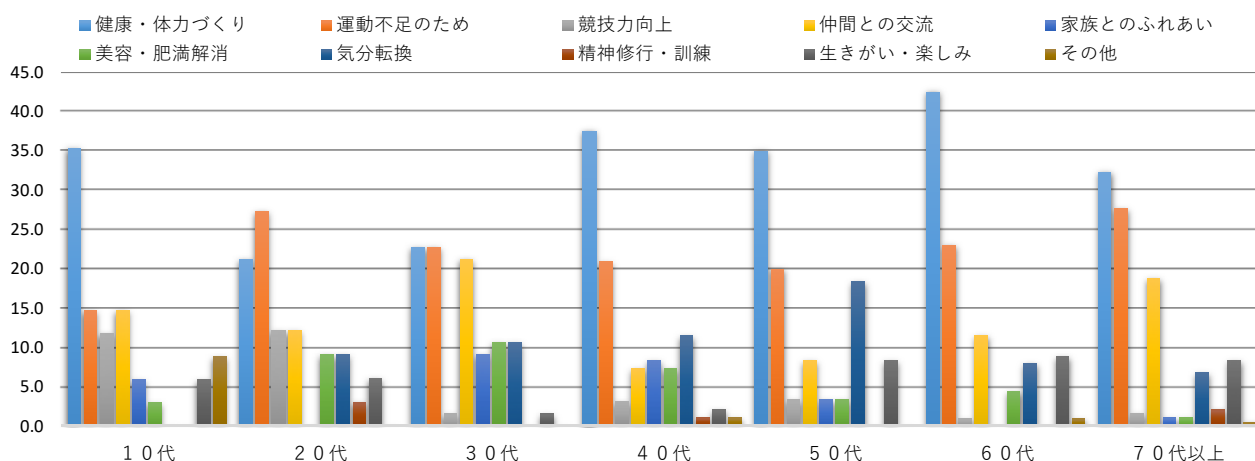
(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
健康・体力づくり	35.3	21.2	22.7	37.5	35.0	42.5	32.3
運動不足のため	14.7	27.3	22.7	20.8	20.0	23.0	27.6
競技力向上	11.8	12.1	1.5	3.1	3.3	0.9	1.6
仲間との交流	14.7	12.1	21.2	7.3	8.3	11.5	18.8
家族とのふれあい	5.9	0.0	9.1	8.3	3.3	0.0	1.0
美容・肥満解消	2.9	9.1	10.6	7.3	3.3	4.4	1.0
気分転換	0.0	9.1	10.6	11.5	18.3	8.0	6.8
精神修行・訓練	0.0	3.0	0.0	1.0	0.0	0.0	2.1
生きがい・楽しみ	5.9	6.1	1.5	2.1	8.3	8.8	8.3
その他	8.8	0.0	0.0	1.0	0.0	0.9	0.5

(その他)

授業	2	仕事	2	スポーツ少年団	1
----	---	----	---	---------	---

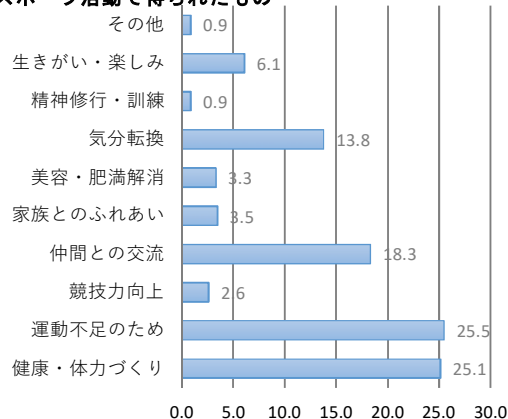
スポーツ活動を行った理由の年代別割合



質問8-⑦ 行ったと答えた方…スポーツ活動を行って得られたものは

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
体力・健康増進	14.5	10.6	25.1
運動不足の解消	12.2	13.3	25.5
競技力向上	2.3	0.3	2.6
仲間との交流	9.6	8.7	18.3
家族とのふれあい	0.3	3.1	3.5
美容・肥満解消	1.7	1.6	3.3
ストレス発散	6.6	7.2	13.8
精神修行・訓練	0.7	0.2	0.9
生きがい・楽しみ	3.5	2.6	6.1
その他	0.2	0.7	0.9

スポーツ活動で得られたもの



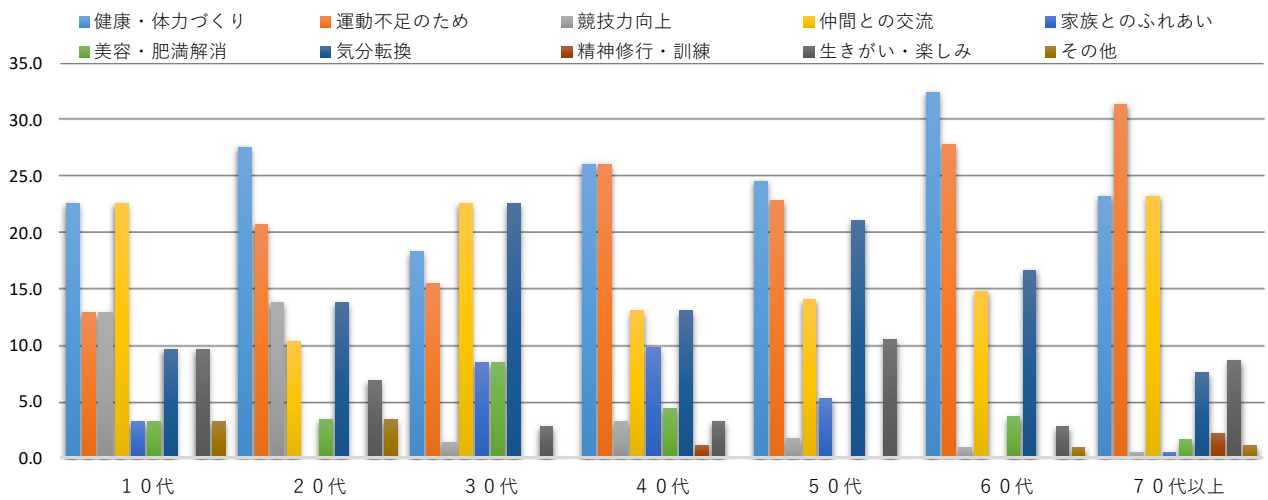
(その他)

特にない	1	情報	1	気分転換	1	外の空気を吸う	1
------	---	----	---	------	---	---------	---

(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
体力・健康増進	22.6	27.6	18.3	26.1	24.6	32.4	23.2
運動不足の解消	12.9	20.7	15.5	26.1	22.8	27.8	31.4
競技力向上	12.9	13.8	1.4	3.3	1.8	0.9	0.5
仲間との交流	22.6	10.3	22.5	13.0	14.0	14.8	23.2
家族とのふれあい	3.2	0.0	8.5	9.8	5.3	0.0	0.5
美容・肥満解消	3.2	3.4	8.5	4.3	0.0	3.7	1.6
ストレス発散	9.7	13.8	22.5	13.0	21.1	16.7	7.6
精神修行・訓練	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	2.2
生きがい・楽しみ	9.7	6.9	2.8	3.3	10.5	2.8	8.6
その他	3.2	3.4	0.0	0.0	0.0	0.9	1.1

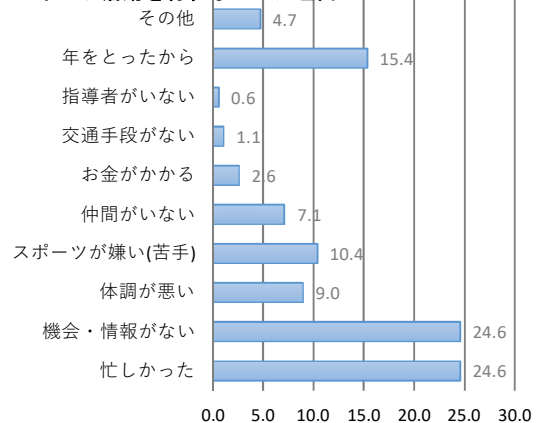
スポーツ活動で得られたものの年代別割合



質問8-⑧ 行わなかったと答えた方…スポーツ活動を行わなかった理由は

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
忙しかった	11.8	12.8	24.6
機会・情報がない	11.7	12.9	24.6
体調が悪い	4.4	4.6	9.0
スポーツが嫌い(苦手)	2.6	7.8	10.4
仲間がいない	3.1	4.0	7.1
お金がかかる	0.9	1.7	2.6
交通手段がない	0.2	0.8	1.1
指導者がいない	0.1	0.5	0.6
年をとったから	7.3	8.0	15.4
その他	1.8	3.0	4.7

スポーツ活動を行わなかった理由



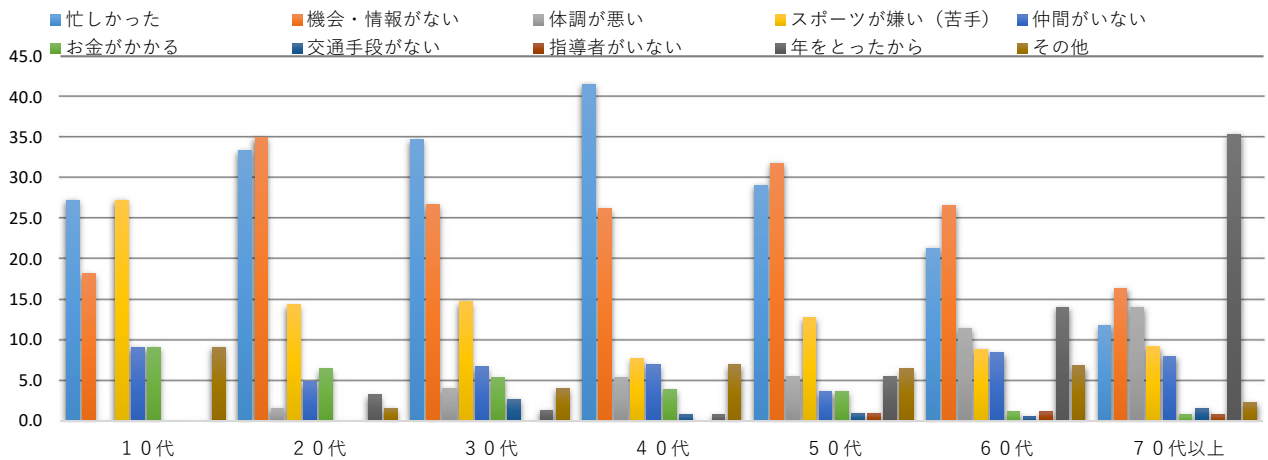
(その他)

コロナ感染による自粛	10	面倒である	8	身体不自由	3
身体障害者	3	時間がない	2	継続できない	2
身体治療中	2	町内施設に不満	1		

(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
忙しかった	27.3	33.3	34.7	41.5	29.1	21.4	11.8
機会・情報がない	18.2	34.9	26.7	26.2	31.8	26.6	16.3
体調が悪い	0.0	1.6	4.0	5.4	5.5	11.5	14.1
スポーツが嫌い(苦手)	27.3	14.3	14.7	7.7	12.7	8.9	9.1
仲間がいない	9.1	4.8	6.7	6.9	3.6	8.3	8.0
お金がかかる	9.1	6.3	5.3	3.8	3.6	1.0	0.8
交通手段がない	0.0	0.0	2.7	0.8	0.9	0.5	1.5
指導者がいない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	1.0	0.8
年をとったから	0.0	3.2	1.3	0.8	5.5	14.1	35.4
その他	9.1	1.6	4.0	6.9	6.4	6.8	2.3

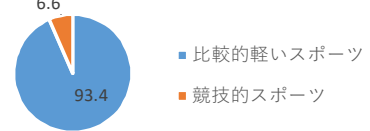
スポーツ活動を行わなかった理由の年代別割合



質問8-⑨ 行わなかったと答えた方…今後行いたいスポーツ活動は

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
比較的軽いスポーツ	40.1	53.3	93.4
競技的スポーツ	4.0	2.6	6.6

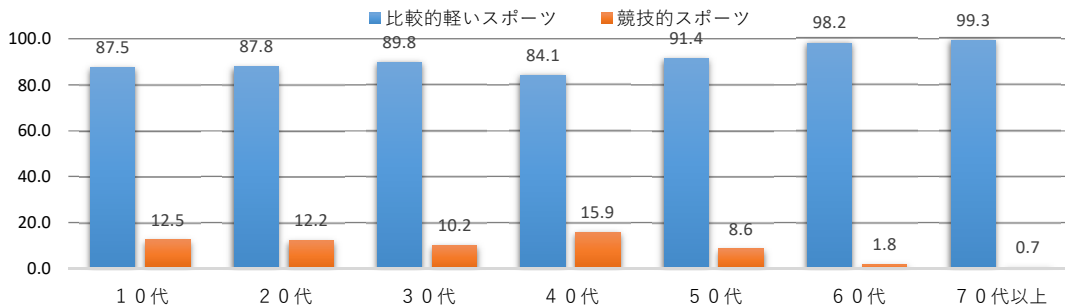
今後行いたいスポーツ活動は



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
比較的軽いスポーツ	87.5	87.8	89.8	84.1	91.4	98.2	99.3
競技的スポーツ	12.5	12.2	10.2	15.9	8.6	1.8	0.7

今後行いたいスポーツ活動の年代別割合



具体的なスポーツ活動の回答

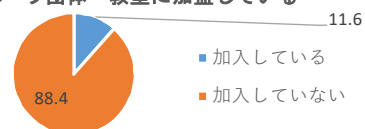
ウォーキング	49	ジョギング	32	バドミントン	32	テニスボール	31
卓球	25	ヨガ	23	バレーボール	18	水泳	17
登山	14	ランニング	12	ゴルフ	11	ストレッチ	10
自転車	9	バスケットボール	9	体操	9	筋肉トレーニング	7
ソフトボール	7	野球	6	健康体操	5	フットサル	5
カローリング	4	ゲートボール	4	サッカー	3	なわとび	3
太極拳	3	クライミング	2	スキー	2	スケートボード	2
ダンス	2	ハンドボール	2	ポーリング	2	ボルダリング	2
網引き	2	その他	21				

3. スポーツ団体の加入やスポーツ教室の利用について

質問9 スポーツ団体やスポーツ教室に加入しているか

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
加入している	5.6	6.0	11.6
加入していない	40.2	48.2	88.4

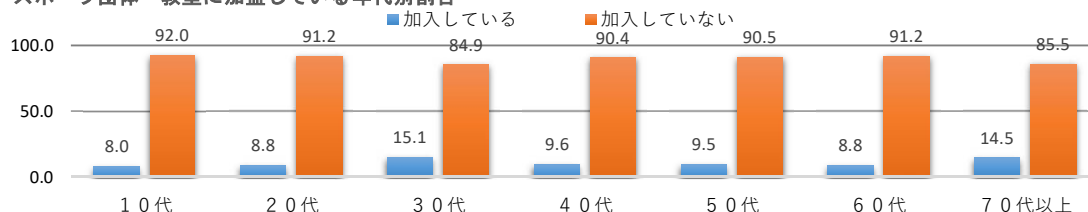
スポーツ団体・教室に加盟している



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
加入している	8.0	8.8	15.1	9.6	9.5	8.8	14.5
加入していない	92.0	91.2	84.9	90.4	90.5	91.2	85.5

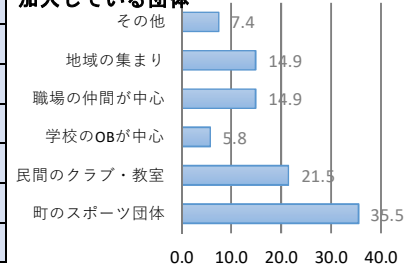
スポーツ団体・教室に加盟している年代別割合



質問9-① 加入していると答えた方…どのような団体や教室か

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
町のスポーツ団体	17.4	18.2	35.5
民間のクラブ・教室	10.7	10.7	21.5
学校のOBが中心の同好会・チーム	5.0	0.8	5.8
職場の仲間が中心の同好会・チーム	9.9	5.0	14.9
地域の集まり	5.8	9.1	14.9
その他	3.3	4.1	7.4

加入している団体



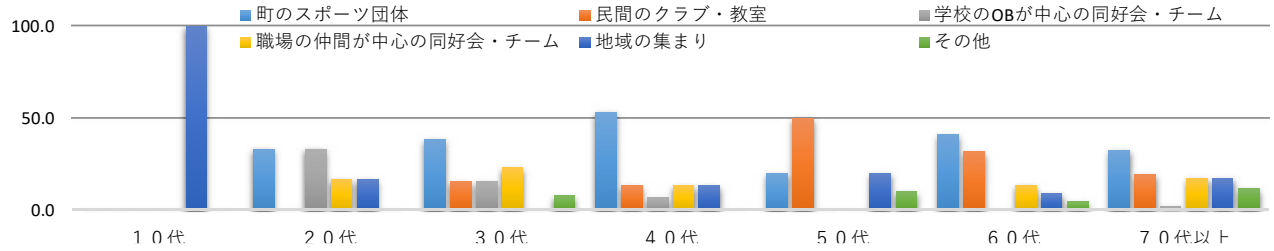
(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
町のスポーツ団体	0.0	33.3	38.5	53.3	20.0	40.9	32.7
民間のクラブ・教室	0.0	0.0	15.4	13.3	50.0	31.8	19.2
学校のOBが中心の同好会・チーム	0.0	33.3	15.4	6.7	0.0	0.0	1.9
職場の仲間が中心の同好会・チーム	0.0	16.7	23.1	13.3	0.0	13.6	17.3
地域の集まり	100.0	16.7	0.0	13.3	20.0	9.1	17.3
その他	0.0	0.0	7.7	0.0	10.0	4.5	11.5

(その他)

町外のチーム団体	5	友人との同好会	4	自治体主催の教室	4
町外の同好会	2	スポーツ少年団	1		

加入しているスポーツ団体・教室についての年代別割合



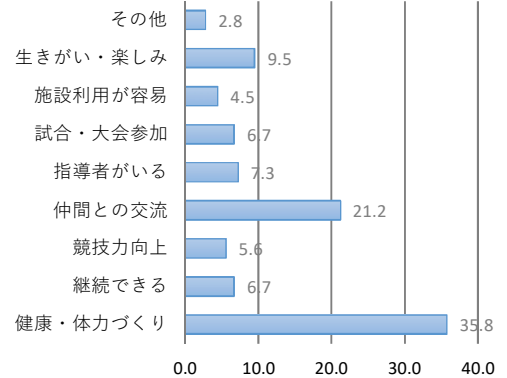
質問9-② 加入していると答えた方…その種目は何か

バレーボール	14	テニスボール	11	筋肉トレーニング	9	カローリング	8	ヨガ	4
健康体操	7	卓球	6	ゴルフ	5	グランドゴルフ	5	野球	3
レスリング	3	体操	3	ストレッチ	3	水泳	3	自転車	3
剣道	3	ゲートボール	3	空手	3	エアロビクス	1	ウォーキング	1
インディアカ	1	アーチェリー	1						

質問9-③ 加入していると答えた方…加入した主な動機

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
健康・体力づくり	15.6	20.1	35.8
継続できる	3.4	3.4	6.7
競技力向上	4.5	1.1	5.6
仲間との交流	11.7	9.5	21.2
指導者がいる	1.7	5.6	7.3
試合・大会参加	5.0	1.7	6.7
施設利用が容易	1.7	2.8	4.5
生きがい・楽しみ	3.4	6.1	9.5
その他	1.7	1.1	2.8

加入した動機



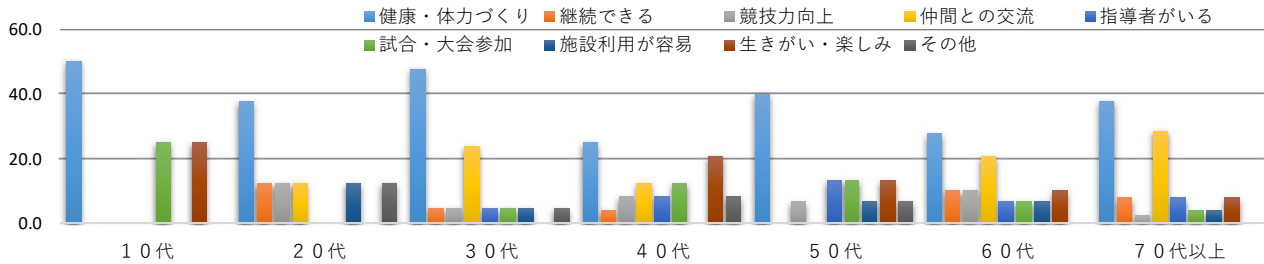
(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
健康・体力づくり	50.0	37.5	47.6	25.0	40.0	27.6	37.7
継続できる	0.0	12.5	4.8	4.2	0.0	10.3	7.8
競技力向上	0.0	12.5	4.8	8.3	6.7	10.3	2.6
仲間との交流	0.0	12.5	23.8	12.5	0.0	20.7	28.6
指導者がいる	0.0	0.0	4.8	8.3	13.3	6.9	7.8
試合・大会参加	25.0	0.0	4.8	12.5	13.3	6.9	3.9
施設利用が容易	0.0	12.5	4.8	0.0	6.7	6.9	3.9
生きがい・楽しみ	25.0	0.0	0.0	20.8	13.3	10.3	7.8
その他	0.0	12.5	4.8	8.3	6.7	0.0	0.0

(その他)

子どもがしているから	2	知人との付き合いで加入した	1	特に理由はない	1
自分自身が指導者だから	1				

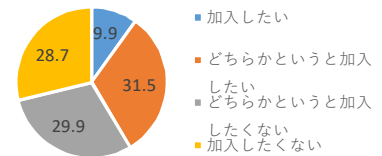
加入した主な動機についての年代別割合



質問9-④ 加入していないと答えた方…スポーツ団体・教室に加入したいか

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
加入したい	3.7	6.2	9.9
どちらかという加入したい	13.6	17.8	31.5
どちらかという加入したくない	14.3	15.6	29.9
加入したくない	14.4	14.4	28.7

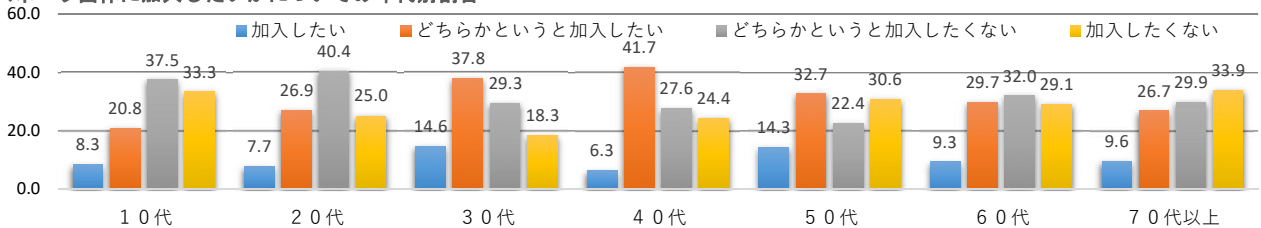
スポーツ団体に加入したいか



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
加入したい	8.3	7.7	14.6	6.3	14.3	9.3	9.6
どちらかという加入したい	20.8	26.9	37.8	41.7	32.7	29.7	26.7
どちらかという加入したくない	37.5	40.4	29.3	27.6	22.4	32.0	29.9
加入したくない	33.3	25.0	18.3	24.4	30.6	29.1	33.9

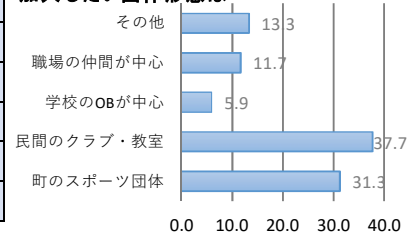
スポーツ団体に加入したいかについての年代別割合



質問9-⑤ 加入していないと答えた方…加入したい団体形態は

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
町のスポーツ団体	14.4	16.9	31.3
民間のクラブ・教室	12.5	25.2	37.7
学校のOBが中心の同好会・チーム	3.9	2.1	5.9
職場の仲間が中心の同好会・チーム	6.9	4.8	11.7
その他	6.4	6.9	13.3

加入したい団体形態は



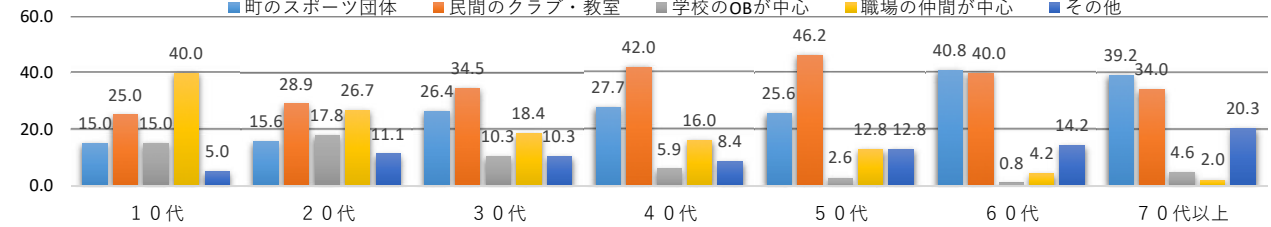
(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
町のスポーツ団体	15.0	15.6	26.4	27.7	25.6	40.8	39.2
民間のクラブ・教室	25.0	28.9	34.5	42.0	46.2	40.0	34.0
学校のOBが中心の同好会・チーム	15.0	17.8	10.3	5.9	2.6	0.8	4.6
職場の仲間が中心の同好会・チーム	40.0	26.7	18.4	16.0	12.8	4.2	2.0
その他	5.0	11.1	10.3	8.4	12.8	14.2	20.3

(その他)

特になし	14	1人で楽しめる集団が少ない団体	11	町主催スポーツ教室	5
その他	5	友人が在籍している団体	4	分からない	2
障害・身体不自由でも楽しめる	2				

加入したい団体形態はについての年代別割合

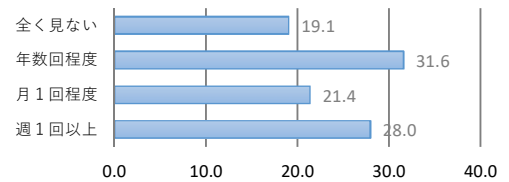


4. スポーツ観戦について

質問10 スポーツの試合をどのくらい観戦したか

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
週1回以上	18.1	9.9	28.0
月1回程度	11.5	9.9	21.4
年数回程度	10.6	21.0	31.6
全く見ない	5.8	13.2	19.1

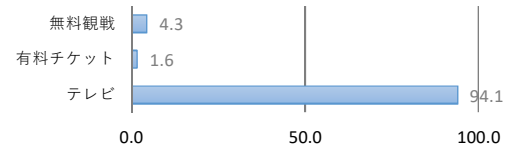
スポーツ観戦の頻度



質問10-① スポーツの試合の観戦概要は

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
テレビ	47.1	47.1	94.1
有料チケット	0.8	0.8	1.6
無料観戦	2.1	2.2	4.3

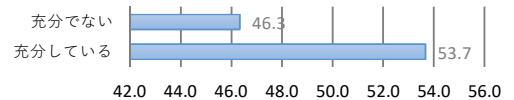
スポーツ観戦の概要



質問10-② スポーツの試合の観戦は充分か

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
充分している	28.5	25.2	53.7
充分でない	20.9	25.5	46.3

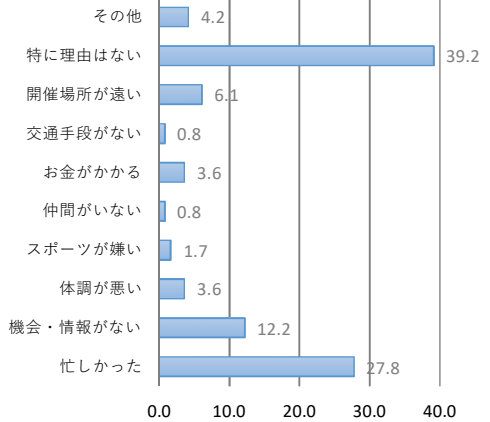
スポーツ観戦は充分か



(充分でない方の理由)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
忙しかった	13.6	14.2	27.8
機会・情報がない	6.7	5.6	12.2
体調が悪い	1.9	1.7	3.6
スポーツが嫌い	0.3	1.4	1.7
仲間がいない	0.6	0.3	0.8
お金がかかる	1.9	1.7	3.6
交通手段がない	0.6	0.3	0.8
開催場所が遠い	3.3	2.8	6.1
特に理由はない	15.8	23.3	39.2
その他	2.2	1.9	4.2

スポーツ観戦が充分でない理由



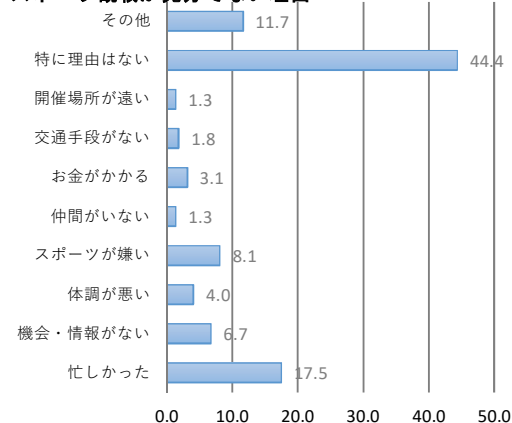
(その他)

コロナ感染による自粛	8	子育てで時間がない	1	集中して観戦できない	1
------------	---	-----------	---	------------	---

質問10-③ スポーツの試合の観戦をしなかった理由は

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
忙しかった	9.4	8.1	17.5
機会・情報がない	0.9	5.8	6.7
体調が悪い	2.2	1.8	4.0
スポーツが嫌い	0.4	7.6	8.1
仲間がいない	0.0	1.3	1.3
お金がかかる	1.3	1.8	3.1
交通手段がない	0.9	0.9	1.8
開催場所が遠い	0.4	0.9	1.3
特に理由はない	13.9	30.5	44.4
その他	4.0	7.6	11.7

スポーツ観戦が充分でない理由



(その他)

興味がない	15	高齢だから	2	競技ルールが難しい	2
コロナ感染による自粛	1	テレビ観戦は楽しくない	1	実際にスポーツをしたい	1
聴力障害者であるため	1				

質問11 県内のスポーツチームを知っているか

(香川オリーブガイナースー野球)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
知っている	42.1	44.9	87.0
知らない	3.9	9.1	13.0

(カマタマーレ讃岐ーサッカー)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
知っている	42.9	48.3	91.2
知らない	3.1	5.7	8.8

(香川ファイブアローズーバスケットボール)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
知っている	37.4	37.5	74.9
知らない	8.7	16.4	25.1

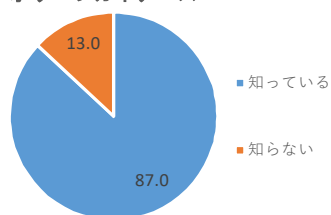
(香川アイスフェローズーアイスホッケー)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
知っている	12.8	11.0	23.8
知らない	33.2	43.0	76.2

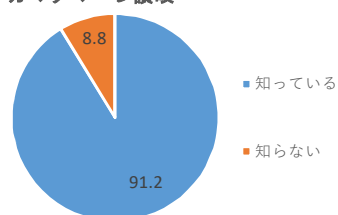
(UDN香川FCー女子サッカー)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
知っている	15.9	16.1	32.0
知らない	30.0	37.9	68.0

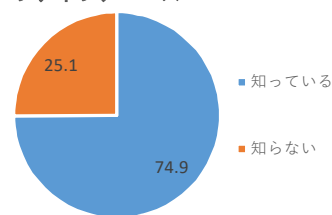
オリーブガイナース



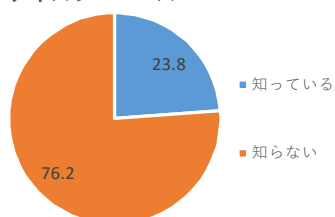
カマタマーレ讃岐



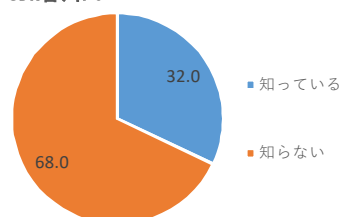
ファイブアローズ



アイスフェローズ



UDN香川FC



質問12 1回でも観戦したことがあるか

(香川オリブガイナースー野球)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
した	8.5	3.4	11.9
したことがない	37.3	50.8	88.1

(香川ファイアローズーバスケットボール)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
した	3.0	3.4	6.4
したことがない	42.8	50.8	93.6

(UDN香川IFCー女子サッカー)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
した	0.8	0.3	1.1
したことがない	44.8	54.1	98.9

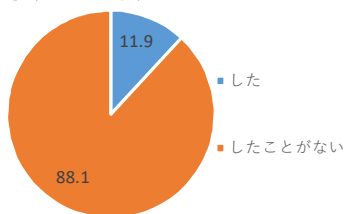
(カマタマーレ讃岐ーサッカー)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
した	5.4	4.4	9.8
したことがない	40.5	49.7	90.2

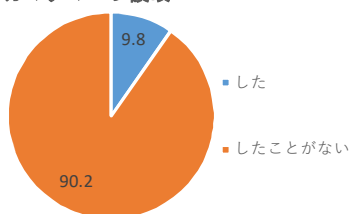
(香川アイスフェローズーアイスホッケー)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
した	0.4	0.7	1.1
したことがない	45.3	50.8	98.9

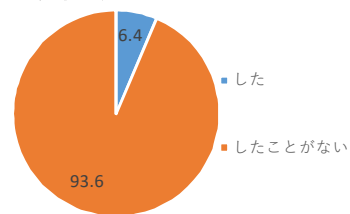
オリブガイナース



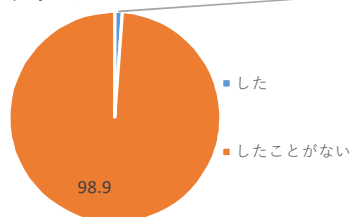
カマタマーレ讃岐



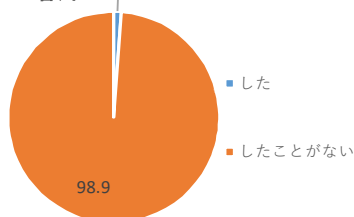
ファイアローズ



アイスフェローズ



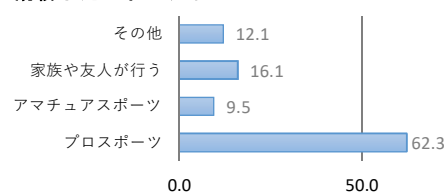
UDN香川IFC



質問13 1年間で観戦したスポーツは

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
プロスポーツ	33.0	29.3	62.3
アマチュアスポーツ	5.8	3.7	9.5
家族や友人が行うスポーツ	6.3	9.7	16.1
その他	4.8	7.3	12.1

観戦したスポーツは



(その他)

バレーボール	2	相撲	1	野球	1	自転車	1
ラグビー	1	長距離走	1	テニス	1	フィギアスケート	1
サッカー	1	ゴルフ	1	アイススケート	1		

5. スポーツに関するボランティア活動について

質問14 1年間でスポーツに関するボランティア活動を行ったか

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
行った	2.7	1.8	4.5
行わなかった	43.3	52.2	95.5

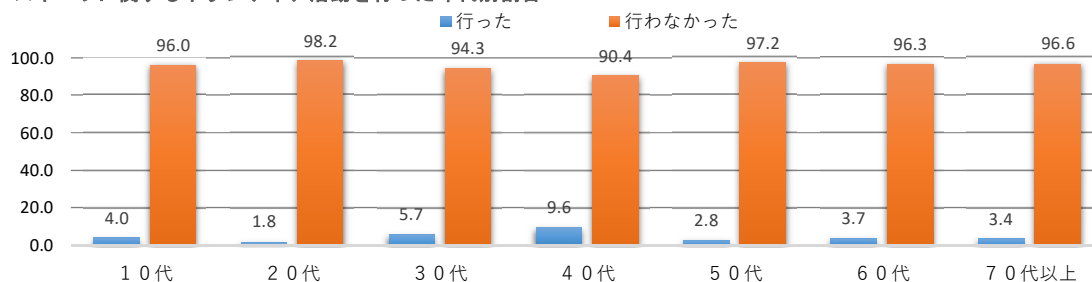
ボランティア活動を行ったか



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
行った	4.0	1.8	5.7	9.6	2.8	3.7	3.4
行わなかった	96.0	98.2	94.3	90.4	97.2	96.3	96.6

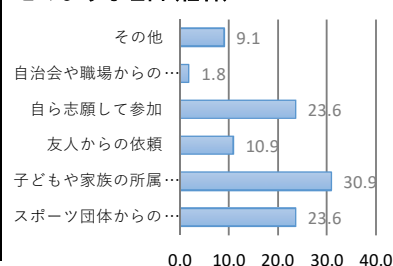
スポーツに関するボランティア活動を行った年代別割合



質問14-① どのような理由(経緯)で参加したか

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
スポーツ団体からの依頼	16.4	7.3	23.6
子どもや家族の所属している団体からの依頼	12.7	18.2	30.9
友人からの依頼	5.5	5.5	10.9
自ら志願して参加	12.7	10.9	23.6
自治会や職場からの依頼	1.8	0.0	1.8
その他	3.6	5.5	9.1

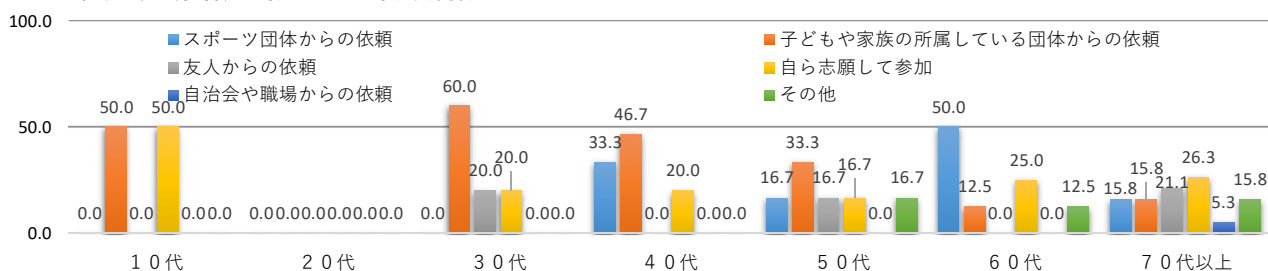
どのような理由(経緯)



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
スポーツ団体からの依頼	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	50.0	15.8
子どもや家族の所属している団体からの依頼	50.0	0.0	60.0	46.7	33.3	12.5	15.8
友人からの依頼	0.0	0.0	20.0	0.0	16.7	0.0	21.1
自ら志願して参加	50.0	0.0	20.0	20.0	16.7	25.0	26.3
自治会や職場からの依頼	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	12.5	15.8

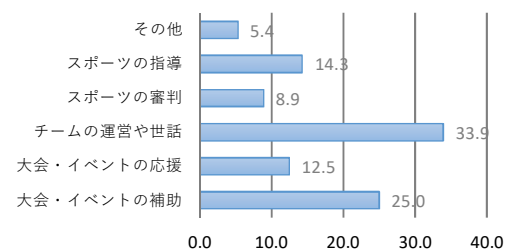
どのような理由(経緯)で行ったかの年代別割合



質問14-② どのようなボランティア活動を行ったか

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
大会・イベントの補助	16.1	8.9	25.0
大会・イベントの応援	3.6	8.9	12.5
チームの運営や世話	14.3	19.6	33.9
スポーツの審判	8.9	0.0	8.9
スポーツの指導	8.9	5.4	14.3
その他	1.8	3.6	5.4

どのようなボランティア活動を行った



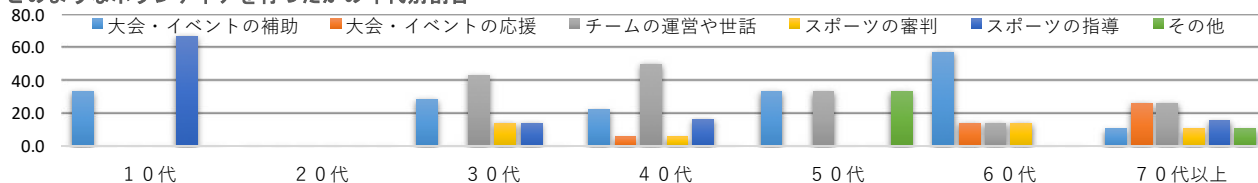
(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
大会・イベントの補助	33.3	0.0	28.6	22.2	33.3	57.1	10.5
大会・イベントの応援	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	14.3	26.3
チームの運営や世話	0.0	0.0	42.9	50.0	33.3	14.3	26.3
スポーツの審判	0.0	0.0	14.3	5.6	0.0	14.3	10.5
スポーツの指導	66.7	0.0	14.3	16.7	0.0	0.0	15.8
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	10.5

(その他)

聖火リレー	1
-------	---

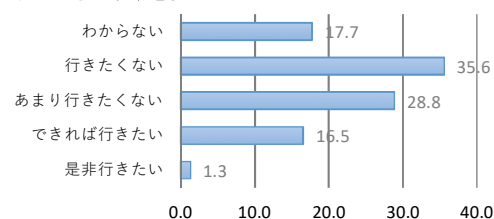
どのようなボランティア活動を行ったかの年代別割合



質問15 今後スポーツに関するボランティア活動を行いたいのか

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
是非行きたい	0.4	1.0	1.3
できれば行きたい	9.3	7.2	16.5
あまり行きたくない	13.8	15.1	28.8
行きたくない	15.2	20.4	35.6
わからない	7.8	9.9	17.7

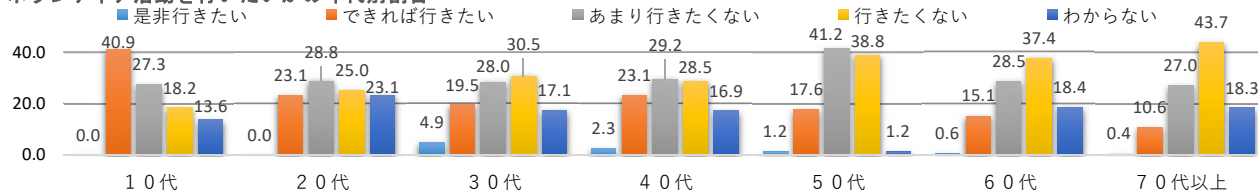
ボランティア活動を行いたいのか



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
是非行きたい	0.0	0.0	4.9	2.3	1.2	0.6	0.4
できれば行きたい	40.9	23.1	19.5	23.1	17.6	15.1	10.6
あまり行きたくない	27.3	28.8	28.0	29.2	41.2	28.5	27.0
行きたくない	18.2	25.0	30.5	28.5	38.8	37.4	43.7
わからない	13.6	23.1	17.1	16.9	1.2	18.4	18.3

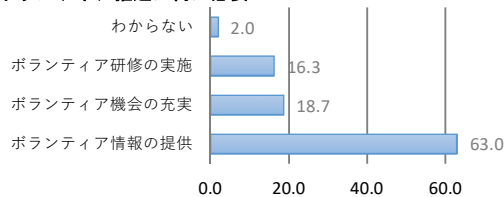
ボランティア活動を行いたいのかの年代別割合



質問16 今後スポーツに関するボランティア推進に何が必要か

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
ボランティア情報の提供	27.8	35.2	63.0
ボランティア機会の充実	10.1	8.6	18.7
ボランティア研修の実施	7.5	8.8	16.3
わからない	1.1	0.9	2.0

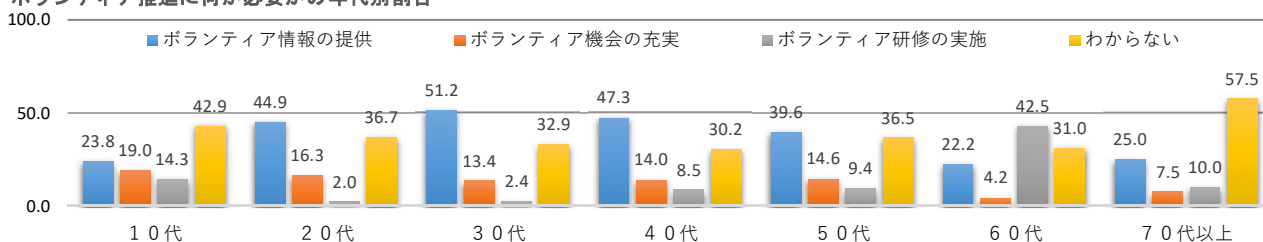
ボランティア推進に何が必要



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
ボランティア情報の提供	23.8	44.9	51.2	47.3	39.6	22.2	25.0
ボランティア機会の充実	19.0	16.3	13.4	14.0	14.6	4.2	7.5
ボランティア研修の実施	14.3	2.0	2.4	8.5	9.4	42.5	10.0
わからない	42.9	36.7	32.9	30.2	36.5	31.0	57.5

ボランティア推進に何が必要かの年代別割合



6. スポーツ行事について

質問17 町のスポーツ行事・教室を知っているか

(梅の里ジョギング大会)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
知っている	13.3	18.8	32.0
知らない	32.7	35.3	68.0

(梅の里アジャタ大会)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
知っている	6.0	8.8	14.8
知らない	40.0	45.2	85.2

(町民綱引き大会)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
知っている	24.9	33.9	58.9
知らない	21.1	20.0	41.1

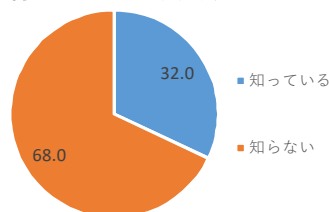
(町民ソフトボール大会)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
知っている	17.8	20.8	38.6
知らない	28.2	33.2	61.4

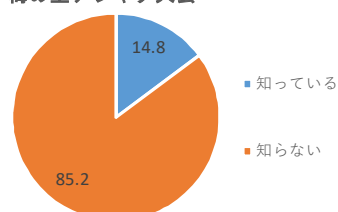
(幼児体操教室)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
知っている	7.0	16.8	23.8
知らない	39.0	37.2	76.2

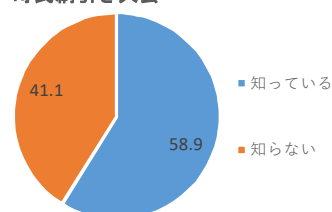
梅の里ジョギング大会



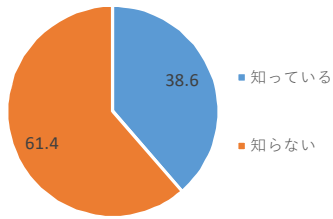
梅の里アジャタ大会



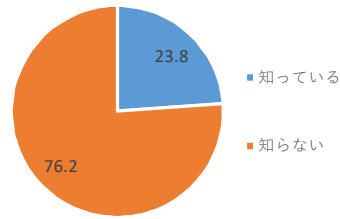
町民綱引き大会



町民ソフトボール大会



幼児体操教室



質問18 町のスポーツ行事・教室に参加したことがあるか

(梅の里ジョギング大会)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
参加した	1.9	2.2	4.1
参加したことがない	44.0	52.0	95.9

(梅の里アジャタ大会)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
参加した	1.2	2.3	3.5
参加したことがない	44.8	51.7	96.5

(町民綱引き大会)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
参加した	8.3	8.1	16.4
参加したことがない	37.8	45.8	83.6

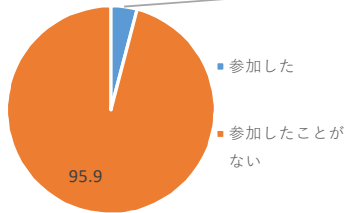
(町民ソフトボール大会)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
参加した	6.3	2.2	8.4
参加したことがない	39.7	51.9	91.6

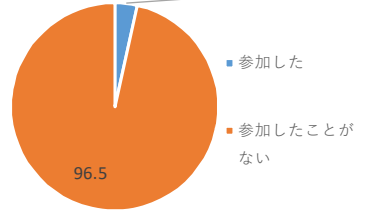
(幼児体操教室)

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
参加した	1.1	4.3	5.4
参加したことがない	45.0	49.6	94.6

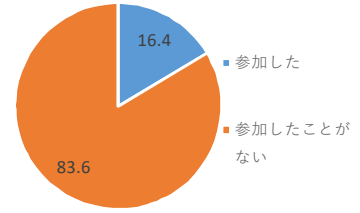
梅の里ジョギング大会



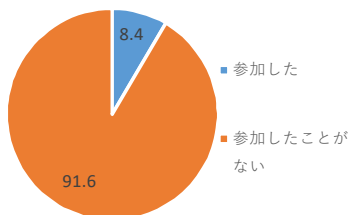
梅の里アジャタ大会



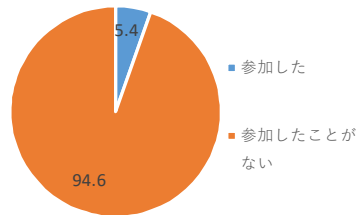
町民綱引き大会



町民ソフトボール大会



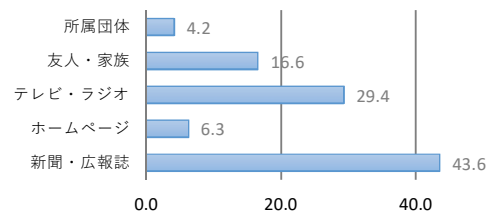
幼児体操教室



質問19 主なスポーツ行事の情報の入手はどこから

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
新聞・広報誌	19.6	24.0	43.6
ホームページ	3.4	3.0	6.3
テレビ・ラジオ	14.6	14.8	29.4
友人・家族	6.2	10.4	16.6
所属団体	2.6	1.5	4.2

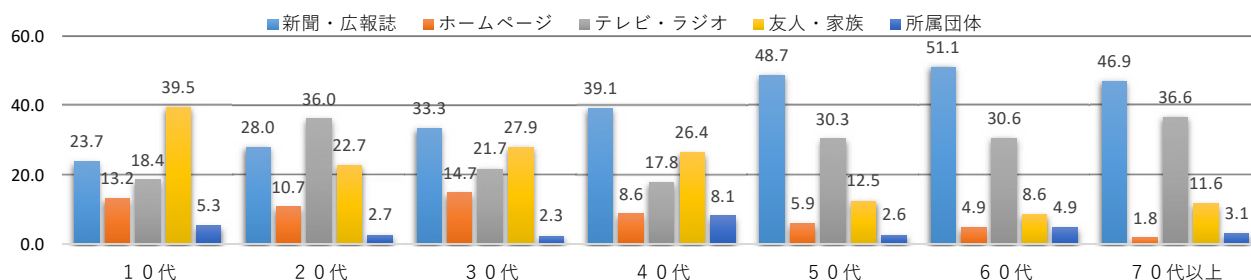
主なスポーツ行事の情報入手方法



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
新聞・広報誌	23.7	28.0	33.3	39.1	48.7	51.1	46.9
ホームページ	13.2	10.7	14.7	8.6	5.9	4.9	1.8
テレビ・ラジオ	18.4	36.0	21.7	17.8	30.3	30.6	36.6
友人・家族	39.5	22.7	27.9	26.4	12.5	8.6	11.6
所属団体	5.3	2.7	2.3	8.1	2.6	4.9	3.1

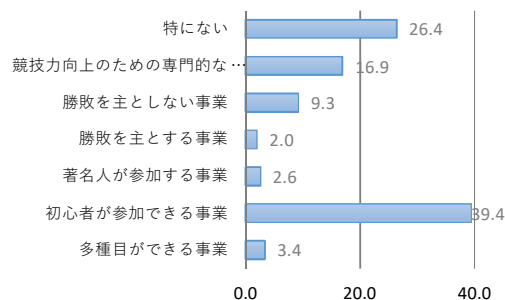
主なスポーツ行事の情報入手方法の年代別割合



質問20 今後、参加したい(参加してもいい)と思う事業は

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
多種目ができる事業	1.4	2.0	3.4
初心者が参加できる事業	16.4	23.0	39.4
著名人が参加する事業	1.6	1.1	2.6
勝敗を主とする事業	1.5	0.5	2.0
勝敗を主としない事業	4.0	5.3	9.3
競技力向上のための専門的な事業	7.6	9.4	16.9
特にない	12.8	13.6	26.4

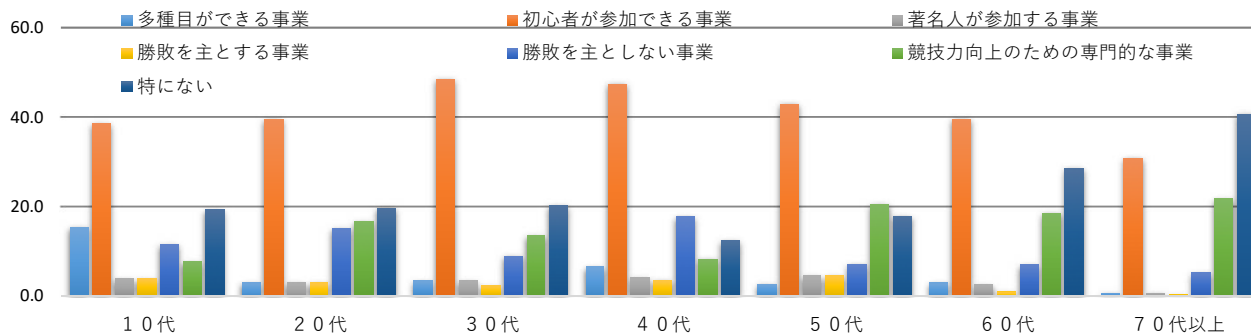
今後、参加してもいいと思う事業



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
多種目ができる事業	15.4	3.0	3.4	6.5	2.7	3.0	0.7
初心者が参加できる事業	38.5	39.4	48.3	47.3	42.9	39.5	30.8
著名人が参加する事業	3.8	3.0	3.4	4.1	4.5	2.5	0.7
勝敗を主とする事業	3.8	3.0	2.2	3.6	4.5	1.0	0.3
勝敗を主としない事業	11.5	15.2	9.0	17.8	7.1	7.0	5.2
競技力向上のための専門的な事業	7.7	16.7	13.5	8.3	20.5	18.5	21.7
特にない	19.2	19.7	20.2	12.4	17.9	28.5	40.6

今後、参加してもいいと思う事業の年代別割合

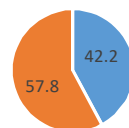


7. スポーツ施設について

質問2-1 今まで町内のスポーツ施設を利用したことは

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
利用した	20.2	22.0	42.2
利用したことがない	26.0	31.8	57.8

町内施設の利用経験は

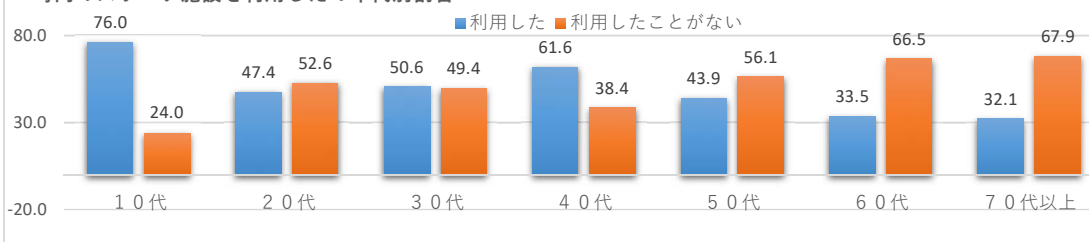


■ 利用した
■ 利用したことがない

(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
利用した	76.0	47.4	50.6	61.6	43.9	33.5	32.1
利用したことがない	24.0	52.6	49.4	38.4	56.1	66.5	67.9

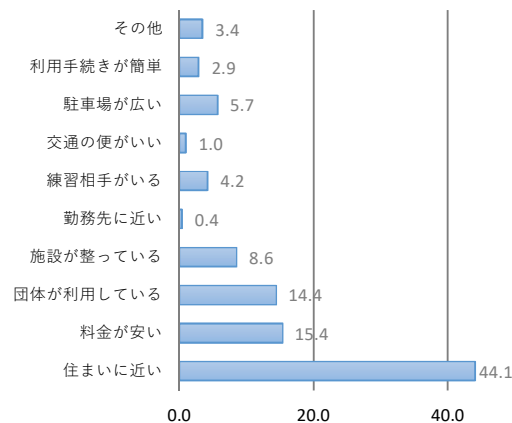
町内のスポーツ施設を利用したの年代別割合



質問2-1-① 利用した理由は

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
住まいに近い	22.1	22.1	44.1
料金が安い	6.1	9.3	15.4
団体が利用している	5.7	8.7	14.4
施設が整っている	4.9	3.6	8.6
勤務先に近い	0.2	0.2	0.4
練習相手がいる	1.3	2.9	4.2
交通の便がいい	0.4	0.6	1.0
駐車場が広い	2.7	3.0	5.7
利用手続きが簡単	1.1	1.7	2.9
その他	1.7	1.7	3.4

利用した理由は

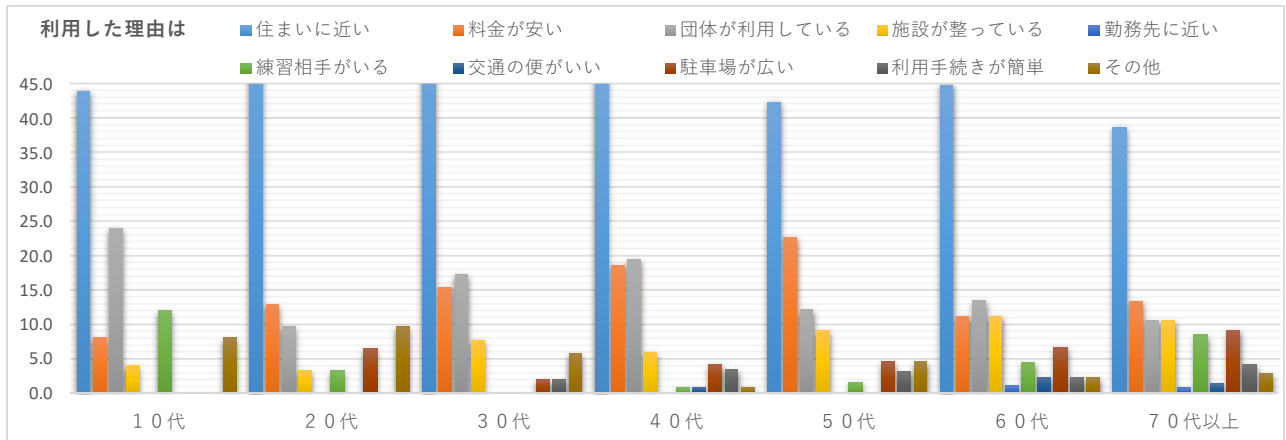


(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
住まいに近い	44.0	54.8	50.0	45.8	42.4	44.9	38.7
料金が安い	8.0	12.9	15.4	18.6	22.7	11.2	13.4
団体が利用している	24.0	9.7	17.3	19.5	12.1	13.5	10.6
施設が整っている	4.0	3.2	7.7	5.9	9.1	11.2	10.6
勤務先に近い	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.7
練習相手がいる	12.0	3.2	0.0	0.8	1.5	4.5	8.5
交通の便がいい	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	2.2	1.4
駐車場が広い	0.0	6.5	1.9	4.2	4.5	6.7	9.2
利用手続きが簡単	0.0	0.0	1.9	3.4	3.0	2.2	4.2
その他	8.0	9.7	5.8	0.8	4.5	2.2	2.8

(その他)

スポーツ団体に所属している	6	遊ぶため	1	ウォーキングをするため	1
子どもの学校行事のため	1	コロナワクチン接種のため	1	職場イベント	1
スポーツ団体・友人に誘われた	1	無料	1		



質問22 学校開放事業について知っていますか

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
知っている	17.1	19.7	36.7
知らない	29.0	34.2	63.3

学校開放事業を知っていますか



(年代別)

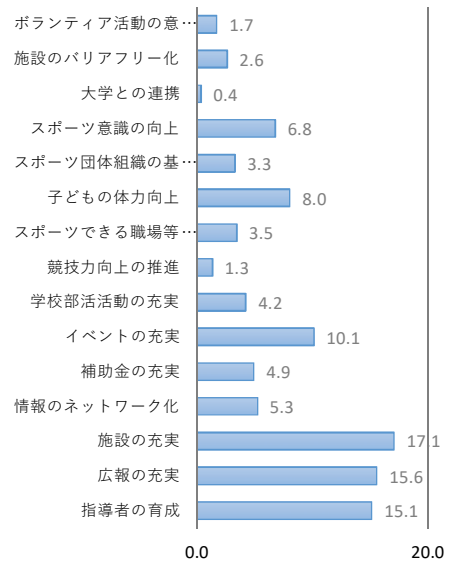
項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
知っている	56.0	42.1	42.5	44.9	41.7	37.1	27.2
知らない	44.0	57.9	57.5	55.1	58.3	62.9	72.8

8. スポーツ活動の振興について

質問23 今後、スポーツ活動の振興に必要なことは

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
指導者の育成	7.0	8.1	15.1
広報の充実	7.8	7.8	15.6
施設の充実	8.5	8.5	17.1
情報のネットワーク化	2.6	2.6	5.3
補助金の充実	2.9	2.0	4.9
イベントの充実	4.1	6.0	10.1
学校部活活動の充実	1.9	2.3	4.2
競技力向上の推進	0.8	0.6	1.3
スポーツできる職場等環境整備	1.6	1.8	3.5
子どもの体力向上	2.9	5.1	8.0
スポーツ団体組織の基盤強化	2.2	1.1	3.3
スポーツ意識の向上	3.5	3.3	6.8
大学との連携	0.2	0.2	0.4
施設のバリアフリー化	0.9	1.7	2.6
ボランティア活動の意識・研修推進	0.7	1.0	1.7

スポーツ活動の振興に必要なこと



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
指導者の育成	9.8	9.7	10.5	11.9	13.6	18.7	18.5
広報の充実	9.8	14.9	14.4	15.5	17.1	17.3	14.7
施設の充実	14.8	18.7	17.2	17.0	18.0	17.1	16.5
情報のネットワーク化	8.2	9.7	7.7	6.1	5.3	4.2	3.3
補助金の充実	0.0	3.7	5.7	4.3	6.6	5.3	4.9
イベントの充実	11.5	13.4	13.4	14.0	9.2	9.5	6.3
学校部活活動の充実	14.8	3.0	3.3	4.6	4.4	2.5	4.7
競技力向上の推進	3.3	3.0	1.4	0.9	0.9	1.4	1.1
スポーツできる職場等環境整備	1.6	5.2	5.3	4.9	3.5	2.1	2.7
子どもの体力向上	11.5	4.5	10.5	6.7	7.9	6.0	10.0
スポーツ団体組織の基盤強化	6.6	2.2	2.4	4.0	3.1	3.2	3.3
スポーツ意識の向上	4.9	7.5	4.8	6.7	6.6	7.2	7.4
大学との連携	0.0	1.5	0.0	0.6	0.0	0.5	0.2
施設のバリアフリー化	0.0	2.2	3.3	1.8	2.6	3.2	3.8
ボランティア活動の意識・研修推進	3.3	0.7	0.0	1.2	1.3	1.8	2.7

(記述意見)

高齢者のスポーツへの参加	2	市民のスポーツへの関心	1
滝宮天満宮土俵の有効活用	1	スポーツ団体にある上下関係を解消する	1
スポーツ施設・団体の感染症対策徹底	1	オンライン・DVDによるスポーツ活動	1
スポーツ教室	1	スポーツ執行団体と小中学校の連携	1
職場でのスポーツ活動	1	コロナ感染症の終息	1
スポーツ団体の世話当番を解消する	1	特になし	1
分からない	10		

質問24 町に期待するスポーツ活動の振興施策は

(イベント)

気軽に参加できる	27	子どもから高齢者まで楽しめる	23
有名スポーツ選手・チームを呼ぶ	18	特定のスポーツを行う	13
特になし	13	ウォーキングイベント	13
家族で楽しめる	10	様々なスポーツ種目を体験できる	10
スポーツ教室	10	健康体操・健康増進する	8
中高年が楽しめる	7	特定のスポーツの大会	6
子どもの運動教室	6	町内スポーツ組織活動の紹介・PR	3
キャンプ・登山	3	オリンピック・国体の大きなスポーツ大会	2
お祭りのようなイベント	2	大型商業施設内でイベント	2
他市町・他チームとの交流	1	ギネス記録を狙うイベント	1
スポーツジム体験	1	体が不自由でも参加できる	1
賞金・賞品がある	1		

(施設)

トレーニングジム	53	プール	19
空調設備がある	18	遊具がある・緑豊かな公園	15
屋内・天候に左右されない施設	15	既存施設の使用・増設・改修	12
気軽に利用しやすい	9	無料・安価で使用できる	7
総合スポーツ施設	7	大きな体育館	6
その他	6	子どもから高齢者まで利用できる	6
ウォーキングしやすい場所・施設	5	利用申請・利用予約が簡単な施設	5
ゴルフ練習場	3	体が不自由でも利用できる	3
サウナ・浴室がある	3	テニスコート	3
商業施設内にスポーツ施設	3	特になし	3
開館時間が長く年中無休	3	管理が行き届いた施設	2
大きなスタジアム	2	ゲーム感覚で楽しめる施設	2
鏡があるダンススタジオ	2	ボルダリングジム	2

(取組)

SNS・広報誌を活用したスポーツ広報周知を行う	9	幅広い年代が楽しめるスポーツプログラム	7
スポーツに気軽に触れることができるようにする	6	スポーツ施設での町民割引・無料化	6
プロスポーツ選手による指導	5	団体の加入者増の取り組みをして欲しい	5
登山道の整備	3	スポーツ指導者の誘致・育成	4
町民自ら参加希望募れるツールを作成する	3	スポーツ用具・備品の無料貸出	3
分からない	2	高齢者でも安全で楽しめる	3
町内歩道を拡張する	2	季節を楽しめるスポーツプログラム	2
スポーツ経験のある高齢者を活用する	2	他市町・他チームとの交流	2
徒歩や自転車の利用促進	1	防災無線によるラジオ体操放送継続	1
利用申請・利用予約の簡易化	1	体育協会への加入費を引き下げる	1
町内体育施設へ向かう送迎バスの充実	1	スポーツできる場所・機会の提供	1
町内施設・スポーツ施策への意見窓口を設置	1	スポーツジムの誘致	1
スポーツイベントの開催時間を早朝夜間も行う	1	スポーツが盛んな街づくりを進める	1
新規転入者と触れ合えるスポーツ活動を考える	1	自治会・子供会を活用する	1
小中学校部活動に力を入れる	1	財政圧迫しない継続運営可能な取り組み	1
小中学校部活動を地域活動へ移行する	1	コロナ終息をはかる	1
健康促進できる食事内容を周知する	1	健康ポイント制度を導入する	1
継続的なスポーツプログラム	1	官民連携した取組	1
既存施設を活用する	1	体が不自由・持病有者でもできるスポーツの普及	1
家でもできるスポーツプログラム	1	オンラインスポーツ教室	1
UDNとのサッカー教室、試合観戦	1	ウォーキングプログラムを作成する	1
町内スポーツイベントの周知を郵便で行う	1	スポーツ活動・イベントへの参加者へポイント付与を行う	1

(補助金)

備品・用具購入補助	11	町内スポーツ組織・団体への活動補助	9
公的・商業スポーツ施設へ利用料への補助	8	大会参加費・チーム会費への補助	4
特になし	2	UDNサッカー選手への補助	1
スポーツ活動をするを条件とした遠征費補助	1	スポーツ活動保険への補助	1

(その他)

老齢の為意欲が乏しくなっているので、申しわけのないアンケート結果になりました	
幼児体操教室を開催して頂きとてもありがたい	幼児体操教室は良い
友人等と楽しく運動できれば良いと思います	心の健康にも力を入れてほしい
町でどのようなスポーツがあるのかは知らない方がほとんどでは？	
町が力をいれようとしているのは、健康増進のスポーツ？それともスポーツの技術向上？選手育成のスポーツですか？	
昼のラジオ体操をタイミングが合えば行っている	13時からのラジオ体操は有難いです
中心部の施設だけでなく身近なところでスポーツが盛んになるようにしてほしい	
中学校の部活以外のスポーツも認めてほしい	自分の体力は自分で維持すべきである
足腰が弱くなり、湿布しながらでもできるスポーツがあるのでしょうか？	
安全だと思える環境や対策が最も重要	自分のやりたいスポーツが町内には充実していない
情報発信を積極的に行うべき	自分から調べなくとも、広告等で告知があれば
自分の年齢に合ったスポーツを広報を通じて参加させて頂きたい	
上下関係のない、他人に無理強いされない場所があれば参加を考えます	
小学校の校庭をこどもの遊びのために使わせてほしい	子どもたちのスポーツ奨励
施設は町民のために開放して欲しい	財源は税金であるため、新規施設増設は慎重にとのこと。
施設新設増設は多くの資金が必要であるためそれがネック	施設の利用料が他の市町より高い
在宅介護しているので参加する時間がない	自分に歩ける体力がないと何もできない
高齢者には回答しにくいと思った	高齢の為体が不自由で参加が難しい
指導者育成、保護者が指導するのではダメ	子供、大人、誰でも気軽にできるように
子どもから大人まで幅広く巻き込んだ年齢層毎の振興策が良い・県内プロチームのホームゲーム場所が遠い	
運動が気軽にできる場所の提供を充実してほしい	引っ越したばかりなのであまりわからない
仕事を辞めて時間ができると体を動かしたい	県内のスポーツチームと子供が触れ合う機会が欲しい
興味はあるが一人では参加しにくい、友人がいないと入りにくい・近隣の地域にも広めていく	
競技ではなく、技術を必要としない、体を動かすこと	プロスポーツのスポンサーには反対
介護を受けないで、健康で人間らしい生活ができる様サポートしてほしい	
高松市の小・中学校より施設は素晴らしいです	スポーツ推進委員の後任補充や研修
UDNを利用しもっとPRしたり、交流したらいい	コロナ禍で運動不足に、体力維持に気をつけたい
綾川町民としてこのアンケートを機会にわが町のスポーツ振興施策、ボランティア活動等により関心を持ち、自分自身と地域の人々の心と体の健康の為に体が動ける範囲内で何等かのスポーツに関わって行きたい。	
スポーツを特別視せず、お金の使い道を考えて	町の財政でどの程度本施策に抛出可能か不明
ふる里ウォークを再開して、あの時間は心身、五感刺激最良時間	
ソフトボール、バレー参加できる幅を広げたらいいのではないかと、綾坂地区など	

9. 障害者のスポーツ活動について

質問25 障害者スポーツ活動に関わったことは

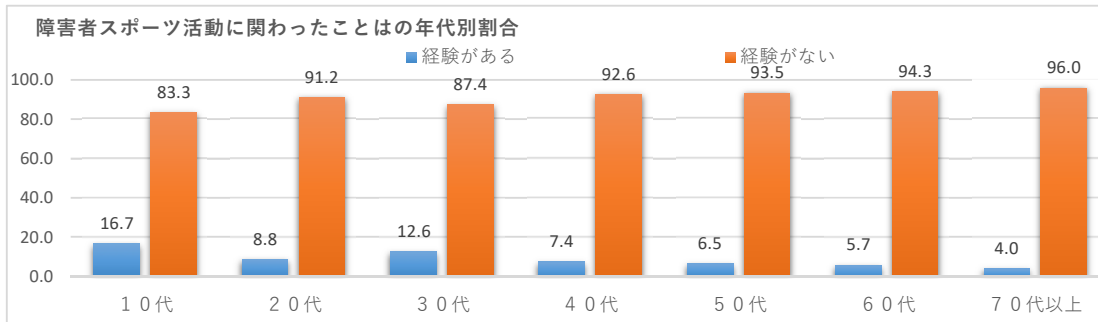
項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
経験がある	3.7	3.0	6.7
経験がない	42.7	50.7	93.3

(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
経験がある	16.7	8.8	12.6	7.4	6.5	5.7	4.0
経験がない	83.3	91.2	87.4	92.6	93.5	94.3	96.0

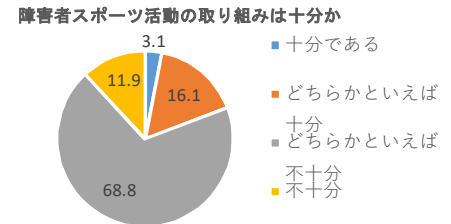
障害者スポーツ活動に関わったことは 6.7





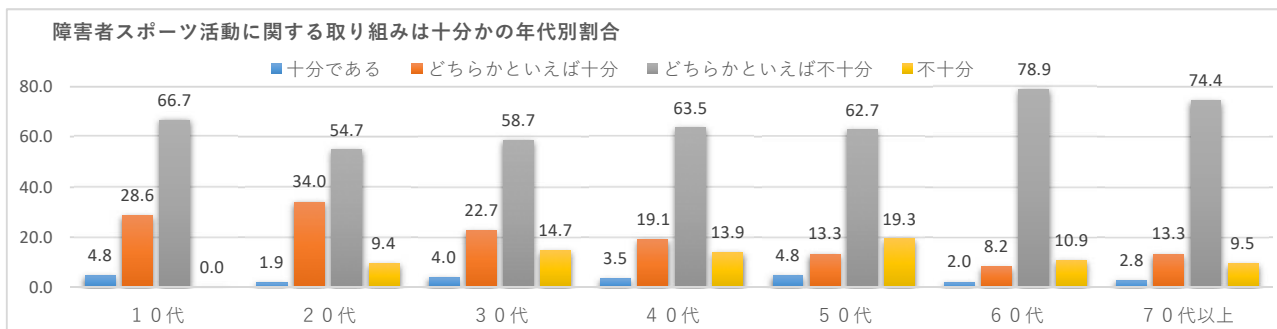
質問26 障害者スポーツ活動に関する取り組みは十分か

項目	男性 (%)	女性 (%)	合計 (%)
十分である	1.8	1.3	3.1
どちらかといえば十分	9.1	7.1	16.1
どちらかといえば不十分	31.2	37.7	68.8
不十分	6.5	5.4	11.9



(年代別)

項目	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
十分である	4.8	1.9	4.0	3.5	4.8	2.0	2.8
どちらかといえば十分	28.6	34.0	22.7	19.1	13.3	8.2	13.3
どちらかといえば不十分	66.7	54.7	58.7	63.5	62.7	78.9	74.4
不十分	0.0	9.4	14.7	13.9	19.3	10.9	9.5



質問27 障害者スポーツ活動の推進に必要なと思うこと

(イベント)

様々な障害者スポーツ種目を体験できる	18	気軽に参加できる・初心者でも参加できる	15
有名パラスポーツ選手・チームを呼ぶ	13	障害が有っても体が不自由でも参加できる	11
健常者と一緒に行けるイベント	8	特定スポーツを行う	6
健康体操・健康増進・機能回復促進	6	分からない	5
町内障害者と触れ合えるスポーツイベント	4	他市町・他チームとの交流	4
体が不自由でも参加できる	3	障害者メインの大会・スポーツイベント	3
子どもから高齢者まで楽しめる	3	パラスポーツの紹介・PR	3
定期的で開催されるイベント	2	イベントはしない方が良い	1
町内児童とふれあうスポーツイベント	1	個人もしくは少人数でできるイベント	1
町内スポーツ施設を活用したイベント	1	有名スポーツ選手・チームを呼ぶ	1
年代別で参加できるようなイベント	1		

(取組)

障害者スポーツ支援ボランティア	17	SNS・広報誌を活用したスポーツ広報周知を行う	15
町内体育施設へ向かう送迎バスの充実	14	障害者スポーツ指導者の誘致・育成	10
障害が有っても体が不自由でもできる	7	町内障害者と触れ合える機会の創出	6
障害者・体が不自由な者同士の交流・教室	6	気軽に参加できる・初心者でも参加できる環境作り	5
様々な障害者スポーツに触れることができるようにする	5	町内施設・障害スポーツ施策への意見窓口を設置	5
分からない	3	障害者スポーツへの補助金	3
健常者と一緒のできる取組	3	障害者・体が不自由な者が参加しスポーツについて話し合う	2
様々な障害者スポーツ種目を促進する	2	スポーツ用具・備品の無料貸出	2
パラスポーツの紹介・PR	2	利用申請・利用予約の簡易化	2
幅広い年代が楽しめるスポーツプログラム	1		

(施設)

バリアフリーなスポーツ施設	53	ユニバーサルデザインを取り入れた施設	5
障害者や体が不自由な者でも利用しやすい	6	多目的トイレ	4
温泉施設を併設する	2	分からない	2
家から近く安全に行ける施設	1	障害者・高齢者・体が不自由な者の付き添い者待合室	1
遊具がある・緑豊かな公園	1	空調設備がある	1
点字パネルの設置	1	既存施設の使用・増設・改修	1
屋内・天候に左右されない施設	1		

(その他)

勉強不足により障害者スポーツについてわからない	町の取り組みをほとんどよく知らない
知らないことが多いので、周知が必要	町で障害者スポーツの取組をしていることを知らない
町内にどんな施設があるかわからない、町HPにも情報が乏しい	
情報が十分に伝わっていない、届かない	知識も経験もないで色々な情報があればいい
障がい者スポーツ推進のための情報提供	障害者スポーツがどのようなものかわからない
現時点では想像できない	関わっていないのでわからない
道のデコボコ、植木のはみだし雑草等が危険	町で貸出できる車いすを増やしてほしい
特異な目で見られないような雰囲気作りや町民啓発	心理面でのサポートを充実させるべき
心身のケアに真摯に取り組むことが急務	周りの人の理解・協力
障害者に対する偏見を無くすことが先決である	障害者に対するスポーツ、仕事も差別を感じる
障害はいつ誰がなることもあると捉え、偏見を取り払う取り組みが必要である。	
障害者スポーツにも関心を持ちたいと思う	その人の障害の状態、意見が必要
広く開かれた優しく温かい場所が必要	若者が参加できる機会の創出
そっとしておいてほしいです	障害者が無理なく参加できるスポーツの推進を希望
スポーツに参加して見たり、聞いたりするのもいい	スポーツより文化活動に取り組んだほうがよい
行政が前向きに取り組むこと	町内に商業スポーツ施設を作り、補助金を出す
健常者の立場からの目線よりも本人の方などの意見を直接聞いた方が良いと思います	
仲間がいないし、声をかけてくれる人もいないのでいつも不参加になってしまいます	
生活の中に自然にスポーツに取り組み、安全に取り組めるような環境・意識づくりが必要	
障害を持ってしまうとスポーツをしようという意欲がわきにくいと思う	
障害者も健常者も変わらずスポーツを楽しめる社会の構築が必要	
明るく元気にスポーツに取り組める環境作りが必要で「自分も楽しめる」という気持ちになれることが必要	
障害者スポーツの取組みは多くあると思うが、知られたくないなどの不安があれば先に進まないと感じる。	
障がい者の方に町から、スポーツを紹介し、やってみませんかと進めてみる	

自身の行いたいスポーツ（競技）をおこなえる施設、環境があればよいのでは
健常者の人にスポーツが広まれば自然と障害者スポーツにも関心が向くと思う
自分なりのマイペースで体を動かしているが年を重ねると自分から外に出る気持ちが徐々に薄れる
どんな活動があるのか、どのように参加できるのかなどの情報を広く知ってもらうことが必要なのではないか
とりわけ自分自身を批判的に見つめ、差別や排除に少しでも加担していないか
そもそも町内の障がい者へのスポーツに関する取組を知らないので、十分かどうか判断できない
屋島の陸上競技場のような外のスポーツではなく、屋内障害スポーツと健常者の屋内スポーツが可能な県内でも差別化を施設のコンセプトにして、県内もしくは多くの方に利用いただける場所を作ることが大切で、他と同じことをしても意味はない
ボランティアの協力で障害者がスポーツを楽しめるならそれはとても本人にとって有難いことだと思うが、本人との信頼関係が一番大きいので人をコントロールするのではなく望んでいる事を理解して自分だったらどういうサポートだと安心できるか等想像して関わってもらえる事が、長く利用したいと思う秘訣ではないか
スポーツに限らず、同様な障害をもつ人との交流の場があるといいと思います。その交流を通じてスポーツにつながるような仕組みが必要になってくるのではないのでしょうか。
しっかり寄り添っていく姿勢も大切。ものごとの真偽や善悪について冷静に判断する姿勢を持ち続けること
こういったアンケートをとるのであれば、それについての返答は何らかの形にして現わして欲しい



東京2020オリンピック聖火リレー（道の駅滝宮にて）



梅の里フェスティバル町民綱引き大会の様子

○町民意識調査の集計（こども園4歳児）

1. 基本情報

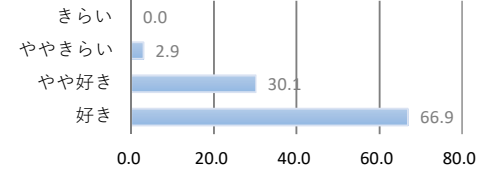
質問1 性別 （回答率：137/167=82.0%）

性別	人数
男性（人）	60
女性（人）	77
合計（人）	137

質問2 スポーツ活動は好きか

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
好き	28.7	38.2	66.9
やや好き	14.0	16.2	30.1
やや嫌い	1.5	1.5	2.9
嫌い	0.0	0.0	0.0

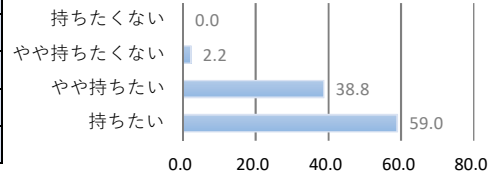
スポーツ活動は好きか



質問3 スポーツ活動をする時間を持ちたいか

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
持ちたい	27.6	31.3	59.0
やや持ちたい	17.2	21.6	38.8
やや持ちたくない	0.0	2.2	2.2
持ちたくない	0.0	0.0	0.0

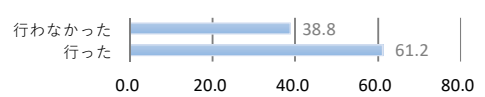
スポーツ活動をする時間を持ちたいか



質問4 こども園の活動以外でスポーツ活動を行ったか

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
行った	29.1	32.1	61.2
行かなかった	14.2	24.6	38.8

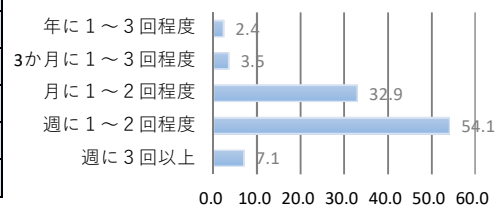
こども園以外でスポーツを行ったか



質問4-① 行ったと答えた方…どのくらいスポーツ活動を行った

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
週に3回以上	1.2	5.9	7.1
週に1～2回程度	29.4	24.7	54.1
月に1～2回程度	12.9	20.0	32.9
3か月に1～3回程度	2.4	1.2	3.5
年に1～3回程度	1.2	1.2	2.4

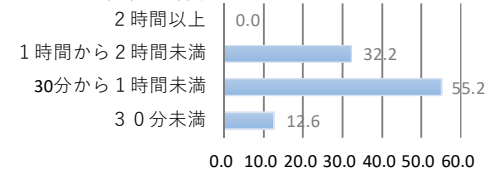
スポーツ活動の頻度



質問4-② 行ったと答えた方…1回のスポーツ活動の時間は

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
30分未満	4.6	8.0	12.6
30分から1時間未満	25.3	29.9	55.2
1時間から2時間未満	17.2	14.9	32.2
2時間以上	0.0	0.0	0.0

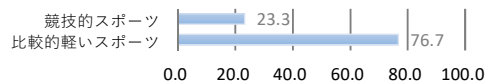
スポーツ活動の時間



質問4-③ 行ったと答えた方…行ったスポーツ活動の内容は

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
比較的軽いスポーツ	32.6	44.2	76.7
競技的スポーツ	15.1	8.1	23.3

スポーツ活動の内容



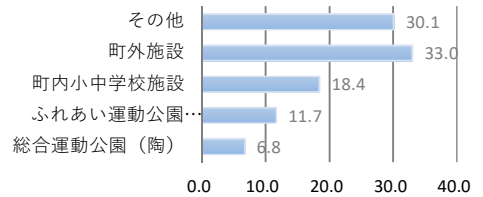
(種目)

水泳	15	体操	10	自転車	5	走ること	4	野球	4
球技	3	空手	3	ダンス	2	トランポリン	2	バドミントン	2
レスリング	2	なわとび	2						

質問4-④ 行ったと答えた方…どこでスポーツ活動を行った

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
総合運動公園 (陶)	1.9	4.9	6.8
ふれあい運動公園 (B&G)	5.8	5.8	11.7
町内小中学校施設	5.8	12.6	18.4
町外施設	17.5	15.5	33.0
その他	14.6	15.5	30.1

スポーツ活動を行った場所



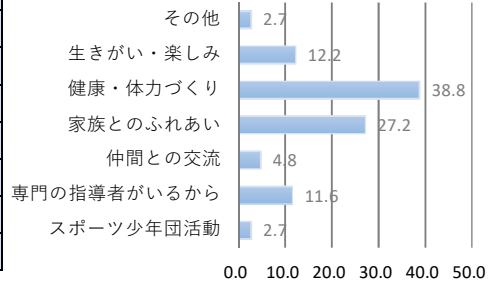
(その他)

自宅	13	公園	4	さぬき空港公園	1	公民館	1	高山航空公園	1
----	----	----	---	---------	---	-----	---	--------	---

質問4-⑤ 行ったと答えた方…こども園以外でスポーツ活動を行った理由は

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
スポーツ少年団活動	1.4	1.4	2.7
専門の指導者がいるから	5.4	6.1	11.6
仲間との交流	2.7	2.0	4.8
家族とのふれあい	12.9	14.3	27.2
健康・体力づくり	19.0	19.7	38.8
生きがい・楽しみ	6.1	6.1	12.2
その他	0.0	2.7	2.7

こども園以外でスポーツ活動を行った理由



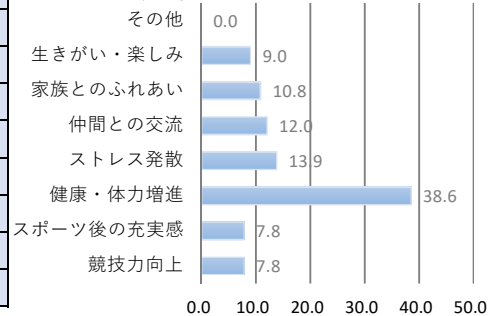
(その他)

子どもが望んだ	1	キッズダンス	1	非認知能力プログラム	1
---------	---	--------	---	------------	---

質問4-⑥ 行ったと答えた方…スポーツ活動を行って得られたものは

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
競技力向上	4.8	3.0	7.8
スポーツ後の充実感	4.2	3.6	7.8
健康・体力増進	19.9	18.7	38.6
ストレス発散	7.2	6.6	13.9
仲間との交流	5.4	6.6	12.0
家族とのふれあい	4.8	6.0	10.8
生きがい・楽しみ	1.8	7.2	9.0
その他	0.0	0.0	0.0

スポーツ活動で得られたもの

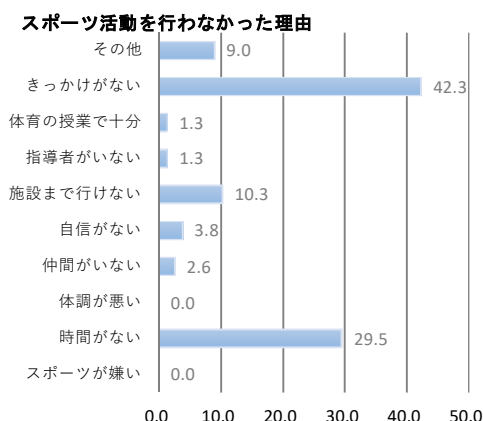


(その他)

記述なし

質問4-⑦ 行わなかったと答えた方…こども園以外でスポーツ活動を行わなかった理由は

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
スポーツが嫌い	0.0	0.0	0.0
時間がない	14.1	15.4	29.5
体調が悪い	0.0	0.0	0.0
仲間がいない	1.3	1.3	2.6
自信がない	3.8	0.0	3.8
施設まで行けない	6.4	3.8	10.3
指導者がいない	1.3	0.0	1.3
体育の授業で十分	0.0	1.3	1.3
きっかけがない	16.7	25.6	42.3
その他	1.3	7.7	9.0

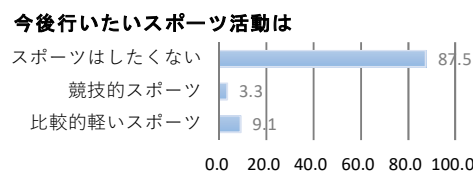


(その他)

親が運動が苦手	1	感染症対策、コロナ	2	女性でままごとが好き	1	どこでやるのわからない	1
外遊びで充分	1	金がかかる	1				

質問4-⑧ 行わなかったと答えた方…今後行いたいスポーツ活動は

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
比較的軽いスポーツ	5.0	4.2	9.1
競技的スポーツ	3.0	0.3	3.3
スポーツはしたくない	0.0	87.5	87.5

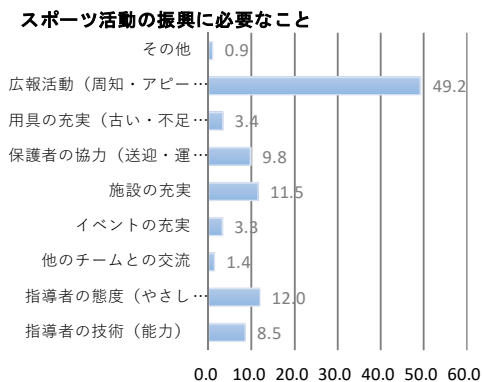


(種目)

水泳	11	サッカー	9	ダンス	5	体操	5	バレーボール	3
武道	3	野球	3	ハンドボール	2	ボルタリング	2	剣道	2

質問5 今後、スポーツ活動の振興に必要なと思うことは

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
指導者の技術 (能力)	4.3	4.2	8.5
指導者の態度 (やさしさ・モラル)	5.4	6.5	12.0
他のチームとの交流	0.9	0.5	1.4
イベントの充実	1.6	1.7	3.3
施設の充実	5.3	6.2	11.5
保護者の協力 (送迎・運営等)	4.3	5.4	9.8
用具の充実 (古い・不足の対応)	1.2	2.2	3.4
広報活動 (周知・アピール)	1.6	47.7	49.2
その他	0.2	0.8	0.9

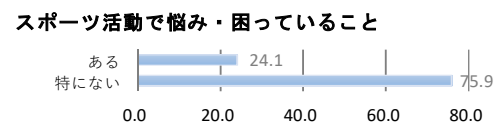


(その他)

保護者の時間	1	友達とのかかわり	1	様々な種目の体験の機会	1	民間の事業誘致	1
資金	1						

質問6 今スポーツ活動のことで悩んでいること、困っていることは

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
特にない	59.0	16.9	75.9
ある	24.1	0.0	24.1



(どんなこと)

送迎・親の時間の確保	10	施設がない	6	活動日時が合わない	5
別なものに興味がい	4	望む活動の場所・機会がない	4	コロナ流行のため	2
定員超過	1	指導者が怖い	1	情報を得る機会が少ない	1

質問7-① 町に期待するスポーツ活動の振興施策は（イベント）

様々なスポーツ種目を体験できる	11	気軽に参加できる	7	土日祝日開催	5
スポーツ教室	4	無料	3	有名スポーツ選手・チームを呼ぶ	3
家族参加可能	2	子どもから高齢者まで楽しめる	2	町内スポーツ組織活動の紹介・PR	1
短期間のスポーツ教室	1				

質問7-② 町に期待するスポーツ活動の振興施策は（施設）

遊具がある・緑豊かな公園	16	水泳プール施設	8	トレーニングジム	5
総合スポーツ施設	4	ボルダリング施設	3	気軽に行ける施設	3
トランポリン施設	2	管理が行き届いた施設	2		

質問7-③ 町に期待するスポーツ活動の振興施策は（取組）

こども園でもっとスポーツを教える	5	町内スポーツ団体の活動をPRする	2	狭い面積できる運動を教える	2
礼儀や人間関係も学べるスポーツを広める	1	プロスポーツ選手育成	1	幅広い年代が楽しめるスポーツプログラム	1
町内スポーツ施設の無料化	1	パラスポーツの推進・周知	1	スポーツを分かりやすく学べる取組	1
スポーツ用具のレンタル	1	コロナ感染症対策による自粛	1	親にも配慮した取り組み	1
スポーツ団体の種類を増やす	1	家庭でできないスポーツの指導	1		



羽床上こども園児（羽床上運動場にて）



幼児体操教室（ふれあい運動公園人工芝グラウンドにて）

○町民意識調査の集計（小学4年生）

1. 基本情報

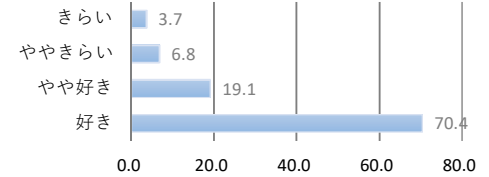
質問1 性別 （回答率：162/163=99.4%）

性別	人数
男性（人）	69
女性（人）	93
合計（人）	162

質問2 スポーツ活動は好きか

項目	男性（%）	女性（%）	計（%）
好き	32.7	37.7	70.4
やや好き	4.3	14.8	19.1
ややきらい	3.7	3.1	6.8
きらい	1.9	1.9	3.7

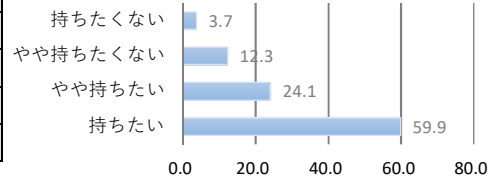
スポーツ活動は好きか



質問3 スポーツ活動をする時間を持ちたいか

項目	男性（%）	女性（%）	計（%）
持ちたい	25.9	34.0	59.9
やや持ちたい	10.5	13.6	24.1
やや持ちたくない	4.3	8.0	12.3
持ちたくない	1.9	1.9	3.7

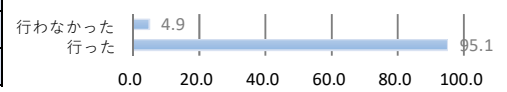
スポーツ活動をする時間を持ちたいか



質問4 学校の授業以外でスポーツ活動を行ったか

項目	男性（%）	女性（%）	計（%）
行った	42.0	53.1	95.1
行かなかった	0.6	4.3	4.9

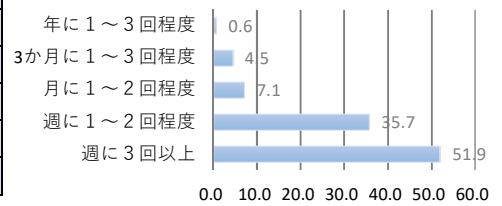
学校以外のスポーツ活動を行ったか



質問4-① 行ったと答えた方…どのくらいスポーツ活動を行った

項目	男性（%）	女性（%）	計（%）
週に3回以上	28.6	23.4	51.9
週に1～2回程度	12.3	23.4	35.7
月に1～2回程度	1.9	5.2	7.1
3か月に1～3回程度	0.6	3.9	4.5
年に1～3回程度	0.6	0.0	0.6

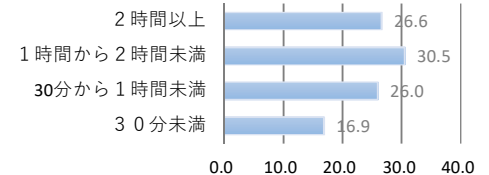
スポーツ活動の頻度



質問4-② 行ったと答えた方…1回のスポーツ活動の時間は

項目	男性（%）	女性（%）	計（%）
30分未満	7.1	9.7	16.9
30分から1時間未満	10.4	15.6	26.0
1時間から2時間未満	12.3	18.2	30.5
2時間以上	14.3	12.3	26.6

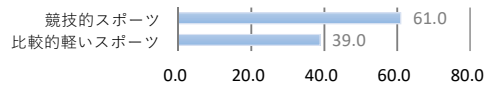
スポーツ活動の時間



質問4-③ 行ったと答えた方…行ったスポーツ活動の内容は

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
比較的軽いスポーツ	9.1	29.9	39.0
競技的スポーツ	35.1	26.0	61.0

スポーツ活動の内容



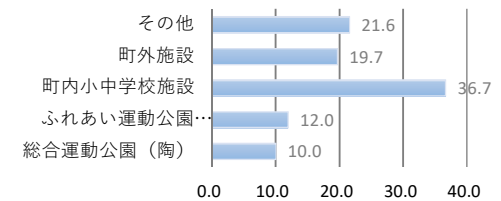
(種目)

外遊び	39	水泳	26	サッカー	21	野球	21	バドミントン	19
ドッジボール	17	散歩	15	ハンドボール	12	なわとび	10	剣道	9
ダンス	8	バレーボール	8	ランニング	7	自転車	6	一輪車	5
鬼ごっこ	5	バスケットボール	4	ストレッチ	3	ボール投げ	3	空手	3
筋肉トレーニング	3	陸上	3	サイクリング	2	ソフトボール	2	卓球	2

質問4-④ 行ったと答えた方…どこでスポーツ活動を行った

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
総合運動公園 (陶)	4.2	5.8	10.0
ふれあい運動公園 (B&G)	5.4	6.6	12.0
町内小中学校施設	17.8	18.9	36.7
町外施設	9.7	10.0	19.7
その他	6.9	14.7	21.6

スポーツ活動を行った場所



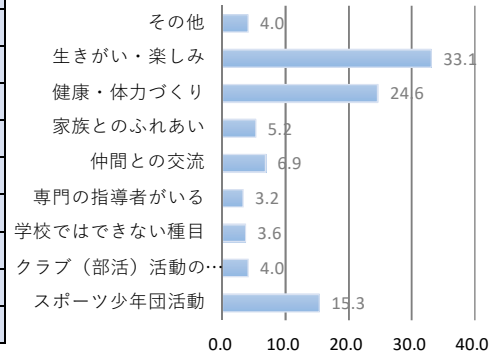
(その他)

自宅屋外	32	自宅屋内	11	横山ひろば	3	友人の家	2
------	----	------	----	-------	---	------	---

質問4-⑤ 行ったと答えた方…学校以外でスポーツ活動を行った理由は

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
スポーツ少年団活動	8.9	6.5	15.3
クラブ (部活) 活動の練習として	1.2	2.8	4.0
学校ではできない種目	1.6	2.0	3.6
専門の指導者がいる	2.0	1.2	3.2
仲間との交流	3.6	3.2	6.9
家族とのふれあい	2.8	2.4	5.2
健康・体力づくり	11.3	13.3	24.6
生きがい・楽しみ	12.9	20.2	33.1
その他	0.8	3.2	4.0

学校以外でスポーツ活動を行った理由



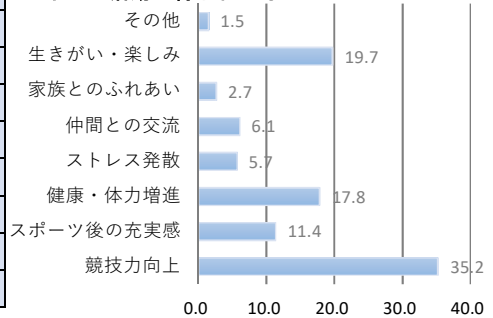
(その他)

上手になりたい	4	好きだから	2	兄弟がいる	2	友達がいる	2	いとこの勧め	1
ダイエット	1	将来のため	1						

質問4-⑥ 行ったと答えた方…スポーツ活動を行って得られたものは

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
競技力向上	15.5	19.7	35.2
スポーツ後の充実感	6.1	5.3	11.4
健康・体力増進	8.3	9.5	17.8
ストレス発散	2.7	3.0	5.7
仲間との交流	3.0	3.0	6.1
家族とのふれあい	0.8	1.9	2.7
生きがい・楽しみ	9.5	10.2	19.7
その他	0.4	1.1	1.5

スポーツ活動で得られたもの



(その他)

成績が上がった	1	将来役に立つ	1	学校外の友達ができる	1
---------	---	--------	---	------------	---

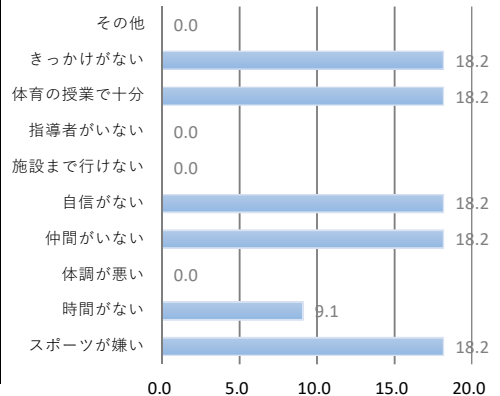
質問4-⑦ 行わなかったと答えた方…学校以外でスポーツ活動を行わなかった理由は

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
スポーツが嫌い	9.1	9.1	18.2
時間がない	0.0	9.1	9.1
体調が悪い	0.0	0.0	0.0
仲間がいない	0.0	18.2	18.2
自信がない	0.0	18.2	18.2
施設まで行けない	0.0	0.0	0.0
指導者がいない	0.0	0.0	0.0
体育の授業で十分	9.1	9.1	18.2
きっかけがない	0.0	18.2	18.2
その他	0.0	0.0	0.0

(その他)

記述なし

スポーツ活動を行わなかった理由



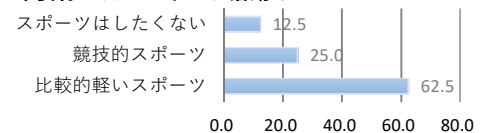
質問4-⑧ 行わなかったと答えた方…今後行いたいスポーツ活動は

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
比較的軽いスポーツ	12.5	50.0	62.5
競技的スポーツ	0.0	25.0	25.0
スポーツはしたくない	0.0	12.5	12.5

(種目)

ドッジボール	2	水泳	2	野球	2	外遊び	1	バレーボール	1
テニス	1	剣道	1						

今後行いたいスポーツ活動は



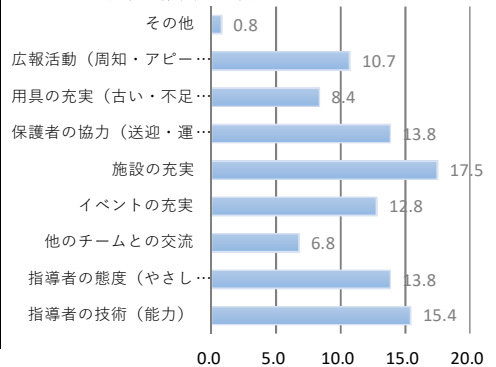
質問5 今後、スポーツ活動の振興に必要なと思うことは

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
指導者の技術 (能力)	7.3	8.1	15.4
指導者の態度 (やさしさ・モラル)	6.3	7.6	13.8
他のチームとの交流	3.7	3.1	6.8
イベントの充実	4.2	8.6	12.8
施設の充実	8.1	9.4	17.5
保護者の協力 (送迎・運営等)	5.7	8.1	13.8
用具の充実 (古い・不足の対応)	3.7	4.7	8.4
広報活動 (周知・アピール)	4.2	6.5	10.7
その他	0.3	0.5	0.8

(その他)

楽しいこと	1	やさしく一緒にする	1	達成感を知ってもらう	1
-------	---	-----------	---	------------	---

スポーツ活動の振興に必要なこと



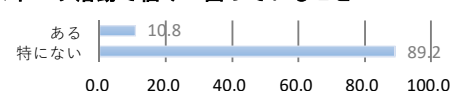
質問6 今スポーツ活動のことで悩んでいること、困っていることは

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
特にない	39.5	49.7	89.2
ある	3.2	7.6	10.8

(どんなこと)

上手でない (出来ない)	8	身体能力が不足している	3	体罰	1
メンバーとの人間関係	1	別のものに興味がでしてしまう	1	コロナ流行のため	1
学校の休憩時間が短くなった	1				

スポーツ活動で悩み・困っていること



質問7-① 町に期待するスポーツ活動の振興施策は（イベント）

スポーツ体験ができる	7	友達と参加できる	1	公民館イベント	1
庁内スポーツ団体の発表・PR	1				

質問7-② 町に期待するスポーツ活動の振興施策は（施設）

冷房をつける	5	利用しやすいスポーツ施設	1	利用しやすい公園	1
既存のスポーツ施設を広くする	1				

質問7-③ 町に期待するスポーツ活動の振興施策は（取組）

仲良く遊んだりスポーツができる	16	スポーツに気軽に触れることができるようにする	9	やさしい指導者を増やす	6
町内スポーツ団体の活動をPRする	6	仲間で優しく教えあう	6	スポーツで自信をつけさせる	4
自由にやりたいスポーツを選べる	2	苦手な人も楽しめるようにする	1	スポーツルールをきちんと守る	1
スポーツイベント案を募集する	1	水泳を増やす	1	剣道を広げる取組	1



サッカースポーツ少年団（総合運動公園天然芝グラウンド）



剣道スポーツ少年団（陶小学校にて）

○町民意識調査の集計（中学2年生）

1. 基本情報

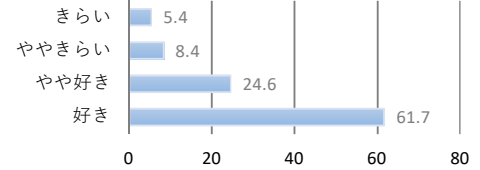
質問1 性別 （回答率：167/181=92.3%）

性別	人数
男性（人）	78
女性（人）	89
合計（人）	167

質問2 スポーツ活動は好きか

項目	男性（%）	女性（%）	計（%）
好き	30.5	31.1	61.7
やや好き	12.0	12.6	24.6
やや嫌い	3.0	5.4	8.4
嫌い	1.2	4.2	5.4

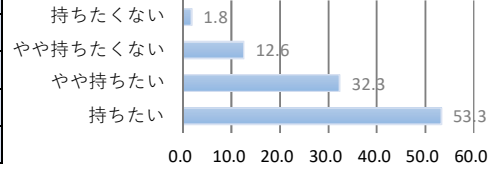
スポーツ活動は好きか



質問3 スポーツ活動をする時間を持ちたいか

項目	男性（%）	女性（%）	計（%）
持ちたい	25.7	27.5	53.3
やや持ちたい	14.4	18.0	32.3
やや持ちたくない	4.8	7.8	12.6
持ちたくない	1.8	0.0	1.8

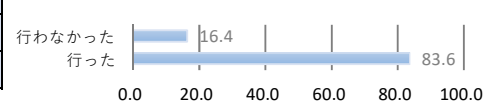
スポーツ活動をする時間を持ちたいか



質問4 学校の授業以外でスポーツ活動を行ったか

項目	男性（%）	女性（%）	計（%）
行った	40.6	43.0	83.6
行かなかった	6.1	10.3	16.4

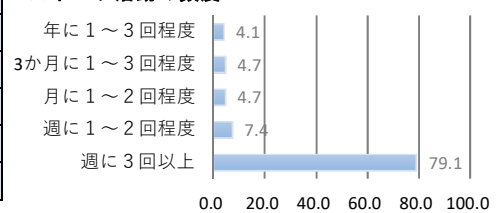
学校以外でスポーツ活動を行ったか



質問4-① 行ったと答えた方…どのくらいスポーツ活動を行った

項目	男性（%）	女性（%）	計（%）
週に3回以上	38.5	40.5	79.1
週に1～2回程度	2.7	4.7	7.4
月に1～2回程度	2.7	2.0	4.7
3か月に1～3回程度	2.7	2.0	4.7
年に1～3回程度	2.0	2.0	4.1

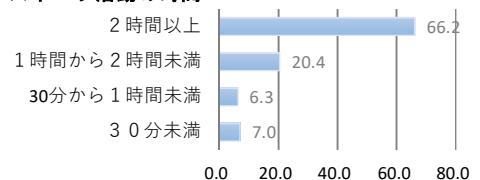
スポーツ活動の頻度



質問4-② 行ったと答えた方…1回のスポーツ活動の時間は

項目	男性（%）	女性（%）	計（%）
30分未満	2.1	4.9	7.0
30分から1時間未満	1.4	4.9	6.3
1時間から2時間未満	7.7	12.7	20.4
2時間以上	37.3	28.9	66.2

スポーツ活動の時間



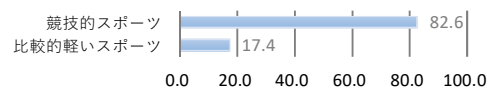
質問4-③ 行ったと答えた方…行ったスポーツ活動の内容は

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
比較的軽いスポーツ	5.8	11.6	17.4
競技的スポーツ	43.5	39.1	82.6

(種目)

バレーボール	23	バスケットボール	16	バドミントン	16	卓球	13	テニスボール	9
ハンドボール	9	サッカー	8	陸上	8	野球	8	ソフトボール	4
剣道	4	空手	3	ストレッチ	2				

スポーツ活動の内容



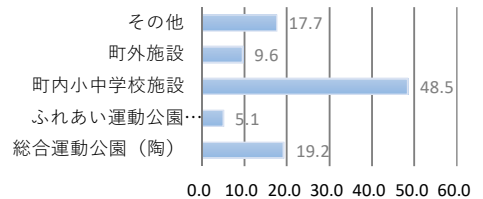
質問4-④ 行ったと答えた方…どこでスポーツ活動を行った

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
総合運動公園 (陶)	11.6	7.6	19.2
ふれあい運動公園 (B&G)	3.0	2.0	5.1
町内小中学校施設	24.2	24.2	48.5
町外施設	4.5	5.1	9.6
その他	8.6	9.1	17.7

(その他)

自宅	22	体育館	3	リンク	1	屋外	1
----	----	-----	---	-----	---	----	---

スポーツ活動を行った場所



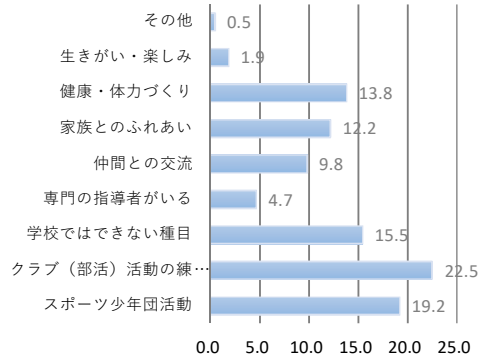
質問4-⑤ 行ったと答えた方…学校以外でスポーツ活動を行った理由は

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
スポーツ少年団活動	9.8	9.4	19.2
クラブ (部活) 活動の練習として	11.5	11.0	22.5
学校ではできない種目	6.3	9.1	15.5
専門の指導者がいる	1.4	3.3	4.7
仲間との交流	4.7	5.2	9.8
家族とのふれあい	6.1	6.1	12.2
健康・体力づくり	6.6	7.3	13.8
生きがい・楽しみ	0.7	1.2	1.9
その他	0.5	0.0	0.5

(その他)

暇つぶし	1
------	---

学校以外でスポーツ活動を行った理由



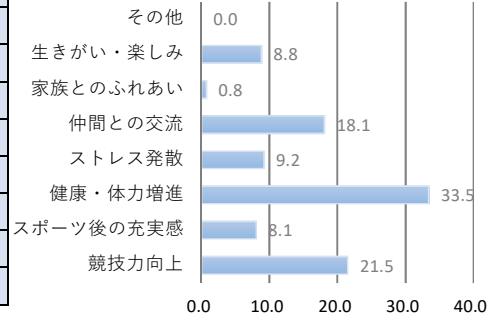
質問4-⑥ 行ったと答えた方…スポーツ活動を行って得られたものは

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
競技力向上	11.5	10.0	21.5
スポーツ後の充実感	3.8	4.2	8.1
健康・体力増進	15.4	18.1	33.5
ストレス発散	3.8	5.4	9.2
仲間との交流	10.4	7.7	18.1
家族とのふれあい	0.4	0.4	0.8
生きがい・楽しみ	4.2	4.6	8.8
その他	0.0	0.0	0.0

(その他)

記述なし

スポーツ活動で得られたもの



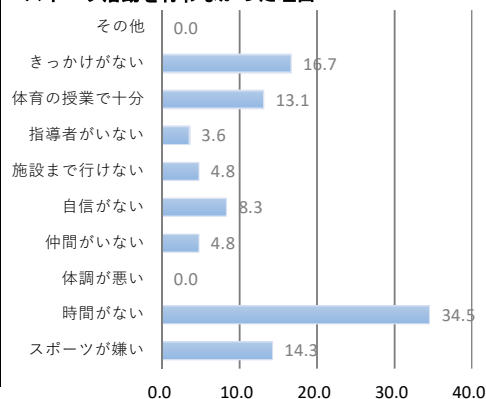
質問4-⑦ 行わなかったと答えた方…学校以外でスポーツ活動を行わなかった理由は

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
スポーツが嫌い	6.0	8.3	14.3
時間がない	13.1	21.4	34.5
体調が悪い	0.0	0.0	0.0
仲間がいない	2.4	2.4	4.8
自信がない	4.8	3.6	8.3
施設まで行けない	3.6	1.2	4.8
指導者がいない	0.0	3.6	3.6
体育の授業で十分	7.1	6.0	13.1
きっかけがない	6.0	10.7	16.7
その他	0.0	0.0	0.0

(その他)

体力がない	1
-------	---

スポーツ活動を行わなかった理由



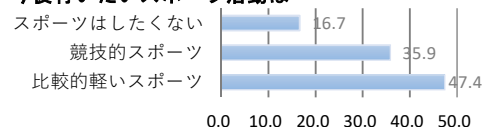
質問4-⑧ 行わなかったと答えた方…今後行いたいスポーツ活動は

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
比較的軽いスポーツ	17.9	29.5	47.4
競技的スポーツ	16.7	19.2	35.9
スポーツはしたくない	11.5	5.1	16.7

(種目)

バスケットボール	9	バドミントン	7	野球	7	サッカー	5	卓球	4
バレーボール	3	アーチェリー	2	テニスボール	2	弓道	2	陸上	2

今後行いたいスポーツ活動は



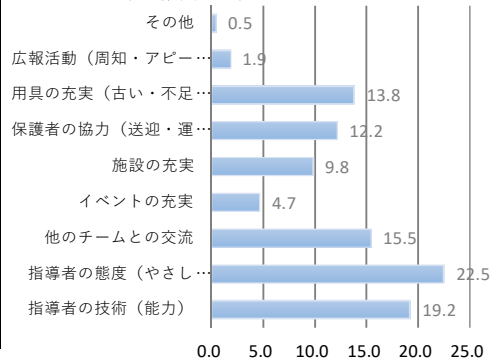
質問5 今後、スポーツ活動の振興に必要なと思うことは

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
指導者の技術 (能力)	9.8	9.4	19.2
指導者の態度 (やさしさ・モラル)	11.5	11.0	22.5
他のチームとの交流	6.3	9.1	15.5
イベントの充実	1.4	3.3	4.7
施設の充実	4.7	5.2	9.8
保護者の協力 (送迎・運営等)	6.1	6.1	12.2
用具の充実 (古い・不足の対応)	6.6	7.3	13.8
広報活動 (周知・アピール)	0.7	1.2	1.9
その他	0.5	0.0	0.5

(その他)

メリハリ	1
------	---

スポーツ活動の振興に必要なこと



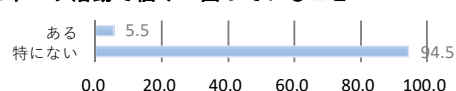
質問6 今スポーツ活動のことで悩んでいること、困っていることは

項目	男性 (%)	女性 (%)	計 (%)
特にない	91.2	3.3	94.5
ある	5.5	0.0	5.5

(どんなこと)

上手でない (出来ない)	6	備品が古い	1	親の方が部活に熱心	1
--------------	---	-------	---	-----------	---

スポーツ活動で悩み・困っていること



質問7-① 町に期待するスポーツ活動の振興施策は（イベント）

気軽に参加できる	16	特定のスポーツの大会	9	様々なスポーツ種目を体験できる	6
特定のスポーツを行う	4	他校・他チームとの交流	3	有名スポーツ選手・チームを招く	2
賞金・賞品がある	2	子どもから高齢者まで楽しめる	2	町内スポーツ組織活動の紹介・PR	1
スポーツ教室	1				

質問7-② 町に期待するスポーツ活動の振興施策は（施設）

空調設備がある施設	20	管理が行き届いた施設	10	総合スポーツ施設	10
大きな体育館	7	用具が充実した施設	5	トレーニングジム	3
気軽に行ける施設	2	用具が新しい施設	2	有名人がくる施設	2
野球場	2	バスケットコート	2		

質問7-③ 町に期待するスポーツ活動の振興施策は（取組）

仲良く遊んだりスポーツができる	6	町内スポーツ団体の活動をPRする	5	仲間で優しく教えあう	3
プロスポーツ選手による指導	2	幅広い年代が楽しめるプログラム	1	部活動対抗競技	1
音楽に合わせて踊る	1	利用者、選手に応じ運動量を調整する	1	スポーツ用具の配布	1
事業で粗品をやドリンクを出す	1	賞金・賞品を活用しスポーツ推進	1	故障防止のための取組	1
開催回数を考える	1				

質問7-④ 町に期待するスポーツ活動の振興施策は（その他）

指導者がやさしく楽しくできる	1	指導者を招待して行う	1	部活終了時間をそろえる	1
B&Gのバレーネットが古い	1	部活用具を新しくして欲しい	1	レベルを分けて行う	1
体力増進に頑張りたい	1	練習試合で交流を増やす	1		



綾南中学校体育祭の様子



綾上中学校体育祭の様子

- ・電話にて予約できるようにしてほしい。(4件)
- ・インターネットにて予約状況を把握できるようにしてほしい。(3件)
- ・利用マナーの良さについて格付けを行い、有料利用団体は優先予約を可能にしてほしい。(1件)
- ・運動公園・BGの予約も教育委員会事務局でできるようにしてほしい。(1件)
- ・予約抽選となると困るため、従来の予約方法を残してほしい(1件)
- ・学校行事等による利用差し止めの際に代替施設をスムーズに借りられるようにしてほしい。(1件)
- (利用について(施設場所、使用回数等))
- ・利用料を安くしてほしい。(1件)
- ・施設利用料の支払いについて、分割期別支払をできるようにしてほしい。(1件)
- (その他)
- ・各団体利用用具の置く場所を定めてほしい。(2件)
- ・夏季にグラウンドに雑草が生え練習しづらいので、定期的に手入れをしてほしい。(1件)
- ・総合運動公園の突き出し窓が危険であるので改善してほしい。(1件)
- ・市民が利用できるトレーニングルームが欲しい。(1件)

問現在使用している施設から、別の施設での使用をお願いした場合、使用は可能ですか。
 (施設使用日が競合した場合、別の施設を使用いただけると、より多くの団体の利用促進につながると考えています。) 不可能の場合、その理由をお書きください。

<配布数 165 回答数 73 回答率 44.2%>

1. 可能	14	19.2%
2. 場合によって可能	43	58.9%
3. 不可能	11	15.1%
4. 無回答	5	6.8%

(不可能の場合の理由)

- ・練習に必要な道具の移動が必要また練習スペースも必要(2・野球)。
- ・部員数から他の施設では難しい(3・ラージボール)。
- ・練習回数、人数、使用する卓球台の数の関係で難しい(3・ラージボール)。
- ・ライン引きテープ張りがある。空調設備が必要(3・カローリング)
- ・マットが大きい(12m*12m)のため動かすのが難しい(3・レスリング)
- ・体育館の修理、工事等の場合のみ。滝宮出身の子ばかりなので今の場所がいい(2・滝宮剣道)
- ・場合によっては競技者に連絡取れない場合がある。(2・体協卓球)
- ・器具の移動ができない。(3・体協卓球)

問その他、スポーツ振興に向けてご意見を自由にお書きください。

- ・家でできるようなトレーニングを教えてくれるイベントを開催してほしい。
- ・子どもも大人も参加できるイベントがあればうれしい。
- ・子どもがスポーツに興味を持つことができるようなイベントを開催してほしい。
- ・初心者でも気軽に参加できる雰囲気的大事である。

- IT を活用したスポーツアプリの開発等ゲーム感覚で参加できるようにする。
- 厳しい中でも楽しめる要素があればみんな入りやすいのではないかと思う。
- 新しくできる綾上のグラウンドを利用したが、夏暑く冬寒すぎるため、屋根を作ってほしい。”
- B&G の体育館を使用したくても、良い気候の時期には他団体と行事が重なったり、年間で押さえられたりしていて、結局、暑い時期や寒い時期しか空いていない場合が多いので施設を充実させてほしい。
- 体育館利用料の徴収が始まり部員が減った。町の予算を病院で使う町民より体育館で元気に活動する町民の方が貴重なため、このアンケート調査を機にさらに活発に活動できるような町行政や予算となることを望む。
- 運営や指導者がチーム内から出しているのは時によって質が不安定になるため、そういった役割を担う外部の方が必要である。
- 指導者が減ってきているので、指導者の呼び込み・育成も行ってほしい。
- 町民へ向けて魅力的なスポーツ広報活動を考える。
- もっとスマホ（インターネット）で確認できる情報を増やしてほしい。スポーツ情報がたくさん確認できるようになれば、活動が盛んになると思う。
- ラージボール卓球は高齢者がほとんどでクラブ内の活動を楽しむ部員が大半。当面は内部の活動を充実させ新規部員の加入を進めたい。当クラブの活動推進がスポーツ振興の一端を担えたらと考えている。若手の加入などができれば対外試合への参加も考えられる。
- 競技の金メダルではなく、人間としての金メダルを取ってほしい。人にやさしく、強く、愛される人間になってほしい。スポーツ振興のためには先ず、施設が充実することが一番で、そこから強化につながると思う。
- 子どもへのスポーツ指導に関して、子どもたちの体力の低下を痛感しており、なるべく外での行動、遊びの中で体力つけるべきだ。
- 体力は生きる力だと思う。”
- 子ども時代にどれだけスポーツをするのかが、大人になったとき一番影響があると思う。
- 生涯スポーツも重要だと思うが、子どもが参加できる大会などに力を入れてほしい、大人と子供が一緒に大会に出場できる事は大きな意味を持つと思う。
- 競技人口が増えると嬉しい。
- 次の国体開催の見通しが出た際に綾川町はどの競技を希望するか、打ち出しておく。
- 各校区に多目的広場を作ってほしい。小学生は校区外まで出られず、校庭も開放されていないとのびのび遊ぶスペースが無い。そういったスペースが身近にあれば外出、運動につながる。
- すべての世代の人にスポーツを楽しんでいただきたいですが、これからの世代（子ども）に優先して施設の提供をすすめてほしい。
- もっと町がスポーツ振興にかかわってほしい。
- 町として近隣自治体の動向もしっかり調べてほしい。
特定の競技を優先するのではなく、幅広く競技を扱ってほしい。
- 人工芝フットサルコート屋根付がほしい。
- 町外の大会に参加する場合高齢故に交通手段に困っている。他市町では社会福祉協議会のバスを利用しているので、検討してほしい。

綾川町スポーツ推進計画策定経過

年月日	会議名等	内 容
令和3年 1月～3月	町内各スポーツ団体へ事前アンケート調査を実施	<ul style="list-style-type: none"> 町体育協会・スポーツ少年団に属する団体へアンケート調査 回収率 44.2%
令和3年 5月26日	5月定例教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> 綾川町スポーツ推進計画の策定について（概要説明）
令和3年 5月31日	第1回綾川町スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> 綾川町スポーツ推進計画策定に向けてのスケジュールについて 綾川町スポーツ推進計画の基本方針について 綾川町民のスポーツに関する意識・実態調査アンケート内容について
令和3年 6月16日	綾川町議会 総務委員協議会	<ul style="list-style-type: none"> 綾川町スポーツ推進計画の策定について（概要説明）
令和3年 6月～7月	綾川町民のスポーツに関する意識・実態調査アンケート（町民16歳以上）・（中学2年生）・（小学4年生）・（こども園4歳児保護者）を実施	<ul style="list-style-type: none"> スポーツや運動に関するアンケート 16歳以上の町民 2000人/回収率 45.9% 中学2年生 181人/回収率 92.3% 町内小学校へ通う小学4年生 163人/回収率 99.4% 町内こども園へ通う4歳児の保護者 167人/回収率 82%
令和3年 10月27日	10月定例教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> 綾川町スポーツ推進計画の策定状況について
令和3年 12月2日	第2回綾川町スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> 綾川町スポーツ推進計画原稿案について
令和3年 12月17日	12月定例教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> 綾川町スポーツ推進計画の策定状況について（原稿案提示）
令和4年 1月20日	綾川町議会 総務委員協議会	<ul style="list-style-type: none"> 綾川町スポーツ推進計画の策定状況について報告
令和4年 1月24日	1月定例教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> 綾川町スポーツ推進計画の策定状況について（校正原稿案提示予定）
令和4年 2月1日 ～15日	パブリックコメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> 綾川町スポーツ推進計画（案）のパブリックコメントを募集
令和4年 3月22日	第3回綾川町スポーツ推進審議会	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進計画に基づく具体的施策を提案、意見交換
令和4年 3月24日	3月定例教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> 綾川町スポーツ推進計画の策定状況について（最終原稿案提示）
令和4年 3月31日	綾川町スポーツ推進計画 策定	<ul style="list-style-type: none"> 製本、配布（ホームページにも掲載）

綾川町体育施設一覧

施設名	所在地	付帯施設
綾川町総合運動公園	陶 1536 番地 1 	陸上競技場（四種ライト公認） <ul style="list-style-type: none"> ・400mトラック8レーン ・サッカー1面（ジュニア2面） 多目的グラウンド テニスコート（4面） 屋内アリーナ <ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール2面 ・バスケットボール2面 ・バトミントン8面 ・卓球台28台 多目的ホール ミーティングルーム
B & G綾上海洋センター （ふれあい運動公園）	山田下 3694 番地 	屋内アリーナ <ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール2面 ・バスケットボール1面 ・バトミントン3面 武道場 <ul style="list-style-type: none"> ・半面レスリングマット設置 ・卓球台6台 ミーティングルーム プール 野球場 人工芝グラウンド <ul style="list-style-type: none"> ・フットサル1面 ・ジュニアサッカー2面 ・ホッケー2面 ・ゲートボール4面 多目的グラウンド キャンプ場
横山農村運動広場	滝宮 2927 番地 1	多目的グラウンド

粉所体育館	粉所西 2060 番地	体育館 運動場
西分体育館	西分 1208 番地	体育館 運動場
羽床上体育館	羽床上 788 番地	体育館 運動場
綾南中学校 (学校開放事業)	陶 5593 番地 1	体育館 武道場
綾上中学校 (学校開放事業)	山田上甲 1180 番地	体育館 武道場
昭和小学校 (学校開放事業)	畑田 2373 番地 1	体育館 運動場
陶小学校 (学校開放事業)	陶 5878 番地 1	体育館 運動場
滝宮小学校 (学校開放事業)	滝宮 1095 番地 1	体育館 運動場
羽床小学校 (学校開放事業)	羽床下 2256 番地	体育館 運動場
綾上小学校 (学校開放事業)	山田上甲 1494 番地 1	運動場



綾南中学校武道館



羽床上体育館



陶小学校運動場

綾川町スポーツ大会の開催実績

大会名	内 容	延べ参加者数			
		R元	H30	H29	H28
梅の里あやがわ アジャタ大会	アジャタとは100個の玉を何秒で入れるかを競うスポーツ玉入れです。誰でも気軽に参加できる生涯スポーツとして人気が高まりつつあり、本町では平成29年より大会を開催しています。	29 チーム 192 名	38 チーム 238 名	24 チーム 144 名	-
梅の里あやがわ ジョギング大会	小学生で3部門、中学生以上で2部門に加え小学生未満の幼児も保護者1名と参加できるファミリー部門があり、老若男女問わず参加できる大会です。	中止 (340名申込)	321 名	274 名	272 名
オールナイト ソフトボール大会	スローピッチルールでの大会です。ふれあい運動公園野球場で夜まで熱戦を繰り広げました。R元年度よりあり方を見直し日中に開催をしています。	6 チーム 73 名	28 チーム 344 名	28 チーム 362 名	30 チーム 376 名




梅の里 フェスティバル 綾川町民綱引大会	自治会単位・様々な部門で出場ができ、体力の保持向上を図ると共に町民相互の親睦を深めることを目的としています。小学生の大会も実施しています。	70チーム 815名	70チーム 825名	77チーム 931名	74チーム 909名
					

綾川町スポーツ教室の開催実績

教室名	内 容	延べ参加者数			
		R元	H30	H29	H28
幼児体操教室	4歳から5歳までの幼児を対象とした体操教室です。体力づくりや協調性を身につけ小学校入学前の準備をすることを目的とし、体操以外にも跳び箱や水泳といった多彩な運動を体験できます。	1,808名	1,851名	1,814名	2,100名
					

○令和2年度にふれあい運動公園が人工芝グラウンドに改修され、令和3年度から開催された教室です。

教室名	内 容	延べ参加者数
ホッケー教室	ふれあい運動公園人工芝グラウンドを利用して、ホッケー教室を開催しています。人工芝グラウンドの周知・使用率向上を図るため、ホッケー用具を貸し出しホッケー初心者に易しい教室となっています。	延べ59名

<p>サッカー教室</p>	<p>地元の女子サッカーチーム UDN 香川 FC のコーチ陣を指導者としてサッカー教室を開催。地元チームと子供たちとの交流の場であるとともに初心者コース・経験者コースの 2 種のコースを用意することで 経験者も未経験者も参加しやすい教室となっています。</p>	<p>初心者コース 延べ 119 名 経験者コース 延べ 47 名 計 166 名</p> 
---------------	---	--

綾川町競技スポーツ団体一覧

○綾川町体育協会に登録している団体は以下の 16 団体です。

登録人数は計 973 名（2021 年 6 月現在）

1	バレーボール	9	綱引
2	バドミントン	10	ソフトバレーボール
3	卓球	11	ホッケー
4	ラージボール卓球	12	野球
5	剣道	13	空手道
6	ゲートボール	14	グランドゴルフ
7	レスリング	15	テニス
8	ソフトボール	16	カローリング

○綾川町スポーツ少年団に登録している団体は以下の 14 団体です。

登録人数は計 490 名（2021 年 6 月現在）

1	綾川ジュニアバレーボール	8	陶錬成会剣道
2	綾川スピリッツ JBC	9	滝宮剣道会
3	綾川野球スポーツ少年団	10	綾上剣心会
4	綾南ジュニアサッカー	11	綾川 Jr.ハンドボール
5	綾川カンフー	12	綾川ホッケー
6	日新館綾川	13	綾川ソフトテニス
7	綾川レスリング	14	少林寺拳法綾川

<綾川町スポーツ推進審議会委員名簿>

No.	役 職	氏 名	備 考
1	会 長	山神 眞一	学識経験者 (香川大学 副学長)
2	副会長	岡田 学	綾川町老人クラブ連合会 会長
3	委 員	阿部 純也	学識経験者 (香川トレーナー協会理事長)
4	委 員	上原 由貴子	綾川町PTA連絡協議会 役員 昭和認定こども園 保護者会会長
5	委 員	森 久美子	綾川町スポーツ少年団 委員
6	委 員	町川 和倫	綾川町体育協会 会長
7	委 員	長尾 舜哉	綾川町身体障害者協会 会長
8	委 員	栗原 利幸	綾川町立綾南中学校 校長
9	委 員	古市 知子	綾川町スポーツ推進委員会 委員
10	委 員	細谷 美恵子	綾川町スポーツ推進委員会 委員
11	事務局	岡下 進一	綾川町教育委員会事務局 (綾川町生涯学習課 課長)
12	事務局	渡部 瑞貴	綾川町教育委員会事務局 (綾川町生涯学習課 主事)
13	関係課	福家 孝司	綾川町総務課いいまち推進室 (綾川町総務課 課長補佐)
14	関係課	篠岡 有雅	綾川町健康福祉課 (綾川町健康福祉課 課長補佐)
15	関係課	萱原 千恵実	綾川町子育て支援課 (綾川町子育て支援課 課長補佐)
16	関係課	杉山 真紀子	綾川町教育委員会事務局 (綾川町学校教育課 課長補佐)
17	関係課	岩鍋 裕二	綾川町教育委員会事務局 (綾川町生涯学習課 課長補佐)

